

厚生労働省委託事業

「保育所長・主任保育士研修等の実施及び普及・啓発一式」

令和 2 年度
保育所長・主任保育士研修等事業
実績報告書

令和 3 年 3 月 12 日

目次

1. 本事業の概要.....	2
1.1 本事業の目的.....	2
1.2 研修会開催の広報.....	2
1.3 研修受講者の管理.....	2
1.4 受講者への事前・事後課題.....	2
1.5 修了証の発行.....	3
2. 開催実績.....	4
2.1 中堅保育所長研修.....	4
2.2 初任保育所長研修.....	7
2.3 初任保育所長（就任予定者）研修.....	13
2.4 中堅主任保育士研修.....	17
2.5 初任主任保育士研修.....	21
2.6 保育所等実習指導研修.....	25
3. 受講者による研修内容の評価.....	27
3.1 各研修科目における内容の概要項目の理解度遷移.....	27
3.2 各研修科目における学びの解析（事後課題自由記述への解析）.....	62
4. 研修の事後評価.....	102
4.1 研修実施方法について（事前・事後課題の解析）.....	102
4.2 希望する研修形式について（事後課題の解析）.....	113
4.3 今後希望する研修内容.....	115
4.4 研修全体のまとめ.....	116

1. 本事業の概要

1.1 本事業の目的

「子育て安心プラン」に基づき、待機児童の解消を図るため、保育の受け皿の拡大や、保育の受け皿拡大を支える保育人材確保等の支援策に取り組んでいる中、同時に保育人材の質を確保しなければならない。

そのため、本事業の実施により、保育所、幼保連携型認定こども園及び地域型保育事業（以下「保育所等」という。）の長を対象に、最新の保育施策の動向や、保育所等の運営・管理における課題等について学ぶための研修を実施するとともに、主任保育士及び実習指導を行う保育士を対象に、最新の保育施策の動向や関係法令、保育所等の運営における課題への対応等を学ぶための研修を実施し、研修により得られた知見を広く公表し、保育所等の運営に係る課題や解決策等について周知・広報を図ることを目的とした。

1.2 研修会開催の広報

（１） 都道府県・政令市・中核市の保育関係担当部署宛に実施要領を送付し、管下の市区町村・保育所等へ周知を依頼した。

（２） 専用 WEB ページを作成し、広報・周知した。

1.3 研修受講者の管理

本事業の遂行にあたり、以下の場合に必要な研修受講者の情報については、当社の「個人情報保護方針」に基づいて、使用及び管理した。

- ・ 申込専用 WEB サイト：各研修の申込受付
- ・ 専用学習システム：受講者の登録、入金管理（クレジットカード決済/銀行振込）、事前・事後課題の管理、受講状況の確認、修了証の発行等
- ・ 当日の会場受付
- ・ zoom ミーティングへの入室管理

1.4 受講者への事前・事後課題

受講者に対しては、各研修内容に即した選択項目ならびに記述式課題を事前と事後に課した。参加する研修内容の事前知識と経験を把握するとともに、事後と比較することで研修会の効果測定、内容や実施方法等のニーズを把握するために実施し分析を行った。

1.5 修了証の発行

3 日間の研修を受講し、さらに事前・事後課題を指定通りに提出した者に発行した。事前事後課題に関しては専用学習システムで管理確認し、3 日間の研修参加については、会場受付とオンライン研修中の表示名による確認、さらには事後課題における参加確認テストの実施にて管理確認をした。

2. 開催実績

2.1 中堅保育所長研修

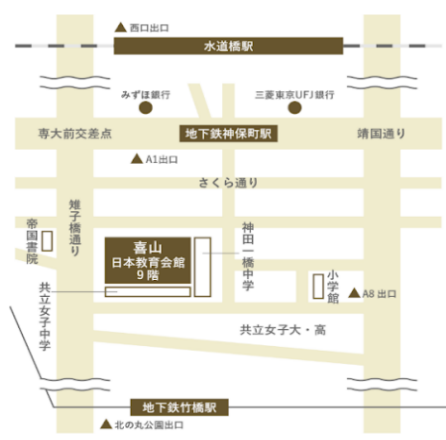
(研修のねらい)

- ・ 保育に関する最新の知見・トピックを学び、中長期的な課題の整理と、解決への道筋を立てる。
- ・ 人材育成及び組織マネジメントの方法を理解し、保育の質の向上を図る。
- ・ 他園の実践事例等を学び、自園の実践を振り返る。
- ・ 管理職として、自らの専門性を高める。

(対象者)

保育所等の長の経験年数5年以上の保育所等の長

(研修期間および場所)

東京	日程	令和2年12月16日(水)～18日(金)
	場所	<p>喜山倶楽部(日本教育会館内 9F)</p> <p>※当日は、1Fの看板をご確認下さい</p>  <p>東京都千代田区一ツ橋 2-6-2</p>

(研修プログラム)

研修 No.	研修科目	研修内容の概要	方法・時間
1	保育制度の動向及び関係法令等	・保育制度の動向 ・関係法令等 ・保育所保育指針及び保育所等におけるガイドライン	講義 1 時間
2	乳幼児期の保育	・子どもの理解に基づく保育の展開と家庭との連携 (実践事例の検討を含む。) ・保育の質の向上に向けた組織的取組 (実践事例の検討を含む。) ・保育所における自己評価ガイドライン	講義 3 時間
3	保育所等の組織マネジメント	・保育所等の組織マネジメント ・保育所等における運営上の課題 ・保育所等の運営における中長期的な課題への対応 ・職員が働きやすい環境づくり	ワーク ショップ 5 時間
4	保育所等における人材育成	・職員の資質向上 ・職場における研修や外部研修の活用 ・体系的な研修計画の作成 ・組織内での研修成果の活用	講義 4 時間 30 分
5	地域に開かれた保育所等づくり	・地域におけるネットワークづくり (地域の社会資源の活用、関係機関との連携・協働を含む) ・地域と連携した子育て支援 (実践事例の検討を含む。)	講義 1 時間 30 分

(スケジュール)

日程	時間	研修 No.	内容	講師
12/16 (水)	12:30-		受付	
	12:50-13:00		開催にあたっての注意事項・説明	
	13:00-14:00	1	保育制度の動向及び関係法令等	厚生労働 省子ども家庭局保育課
	14:00-14:15		休憩	
	14:15-17:15	2	乳幼児期の保育	大阪総合保育大学 特任教授 阿部 和子 (録画)
	17:15-17:25		翌日のご案内	
12/17 (木)	9:30-		受付	
	10:00-12:00	3-1	保育所等の組織マネジメント	東京大学 特任准教授 淀川 裕美
	12:00-13:00		休憩	
	13:00-16:00	3-2	保育所等の組織マネジメント	東京大学 特任准教授 淀川 裕美
	16:00-16:10		翌日のご案内	
12/18 (金)	9:00-		受付	
	9:30-12:00	4-1	保育所等における人材育成	大妻女子大学 教授 小川 清美
	12:00-12:45		休憩	
	12:45-15:15	4-2	保育所等における人材育成	大妻女子大学 教授 小川 清美
	15:15-15:30		休憩	
	15:30-17:00	5	地域に開かれた保育所等づくり	大妻女子大学 教授 小川 清美
	17:00-17:10		事後課題・修了証に関するご案内	

(配布資料)

- (i) 研修テキスト
- (ii) 保育所保育指針、幼保連携型認定こども園教育・保育要領
- (iii) 教育・保育施設等における事故防止及び事故発生時の対応のためのガイドライン
- (iv) 保育所における食事の提供ガイドライン
- (v) 保育所における感染症対策ガイドライン
- (vi) 保育所におけるアレルギー対応ガイドライン
- (vii) 保育所における自己評価ガイドライン
- (ix) 上記の他、各講義等で必要な資料

(定員・申込者数・受講者数・修了者数)

日程	2020年12月16日(水)～18日(金)	
	会場研修	ライブ配信研修
申込者数	53	－
受講者数	33	－
修了証発行者数	31	

(会場の様子)



2.2 初任保育所長研修

(研修のねらい)

保育所等の長として保育所等の運営に必要な知識(組織マネジメントや関係機関との連携等)を学ぶとともに、研修等を活用し、自園の保育の質の向上を図る。

(対象者)

受講対象者は以下のいずれかに該当する者とする。

ア 保育士資格を有する者のうち、令和2年度又は令和3年度中に保育所等の長に就任する者(就任予定も含む)

イ 保育所等の長の経験年数1年以上5年未満の保育所等の長

(研修期間および場所)

東京 1回目	<p>日程 令和2年9月28日(月)～30日(水)</p> <p>場所 ①TKP 東京駅日本橋カンファレンスセンター(別館ホール 5B) ※当日は、1F受付の看板をご確認下さい ②所属施設やご自宅等ネット環境のある場所</p>  <p>東京都中央区八重洲 1-2-16 TGビル別館</p>	<p>大阪</p> <p>日程 令和2年10月28日(水)～30日(金)</p> <p>場所 ①ティーオージー大阪・梅田 17F ※当日は、1F受付の看板をご確認下さい ②所属施設やご自宅等ネット環境のある場所</p>  <p>大阪府大阪市北区梅田 1-1-3-1700</p>
東京 2回目	<p>日程 令和3年1月18日(月)～20日(水)</p> <p>場所 ①新型コロナウイルス感染症による緊急事態宣言の発出に伴い、会場研修受講は中止とし、 ②ライブ配信での受講の変更をお願いいたしました。</p>	

(研修プログラム)

研修 No.	研修科目	研修内容の概要	方法・時間
1	保育制度の動向 及び関係法令等	<ul style="list-style-type: none"> ・保育制度の動向 ・関係法令等 ・保育所保育指針及び保育所等におけるガイドライン 	講義 1時間
2	乳幼児期の保育	<ul style="list-style-type: none"> ・保育所保育指針を踏まえた保育実践 ・保育の質の向上に関する保育所長等の役割 ・保育所における自己評価ガイドライン 	講義 3時間
3	保育所等の リスクマネジメント	<ul style="list-style-type: none"> ・保育所等におけるリスクマネジメント ・各種ガイドラインを踏まえた健康・安全確保のための対応・対策 ①保育所における感染症対策ガイドライン ②保育所におけるアレルギー対応ガイドライン ③保育所における食事の提供ガイドライン ④教育・保育施設等における事故防止及び事故発生時の対応のためのガイドライン 	講義 3時間
4	保育所等の組織づくりと マネジメント(概論)	<ul style="list-style-type: none"> ・保育所等の組織づくりとマネジメントにおける保育所長等の役割 ・職員が働きやすい環境づくり ・職員の資質向上 	講義 2時間
5	保育所等の組織づくりと マネジメント(演習)	<ul style="list-style-type: none"> ・保育所等の運営における課題への対応 ・職員が働きやすい環境づくり 	ワーク ショップ 3時間
6	子育て支援	<ul style="list-style-type: none"> ・保育所等における子育て支援に関する基本的事項 ・保育所等を利用している保護者に対する子育て支援 	講義 2時間
7	地域に開かれた 保育所等づくり	<ul style="list-style-type: none"> ・地域における保育所等の役割 ・地域社会及び関係機関との連携・協働 ・保育所等における地域子育て支援 	講義 1時間

(スケジュール)

東京 1 回目

日程	時間	研修 No.	内容	講師
9/28 (月)	12:00-		受付 (①会場研修、②ライブ配信研修共に)	
	12:30-12:50		ライブ配信研修の受講手法説明 (②ライブ配信研修受講者のみ)	
	12:50-13:00		開催にあたっての注意事項・説明	
	13:00-14:00	1	保育制度の動向及び関係法令等	厚生労働省 子ども家庭局保育課
	14:00-14:15		休憩	
	14:15-17:15	2	乳幼児期の保育	大阪総合保育大学 特任教授 阿部 和子
	17:15-17:25		翌日のご案内	
9/29 (火)	9:30-		受付 (①会場研修、②ライブ配信研修共に)	
	10:00-12:00	4	保育所等の組織づくりとマネジメント (概要)	金沢星稜大学 教授 開 仁志 (録画)
	12:00-13:00		休憩	
	13:00-16:00	5	保育所等の組織づくりとマネジメント (演習)	金沢星稜大学 教授 開 仁志
	16:00-16:10		翌日のご案内	
9/30 (水)	9:30-		受付 (①会場研修、②ライブ配信研修共に)	
	10:00-11:15	3	保育所等のリスクマネジメント ①保育所における感染症対策ガイドライン	国立国際医療研究センター病院 国際感染症センター センター長 大曲 貴夫 (録画)
	11:15-12:30		②保育所におけるアレルギー対応ガイド ライン	国立成育医療研究センター アレルギーセンター 総合アレルギー科 医長 福家 辰樹 (録画)
	12:30-13:15		休憩	
	13:15-15:15	6	子育て支援	立正大学 教授 岡本 依子
	15:15-15:30		休憩	
	15:30-16:30	7	地域に開かれた保育所等づくり	立正大学 教授 岡本 依子
	16:30-16:40		事後課題・修了証に関するご案内	

(会場の様子)



大阪

日程	時間	研修 No.	内容	講師
10/28 (水)	12:00-		受付(①会場研修、②ライブ配信研修共に)	
	12:30-12:50		ライブ配信研修の受講手法説明(②ライブ配信研修受講者のみ)	
	12:50-13:00		開催にあたっての注意事項・説明	
	13:00-14:00	1	保育制度の動向及び関係法令等	厚生労働省 子ども家庭局保育課
	14:00-14:15		休憩	
	14:15-17:15	2	乳幼児期の保育	大阪総合保育大学 特任教授 阿部 和子 (録画)
	17:15-17:25		翌日のご案内	
10/29 (木)	9:30-		受付	
	10:00-12:00	4	保育所等の組織づくりとマネジメント (概要)	金沢星稜大学 教授 開 仁志 (録画)
	12:00-13:00		休憩	
	13:00-16:00	5	保育所等の組織づくりとマネジメント (演習)	金沢星稜大学 教授 開 仁志
	16:00-16:10		翌日のご案内	
10/30 (金)	9:30-		受付	
	10:00-11:15	3	保育所等のリスクマネジメント ①保育所における感染症対策ガイドライン	国立国際医療研究センター病院 国際感染症センター センター長 大曲 貴夫 (録画)
	11:15-12:30		②保育所におけるアレルギー対応ガイド ライン	国立成育医療研究センター アレルギーセンター 総合アレルギー科 医長 福家 辰樹 (録画)
	12:30-13:15		休憩	
	13:15-15:15	6	子育て支援	梅花女子大学 准教授 鎮 朋子
	15:15-15:30		休憩	
	15:30-16:30	7	地域に開かれた保育所等づくり	梅花女子大学 准教授 鎮 朋子
	16:30-16:40		事後課題・修了証に関するご案内	

東京 2 回目

日程	時間	研修 No.	内容	講師
1/18 (月)	12:00-		受付(①会場研修、②ライブ配信研修共に)	
	12:30-12:50		ライブ配信研修の受講手法説明(②ライブ配信研修受講者のみ)	
	12:50-13:00		開催にあたっての注意事項・説明	
	13:00-14:00	1	保育制度の動向及び関係法令等	厚生労働省 子ども家庭局保育課
	14:00-14:15		休憩	
	14:15-16:15	6	子育て支援	立正大学 教授 岡本 依子
	16:15-16:30		休憩	
	16:30-17:30	7	地域に開かれた保育所等づくり	立正大学 教授 岡本 依子
	17:30-17:40		翌日のご案内	
1/19 (火)	9:30-		受付(①会場研修、②ライブ配信研修共に)	
	10:00-12:00	4	保育所等の組織づくりとマネジメント (概要)	金沢星稜大学 教授 開 仁志 (録画)
	12:00-13:00		休憩	
	13:00-16:00	5	保育所等の組織づくりとマネジメント (演習)	洗足こども短期大学 准教授 井上 真理子
	16:00-16:10		翌日のご案内	
1/20 (水)	10:00-		受付(①会場研修、②ライブ配信研修共に)	
	10:30-11:45	3	保育所等のリスクマネジメント ①保育所における感染症対策ガイドライン	国立国際医療研究センター病院 国際感染症センター センター長 大曲 貴夫 (録画)
	11:45-13:00		②保育所におけるアレルギー対応ガイド ライン	国立成育医療研究センター アレルギーセンター 総合アレルギー科 医長 福家 辰樹 (録画)
	13:00-14:00		休憩	
	14:00-17:00	2	乳幼児期の保育	大阪総合保育大学 特任教授 阿部 和子
	17:00-17:10		事後課題・修了証に関するご案内	

(配布資料)

- (i) 研修テキスト
- (ii) 保育所保育指針、幼保連携型認定こども園教育・保育要領
- (iii) 教育・保育施設等における事故防止及び事故発生時の対応のためのガイドライン
- (iv) 保育所における食事の提供ガイドライン
- (v) 保育所における感染症対策ガイドライン
- (vi) 保育所におけるアレルギー対応ガイドライン
- (vii) 保育所における自己評価ガイドライン
- (ix) 上記の他、各講義等で必要な資料

(定員・申込者数・受講者数・修了者数)

②-1 東京会場 1 回目

日程	2020 年 9 月 28 日 (月) ～30 日 (水)	
	会場研修	ライブ配信研修
申込者数	70	272
受講者数	65	242
修了証発行者数	298	

②-2 大阪会場

日程	2020 年 10 月 28 日 (水) ～30 日 (金)	
	会場研修	ライブ配信研修
申込者数	35	235
受講者数	32	211
修了証発行者数	236	

②-3 東京会場 2 回目

日程	2021 年 1 月 18 日 (月) ～20 日 (水)	
	会場研修	ライブ配信研修
申込者数	108	280
受講者数	⇒ ライブ配信へ変更	351
修了証発行者数	342	

2.3 初任保育所長（就任予定者）研修

（研修のねらい）



保育所等の長として保育所等の運営に必要な知識（組織マネジメントや関係機関との連携等）を学ぶとともに、研修等を活用し、自園の保育の質の向上を図る。

（対象者）

保育士資格を有していない者のうち、以下のすべてに該当する者とする。

- ア 保育所等の長の経験が1年未満の者
- イ 令和2年度又は令和3年度中に保育所等の長に就任する者（就任予定も含む）
- ウ 初任保育所長等研修の受講を希望している者

（研修期間および場所）

東京	日程	令和2年9月9日(水)～11日(金)
場所	①TKP 東京駅日本橋カンファレンスセンター(別館ホール 2A) ※当日は、1F 受付の看板をご確認下さい ②所属施設やご自宅等ネット環境のある場所  東京都中央区八重洲 1-2-16 TG ビル別館	
大阪	日程	令和2年10月19日(月)～21日(水)
場所	①ティーオージー大阪・梅田 17F ※当日は、1F 受付の看板をご確認下さい ②所属施設やご自宅等ネット環境のある場所  大阪府大阪市北区梅田 1-1-3-1700	

（研修プログラム）

研修 No.	研修科目	研修内容の概要	方法・時間
1	保育所等の社会的役割	<ul style="list-style-type: none"> 子育てを取り巻く社会的な状況 保育制度の動向 保育所等の社会的役割 	講義 1 時間 30 分
2	保育所長等の役割	<ul style="list-style-type: none"> 保育所長等の役割 保育所等の運営と法令遵守 職員が働きやすい環境づくり 	講義 1 時間 30 分
3	子どもの発達と保育の内容	<ul style="list-style-type: none"> 乳幼児期の発達の特性及び発達過程 保育所保育指針に基づく保育の実施と運営 保育所における自己評価ガイドライン 	講義 5 時間
4	保育所等における健康・安全	<ul style="list-style-type: none"> 健康・安全の確保に関する各種ガイドライン ① 保育所における感染症対策ガイドライン ② 保育所におけるアレルギー対応ガイドライン ③ 保育所における食事の提供ガイドライン ④ 教育・保育施設等における事故防止及び事故発生時の対応のためのガイドライン 	講義 4 時間
5	子育て支援	<ul style="list-style-type: none"> 子育て支援の意義 保育所等を利用している保護者に対する子育て支援 地域における子育て支援 	講義 3 時間

(スケジュール)

東京

日程	時間	研修 No.	内容	講師
9/9 (水)	12:00-		受付(①会場研修、②ライブ配信研修共に)	
	12:30-12:50		ライブ配信研修の受講手法説明(②ライブ配信研修受講者のみ)	
	12:50-13:00		開催にあたっての注意事項・説明	
	13:00-14:30	1	保育所等の社会的役割	大妻女子大学 准教授 石井 章仁
	14:30-14:45		休憩	
	14:45-16:15	2	保育所長等の役割	大妻女子大学 准教授 石井 章仁
	16:15-16:25		翌日のご案内	
9/10 (木)	8:30-		受付(①会場研修、②ライブ配信研修共に)	
	9:00-12:00	3-1	子どもの発達と保育の内容	白百合女子大学 教授 高橋 貴志
	12:00-12:45		休憩	
	12:45-14:45	3-2	子どもの発達と保育の内容	白百合女子大学 教授 高橋 貴志
	14:45-15:00		休憩	
	15:00-16:10	4-3	保育所等における健康・安全 ③ 保育所における食事の提供ガイドライン	東京家政学院大学 教授 酒井 治子
	16:10-17:20	4-4	保育所等における健康・安全 ④ 教育・保育施設等における事故防止及 び事故発生時の対応のためのガイドライン	株式会社 保育安全のかたち 代表取締役 遠藤 登(録画)
	17:20-17:30		翌日のご案内	
9/11 (金)	8:30-		受付(①会場研修、②ライブ配信研修共に)	
	9:00-12:00	5	子育て支援	関西大学 教授 山縣 文治
	12:00-12:45		休憩	
	12:45-14:00	4-1	保育所等における健康・安全 ① 保育所における感染症対策ガイドライン	国立国際医療研究センター病院 国際感染症センター センター長 大曲 貴夫(録画)
	14:00-15:15	4-2	保育所等における健康・安全 ② 保育所におけるアレルギー対応 ガイドライン	国立成育医療研究センター アレルギーセンター 総合アレルギー科 医長 福家 辰樹(録画)
	15:15-15:25		事後課題・修了証に関するご案内	

大阪

日程	時間	研修 No.	内容	講師
10/19 (月)	12:00-		受付(①会場研修、②ライブ配信研修共に)	
	12:30-12:50		ライブ配信研修の受講手法説明(②ライブ配信研修受講者のみ)	
	12:50-13:00		開催にあたっての注意事項・説明	
	13:00-14:30	1	保育所等の社会的役割	大阪総合保育大学 学長 大方 美香
	14:30-14:45		休憩	
	14:45-16:15	2	保育所長等の役割	大阪総合保育大学 学長 大方 美香
	16:15-16:25		翌日のご案内	
10/20 (火)	8:30-		受付(①会場研修、②ライブ配信研修共に)	
	9:00-12:00	5	子育て支援	関西大学 教授 山縣 文治
	12:00-12:45		休憩	
	12:45-14:00	4-1	保育所等における健康・安全 ① 保育所における感染症対策ガイドライン	国立国際医療研究センター病院 国際感染症センター センター長 大曲 貴夫 (録画)
	14:00-15:15	4-2	保育所等における健康・安全 ② 保育所におけるアレルギー対応 ガイドライン	国立成育医療研究センター アレルギーセンター 総合アレルギー科 医長 福家 辰樹 (録画)
	15:15-15:30		休憩	
	15:30-16:40	4-3	保育所等における健康・安全 ③ 保育所における食事の提供ガイドライン	東京家政学院大学 教授 酒井 治子 (録画)
	16:40-17:50	4-4	保育所等における健康・安全 ④ 教育・保育施設等における事故防止及 び事故発生時の対応のためのガイドライン	株式会社 保育安全のかたち 代表取締役 遠藤 登 (録画)
	17:50-18:00		翌日のご案内	
10/21 (水)	8:30-		受付(①会場研修、②ライブ配信研修共に)	
	9:00-12:00	3-1	子どもの発達と保育の内容	大阪人間科学大学 学部長/教授 須河内 貢
	12:00-12:45		休憩	
	12:45-14:45	3-2	子どもの発達と保育の内容	大阪人間科学大学 学部長/教授 須河内 貢
	14:45-14:55		事後課題・修了証に関するご案内	

(会場の様子)



(配布資料)

- (i) 研修テキスト
- (ii) 保育所保育指針、幼保連携型認定こども園教育・保育要領
- (iii) 教育・保育施設等における事故防止及び事故発生時の対応のためのガイドライン
- (iv) 保育所における食事の提供ガイドライン
- (v) 保育所における感染症対策ガイドライン
- (vi) 保育所におけるアレルギー対応ガイドライン
- (vii) 保育所における自己評価ガイドライン
- (ix) 上記の他、各講義等で必要な資料

(定員・申込者数・受講者数・修了者数)

③-1 東京会場

日程	2020年9月9日～11日	
	会場研修	ライブ配信研修
申込者数	32	130
受講者数	32	130
修了証発行者数	150	

③-2 大阪会場

日程	2020年10月19日(月)～21日(水)	
	会場研修	ライブ配信研修
申込者数	25	141
受講者数	19	124
修了証発行者数	139	

2.4 中堅主任保育士研修

(研修のねらい)

- ・主任保育士として、保育所等に求められる多様なニーズに対応するために必要な知識・技術を学ぶ。
- ・保育所等の組織全体で質の高い保育を展開するためのマネジメント能力の向上を図る。

(対象者)

現職の経験年数4年以上の保育所等の主任保育士、幼保連携型認定こども園の主幹保育教諭、指導保育教諭及びそれに準ずる保育士又は保育教諭

(研修期間および場所)

東京	日程	令和2年11月4日(水)～6日(金)
	場所	①TKP 東京駅日本橋カンファレンスセンター(別館ホール 5A) ※当日は、1F 受付の看板をご確認下さい ②所属施設やご自宅等ネット環境のある場所  東京都中央区八重洲 1-2-16 TG ビル別館
大阪	日程	令和3年1月20日(水)～22日(金)
	場所	①新型コロナウイルス感染症による緊急事態宣言の発出に伴い、会場研修受講は中止とし、 ②ライブ配信での受講の変更をお願いいたしました。

(研修プログラム)

研修 No.	研修科目	研修内容の概要	方法・時間
1	保育制度の動向及び関係法令等	・保育制度の動向 ・関係法令等 ・保育所保育指針及び各種ガイドライン	講義 1時間
2	保育所等における主任保育士の役割	・保育所等における主任保育士の役割 ・保育実践に関する様々な課題への対応 ・職員が働きやすい環境づくり	ワーク ショップ 2時間
3	子どもの発達と保育	・保育における子どもの理解 ・子どもの発達に即した保育実践 ・保育所における自己評価ガイドライン ・保育の質向上に向けた組織的取組	講義 3時間
4	保護者支援・子育て支援	・保育所等における子育て支援の意義 ・保育所を利用している保護者に対する子育て支援の実際 ・地域の保護者等に対する子育て支援の実際	講義・ グループ討議 3時間
5	保育所等における人材育成	・職員間の理解の共有 ・保育実践におけるリーダーシップと職員のチームワーク ・職員の資質向上 ・職場における研修の企画立案・実施	講義・ グループ討議 6時間

(スケジュール)

東京

日程	時間	研修 No.	内容	講師
11/4 (水)	12:00-		受付(①会場研修、②ライブ配信研修共に)	
	12:30-12:50		ライブ配信研修の受講手法説明(②ライブ配信研修受講者のみ)	
	12:50-13:00		開催にあたっての注意事項・説明	
	13:00-14:00	1	保育制度の動向及び関係法令等	厚生労働省 子ども家庭局保育課
	14:00-14:15		休憩	
	14:15-16:15	2	保育所等における主任保育士の役割	大妻女子大学 准教授 石井 章仁
	16:15-16:25		翌日のご案内	
11/5 (木)	8:30-		受付(①会場研修、②ライブ配信研修共に)	
	9:00-12:00	3	子どもの発達と保育	東京家政大学 准教授 堀 科
	12:00-13:00		休憩	
	13:00-16:00	4	保護者支援・子育て支援	東京大学 教授 遠藤 利彦
	16:00-16:10		翌日のご案内	
11/6 (金)	8:30-		受付(①会場研修、②ライブ配信研修共に)	
	9:00-12:00	5-1	保育所等における人材育成	大妻女子大学 准教授 石井 章仁
	12:00-13:00		休憩	
	13:00-16:00	5-2	保育所等における人材育成	大妻女子大学 准教授 石井 章仁
	16:00-16:10		事後課題・修了証に関するご案内	

大阪

日程	時間	研修 No.	内容	講師
1/20 (水)	12:00-		受付	
	12:30-12:50		ライブ配信研修の受講手法説明(②ライブ配信研修受講者のみ)	
	12:50-13:00		開催にあたっての注意事項・説明	
	13:00-14:00	1	保育制度の動向及び関係法令等	厚生労働省 子ども家庭局保育課
	14:00-14:15		休憩	
	14:15-16:15	2	保育所等における主任保育士の役割	中村学園大学 教授 那須 信樹
	16:15-16:25		翌日のご案内	
1/21 (木)	8:30-		受付(①会場研修、②ライブ配信研修共に)	
	9:00-12:00	3	子どもの発達と保育	東京家政大学 准教授 堀 科 (録画)
	12:00-13:00		休憩	
	13:00-16:00	4	保護者支援・子育て支援	東京大学 教授 遠藤 利彦
	16:00-16:10		翌日のご案内	
	8:30-		受付(①会場研修、②ライブ配信研修共に)	
1/22 (金)	9:00-12:00	5-1	保育所等における人材育成	倉敷市立短期大学 教授 木戸 啓子
	12:00-13:00		休憩	
	13:00-16:00	5-2	保育所等における人材育成	倉敷市立短期大学 教授 木戸 啓子
	16:00-16:10		事後課題・修了証に関するご案内	

(配布資料)

- (i) 研修テキスト
- (ii) 保育所保育指針、幼保連携型認定こども園教育・保育要領
- (iii) 教育・保育施設等における事故防止及び事故発生時の対応のためのガイドライン
- (iv) 保育所における食事の提供ガイドライン
- (v) 保育所における感染症対策ガイドライン
- (vi) 保育所におけるアレルギー対応ガイドライン
- (vii) 保育所における自己評価ガイドライン
- (ix) 上記の他、各講義等で必要な資料

(定員・申込者数・受講者数・修了者数)

④-1 東京会場

日程	2020 年 11 月 4 日 (水) ～6 日 (金)	
	会場研修	ライブ配信研修
申込者数	45	154
受講者数	38	140
修了証発行者数	169	

④-2 大阪会場

日程	2021 年 1 月 20 日 (水) ～22 日 (水)	
	会場研修	ライブ配信研修
申込者数	15	86
受講者数	⇒ ライブ配信へ変更	91
修了証発行者数	84	

2.5 初任主任保育士研修

(研修のねらい)

- ・主任保育士等の多様な役割を理解する。
- ・リーダー的な立場として、求められる専門性の向上を図る。
- ・保育に関する最新のトピックや他園の実践から、保育の質の向上への手立てを学ぶ。

(対象者)

現職の経験年数4年未満の保育所等の主任保育士、幼保連携型認定こども園の主幹保育教諭、指導保育教諭及びこれらに準ずる保育士又は保育教諭

(研修期間および場所)

東京	日程 令和2年9月23日(水)～25日(金) 場所 ①TKP 東京駅日本橋カンファレンスセンター(別館ホール 4A) ※当日は、1F受付の看板をご確認ください ②所属施設やご自宅等ネット環境のある場所  東京都中央区八重洲 1-2-16 TGビル別館
大阪	日程 令和2年12月9日(水)～11日(金) 場所 ①TKP ガーデンシティ大阪梅田(バンケット 2A) ※当日は、1F受付の看板をご確認ください ②所属施設やご自宅等ネット環境のある場所  大阪府大阪市福島区福島 5-4-21 TKP ゲートタワービル

(研修プログラム)

研修 No.	研修科目	研修内容の概要	方法・時間
1	保育制度の動向及び関係法令等	・保育制度の動向 ・関係法令等 ・保育所保育指針及び各種ガイドライン	講義 1 時間
2	保育所等における主任保育士の役割	・保育所等における主任保育士の役割 ・保育実践におけるリーダーシップと職員の チームワーク ・保育実践に関する様々な課題への対応 ・職員が働きやすい環境づくり	ワーク ショップ 3 時間
3	子どもの発達と保育	・保育における子どもの理解 ・子どもの発達に即した保育実践 ・保育所における自己評価ガイドライン ・保育の質向上に向けた組織的取組	講義 3 時間
4	保護者支援・子育て支援	・保育所等における子育て支援の意義 ・保育所を利用している保護者に対する子育て支援の 実際 ・地域の保護者等に対する子育て支援の実際	講義・ グループ討議 3 時間
5	保育所等における人材育成	・職員間の理解の共有 ・職員の資質向上 ・職場における研修の企画立案・実施	講義・ グループ討議 5 時間

(スケジュール)

東京

日程	時間	研修 No.	内容	講師
9/23 (水)	12:00-		受付(①会場研修、②ライブ配信研修共に)	
	12:30-12:50		ライブ配信研修の受講手法説明(②ライブ配信研修受講者のみ)	
	12:50-13:00		開催にあたっての注意事項・説明	
	13:00-14:00	1	保育制度の動向及び関係法令等	厚生労働省 子ども家庭局保育課
	14:00-14:15		休憩	
	14:15-17:15	2	保育所等における主任保育士の役割	大妻女子大学 准教授 石井 章仁
	17:15-17:25		翌日のご案内	
9/24 (木)	9:30-		受付(①会場研修、②ライブ配信研修共に)	
	10:00-13:00	5-1	保育所等における人材育成	東京立正短期大学 専任講師 鈴木 健史
	13:00-13:45		休憩	
	13:45-16:45	3	子どもの発達と保育	東京大学 教授 遠藤 利彦
	16:45-16:55		翌日のご案内	
9/25 (金)	9:30-		受付(①会場研修、②ライブ配信研修共に)	
	10:00-12:00	4-1	保護者支援・子育て支援	玉川大学 教授 大豆生田 啓友
	12:00-12:45		休憩	
	12:45-13:45	4-2	保護者支援・子育て支援	玉川大学 教授 大豆生田 啓友
	13:45-14:00		休憩	
	14:00-16:00	5-2	保育所等における人材育成	東京立正短期大学 専任講師 鈴木 健史
	16:00-16:10		事後課題・修了証に関するご案内	

大阪

日程	時間	研修 No.	内容	講師
12/9 (水)	12:00-		受付(①会場研修、②ライブ配信研修共に)	
	12:30-12:50		ライブ配信研修の受講手法説明(②ライブ配信研修受講者のみ)	
	12:50-13:00		開催にあたっての注意事項・説明	
	13:00-14:00	1	保育制度の動向及び関係法令等	厚生労働省 子ども家庭局保育課
	14:00-14:10		休憩	
	14:10-17:10	2	保育所等における主任保育士の役割	大阪総合保育大学 学長 大方 美香
	17:10-17:20		翌日のご案内	
12/10 (木)	8:30-		受付(①会場研修、②ライブ配信研修共に)	
	9:00-12:00	3	子どもの発達と保育	東京大学 教授 遠藤 利彦 (録画)
	12:00-13:00		休憩	
	13:00-16:00	4	保護者支援・子育て支援	梅花女子大学 准教授 鎮 朋子
	16:00-16:10		翌日のご案内	
	16:10-16:20			
12/11 (金)	8:30-		受付(①会場研修、②ライブ配信研修共に)	
	9:00-12:00	5-1	保育所等における人材育成	金沢星稜大学 教授 開 仁志
	12:00-12:45		休憩	
	12:45-14:45	5-2	保育所等における人材育成	金沢星稜大学 教授 開 仁志
	14:45-14:55		事後課題・修了証に関するご案内	
	14:55-15:00			

(会場の様子)



(配布資料)

- (i) 研修テキスト
- (ii) 保育所保育指針、幼保連携型認定こども園教育・保育要領
- (iii) 教育・保育施設等における事故防止及び事故発生時の対応のためのガイドライン
- (iv) 保育所における食事の提供ガイドライン
- (v) 保育所における感染症対策ガイドライン
- (vi) 保育所におけるアレルギー対応ガイドライン
- (vii) 保育所における自己評価ガイドライン
- (ix) 上記の他、各講義等で必要な資料

(定員・申込者数・受講者数・修了者数)

⑤-1 東京会場

日程	2020年9月23日(水)～25日(金)	
	会場研修	ライブ配信研修
申込者数	83	303
受講者数	67	250
修了証発行者数	313	

⑤-2 大阪会場

日程	2020年12月9日(水)～11日(金)	
	会場研修	ライブ配信研修
申込者数	54	284
受講者数	30	250
修了証発行者数	270	

2.6 保育所等実習指導研修

(研修のねらい)

- ・保育士養成校と学生の実情を把握する。
- ・保育所実習における指導の方法と理論について学ぶ。
- ・実習指導者としての専門性を高める。

(対象者)

保育所等において保育実習の実習指導を行う者（予定者を含む）

(研修期間および場所)

東京	日程	受講確定後 ～ 令和3年1月26日(火)
	場所	① eラーニング研修 : 所属施設やご自宅等ネット環境のある場所 ② 所属施設やご自宅等ネット環境のある場所

※本研修は、全受講者が①の後②の方法で受講いただきました。

(研修プログラム)

研修 No.	研修科目	研修内容の概要	方法・時間
1	保育所等の社会的役割と保育士養成	・保育所等が担う社会的役割 ・保育士の資質・専門性と養成の動向	講義 1 時間
2	保育士養成と保育実習	・保育実習の目的 ・保育実習実施基準 ・保育実習における保育所等と保育士養成施設との連携 ・実習生の理解を踏まえた実習指導	講義 2 時間
3	保育実習の現状と諸課題	・保育所等における実習指導の現状 ・保育実習における課題	グループ討議 1 時間 30 分
4	保育実習指導の基本	・実習生の受け入れ体制 ・保育所実習指導の内容及び指導 (実習の記録・振り返りや評価を含む) ・効果的な保育所実習指導の事例 ・保育所等と保育士養成施設の協働を通じた保育所等職員の資質向上	講義 4 時間 30 分
5	保育実習指導の実践	・保育所等の体制や実習生の状況等を踏まえた実習指導の実際	ワークショップ 3 時間

(スケジュール)

日程	時間	研修 No.	内容	講師
e ラーニング (指定期間内に受講すること)		1	保育所等の社会的役割と保育士養成	大妻女子大学 准教授 石井 章仁
		2	保育士養成と保育実習	大妻女子大学 准教授 石井 章仁
		4	保育実習指導の基本	東京家政大学 教授 小櫃 智子
1/26 (火)	9:30-		受付	
	9:50-10:00		開催にあたっての注意事項・説明	
	10:00-11:30	3	保育実習の現状と諸課題	東京家政大学 教授 小櫃 智子
	11:30-12:30		休憩	
	12:30-15:30	5	保育実習指導の実践	東京家政大学 教授 小櫃 智子
	15:30-15:40		事後課題・修了証に関するご案内	

(配布資料)

- (i) 研修テキスト
- (ii) 保育所保育指針、幼保連携型認定こども園教育・保育要領
- (iii) 教育・保育施設等における事故防止及び事故発生時の対応のためのガイドライン
- (iv) 保育所における食事の提供ガイドライン
- (v) 保育所における感染症対策ガイドライン
- (vi) 保育所におけるアレルギー対応ガイドライン
- (vii) 保育所における自己評価ガイドライン
- (ix) 上記の他、各講義等で必要な資料

(定員・申込者数・受講者数・修了者数)

日程	2021 年 1 月 26 日 (火)	
	会場研修	ライブ配信研修
申込者数	49	-
受講者数	⇒ ライブ配信へ変更	44
修了証発行者数	41	

3. 受講者による研修内容の評価

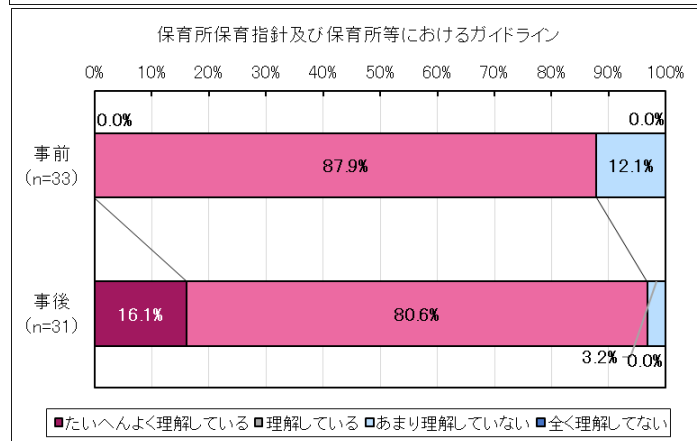
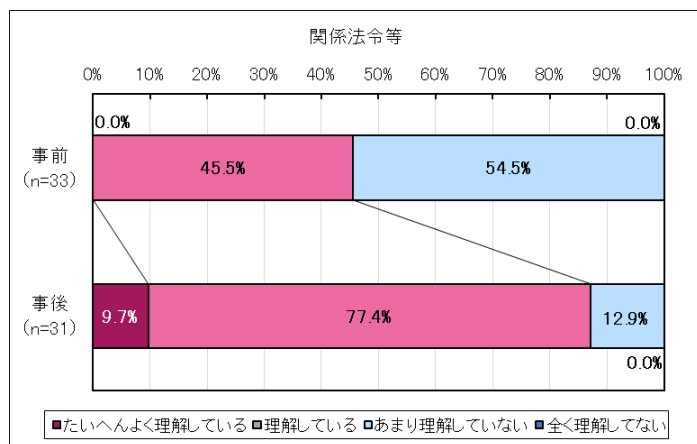
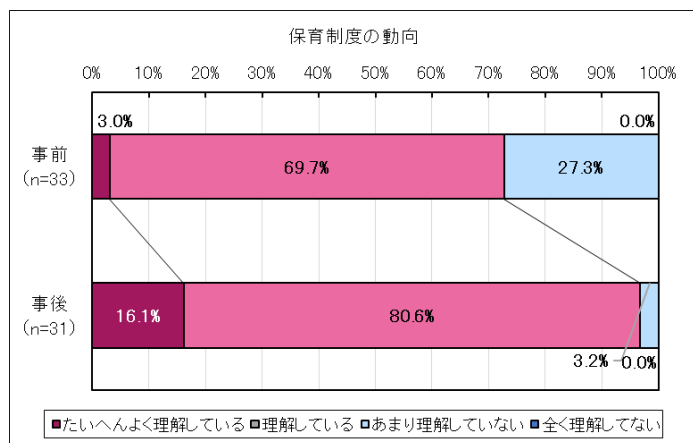
3.1 各研修科目における内容の概要項目の理解度遷移

講義の事前と事後に各研修科目における研修内容の概要毎の理解度を調査し比較を行うことで、講義の効果測定を実施しました。

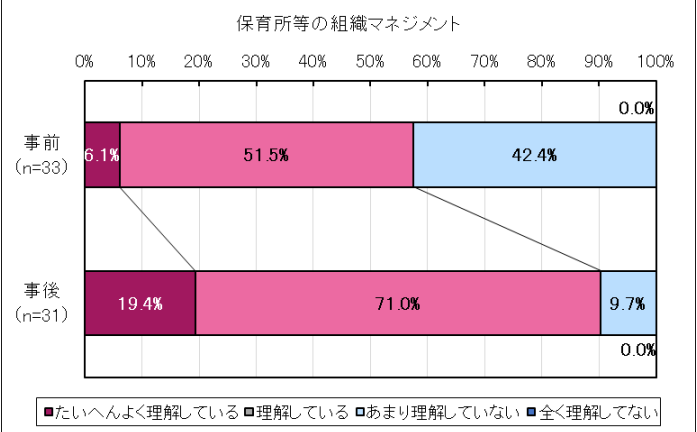
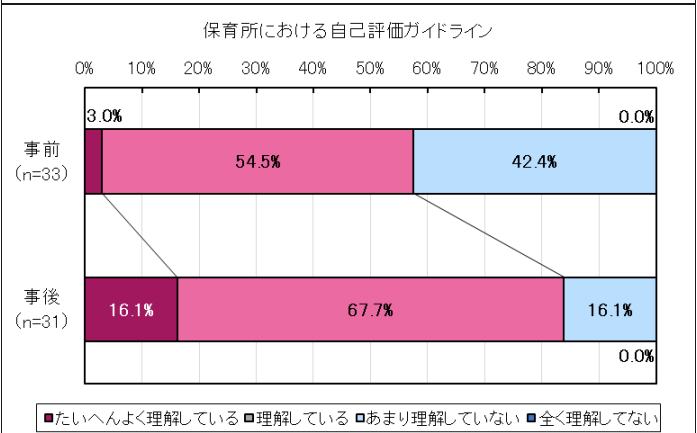
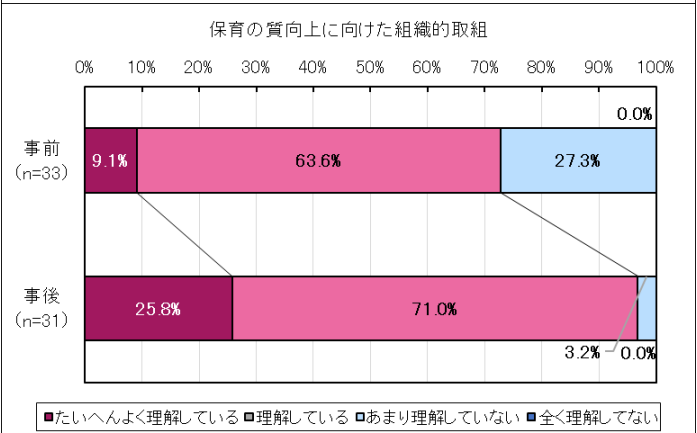
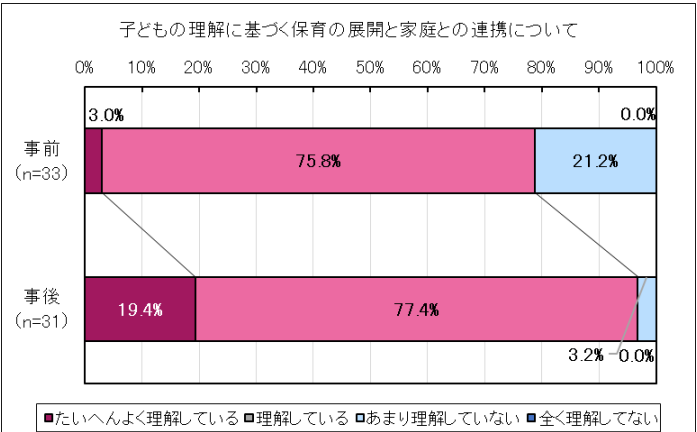
3.1.1 中堅所長研修

科目名

「保育制度の動向及び
関係法令等」



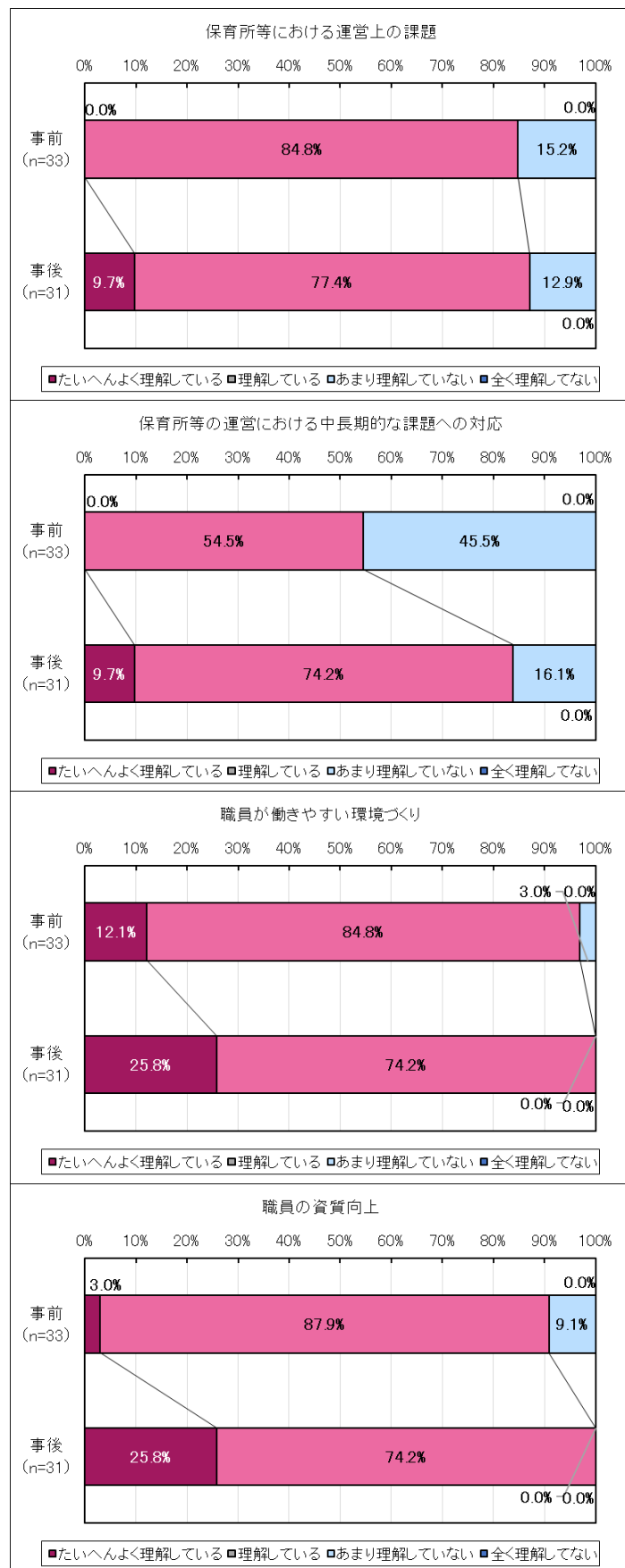
科目名「乳幼児期の保育」



科目名
「保育所等の組織マネジメント」

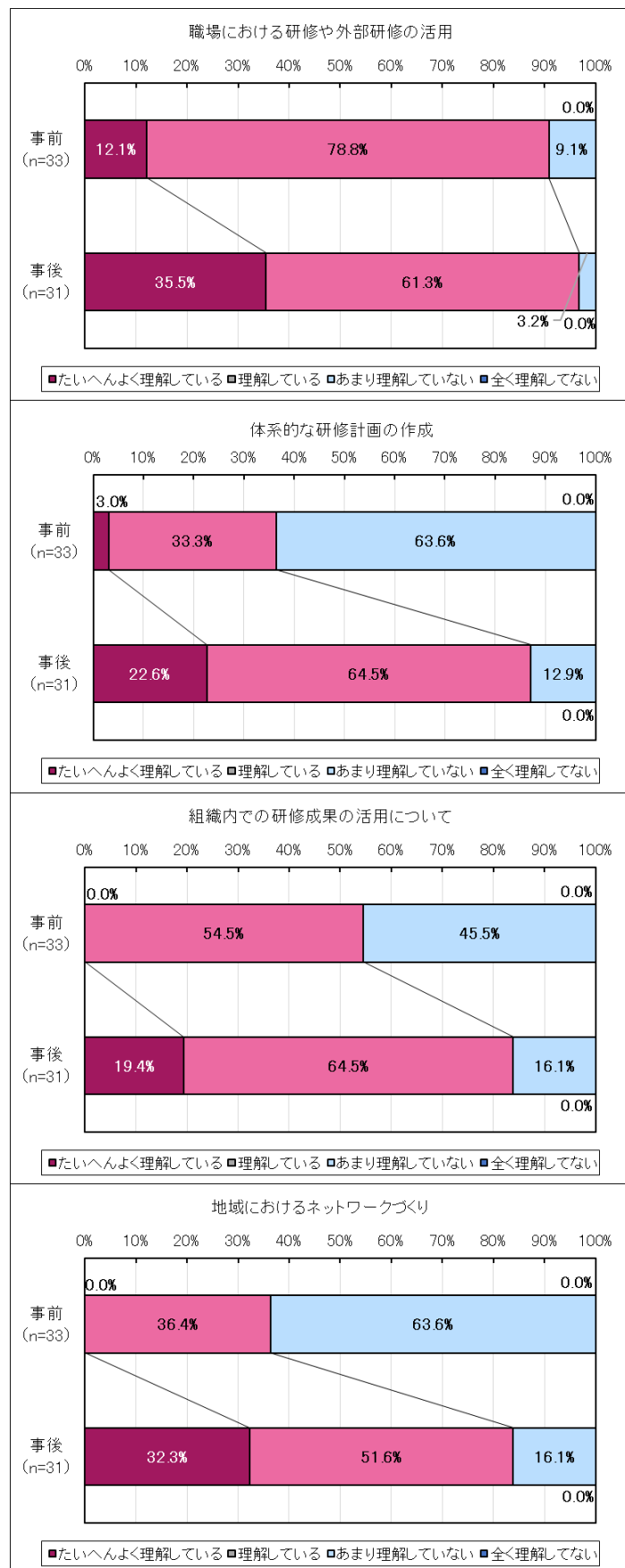
科目名

「保育所等における人材育成」

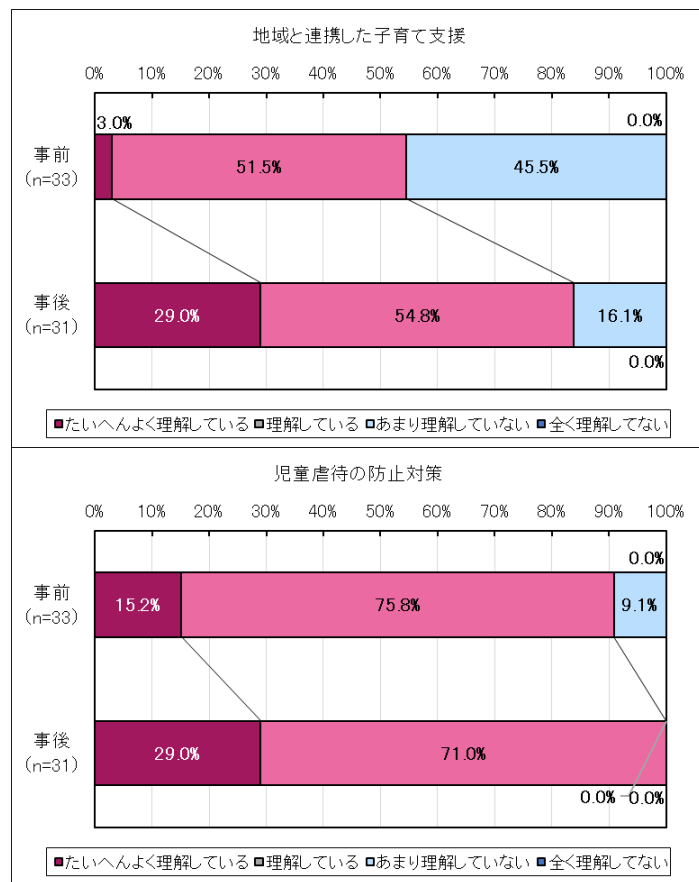


科目名

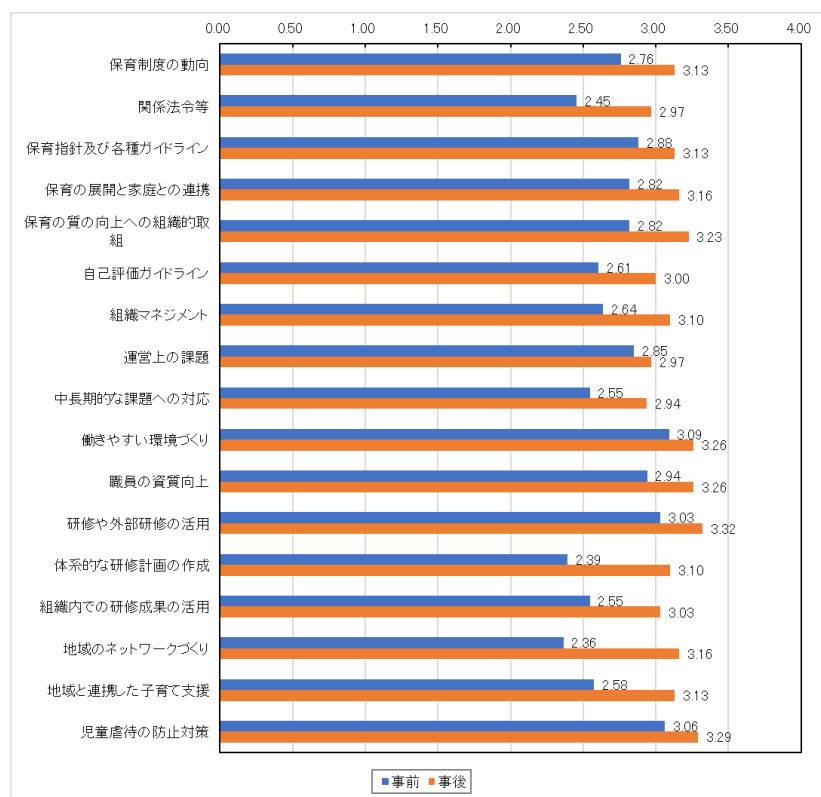
「地域に開かれた保育所等
づくり」



・その他



・理解度の平均値の事前事後比較



大変良く理解している・・・4

理解している・・・3

あまり理解していない・・・2

全く理解していない・・・1

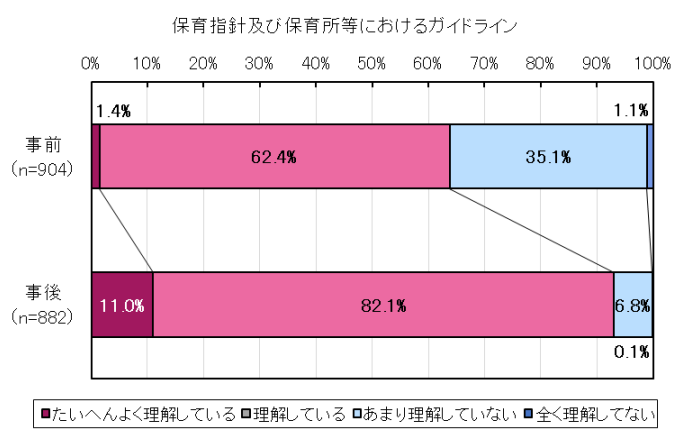
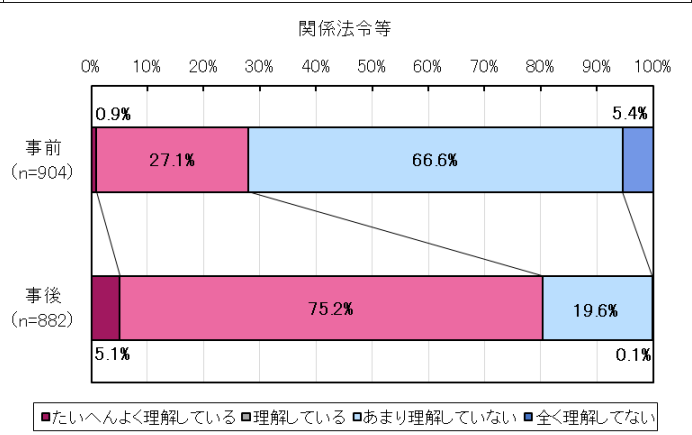
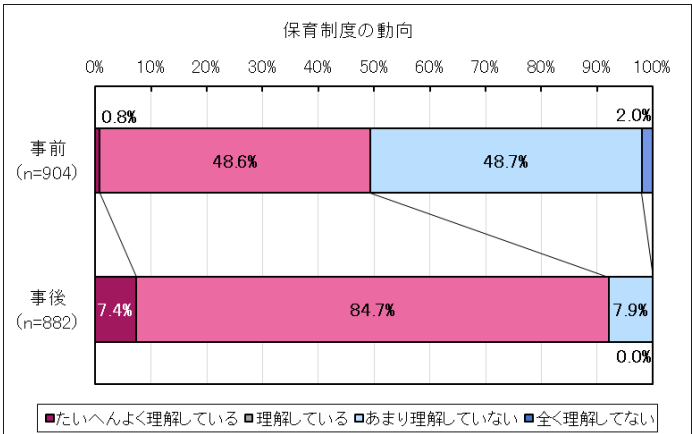
以上のポイントとし平均点を算出し比較したのが上記グラフです。

全ての項目において、理解度が上昇したことがわかりました。

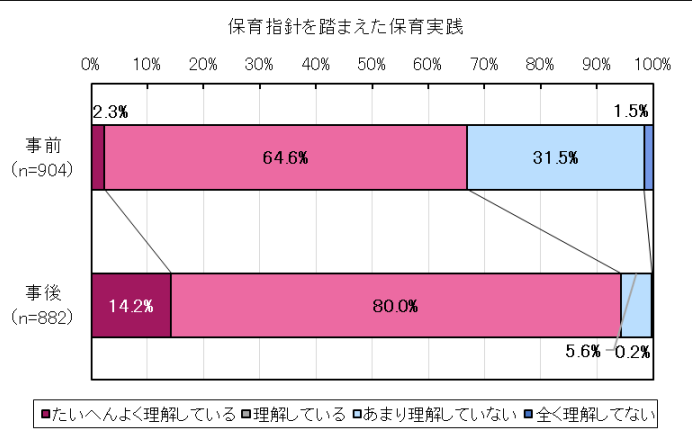
詳細を見ると、事前に最もポイントが低かったのが「地域のネットワークづくり」（2.36）であり、事前と事後のポイント差が最も大きかったのも「地域のネットワークづくり」（+0.8）であったことから、科目名「地域に開かれた保育所等づくり」における内容のひとつ「地域のネットワークづくり」が最も研修効果が高かったことが示されました。

3.1.2 初任所長研修

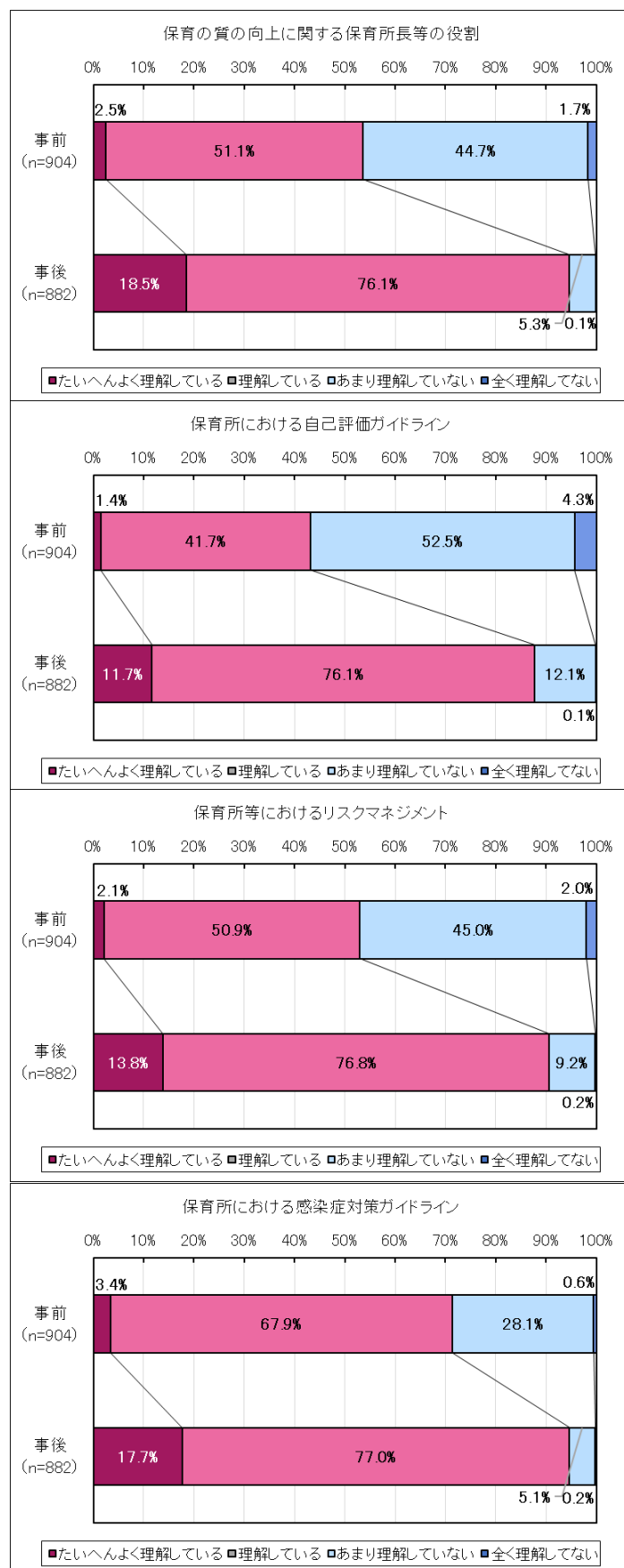
科目名
「保育制度の動向及び関係法令等」



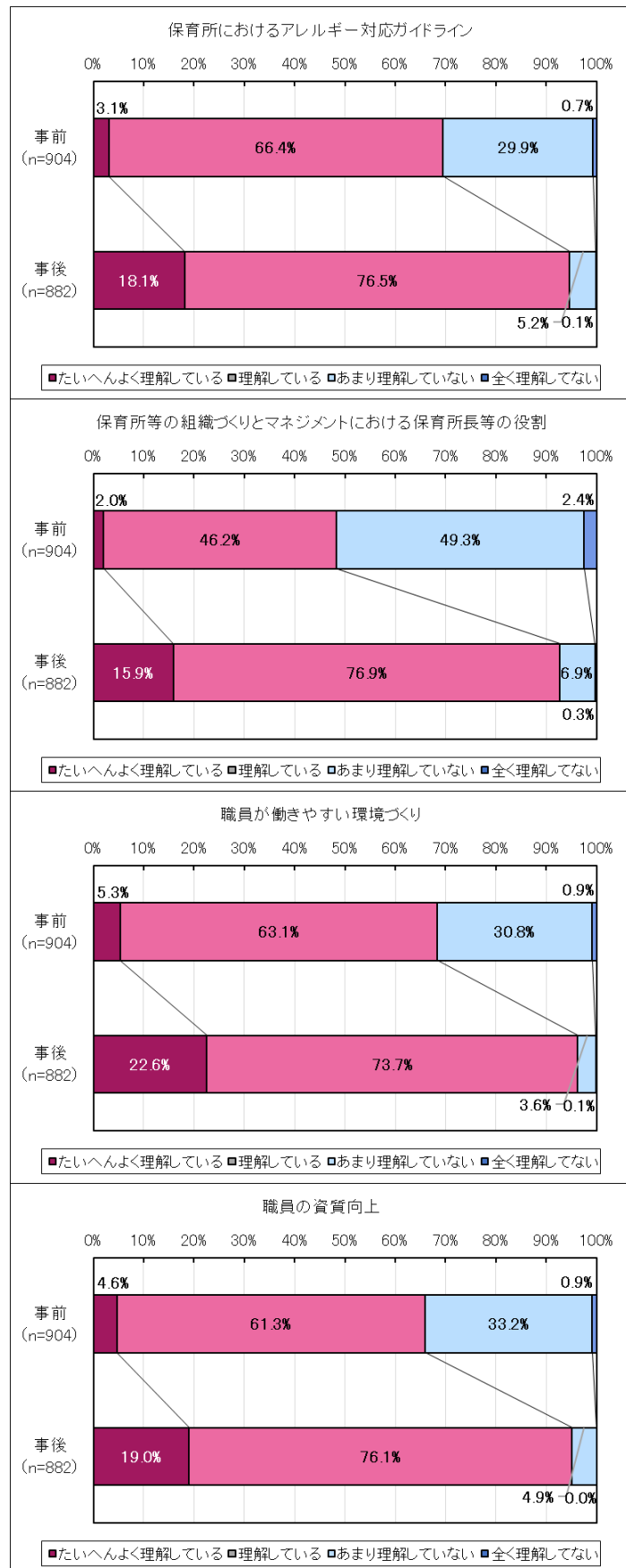
科目名
「乳幼児期の保育」



科目名
「保育所等のリスクマネジメント」

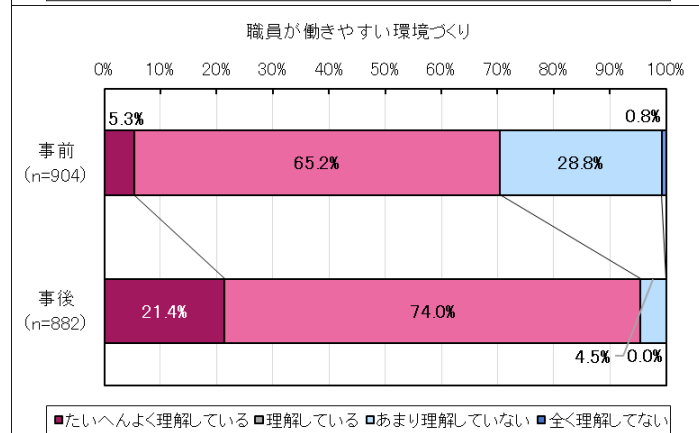
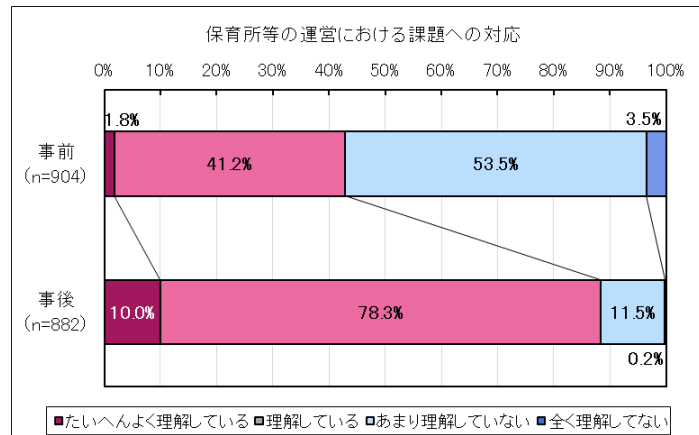


科目名
「保育所等の組織づくりとマネジメント（概論）」



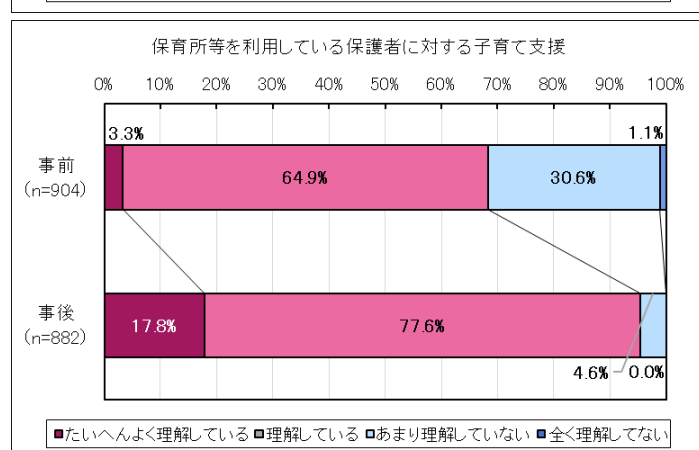
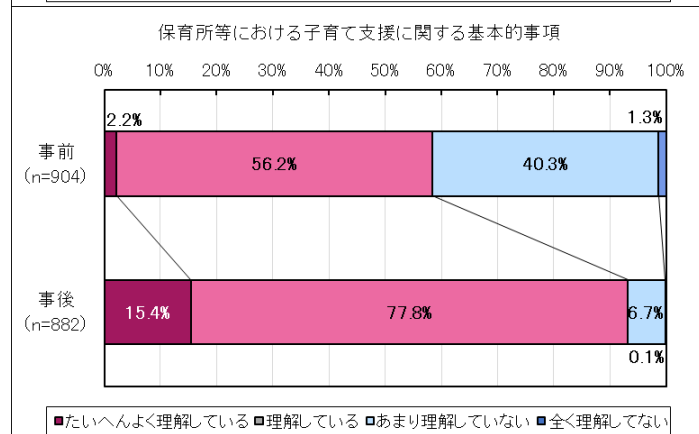
科目名

「保育所等の組織づくりとマネ
ジメント（演習）」

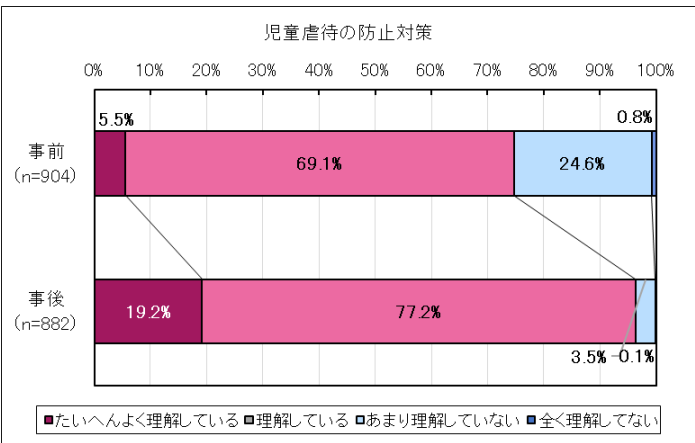
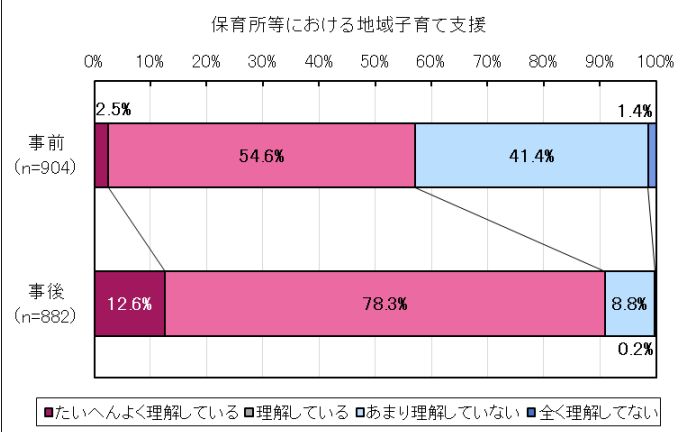
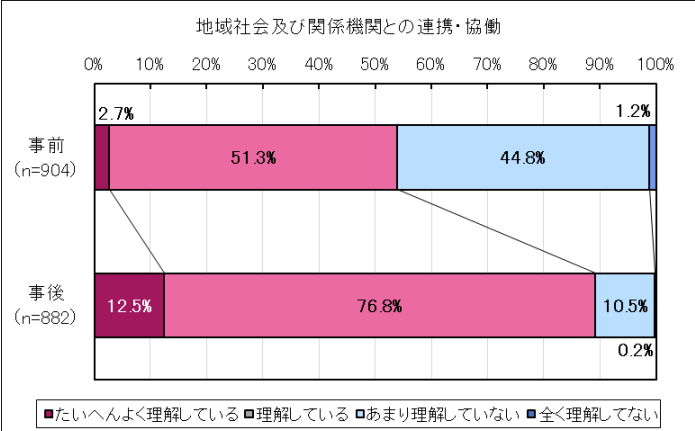
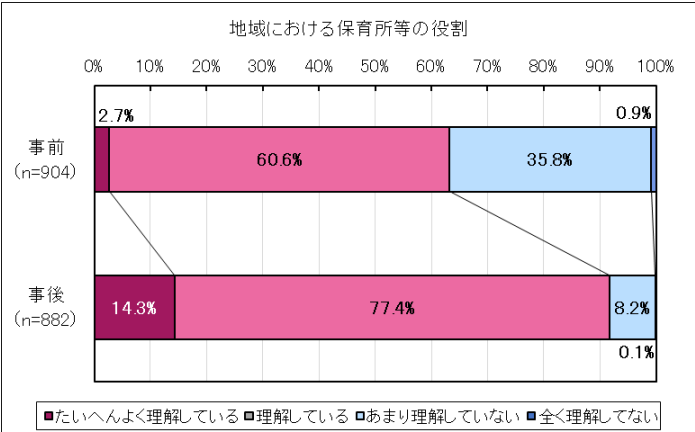


科目名

「子育て支援」

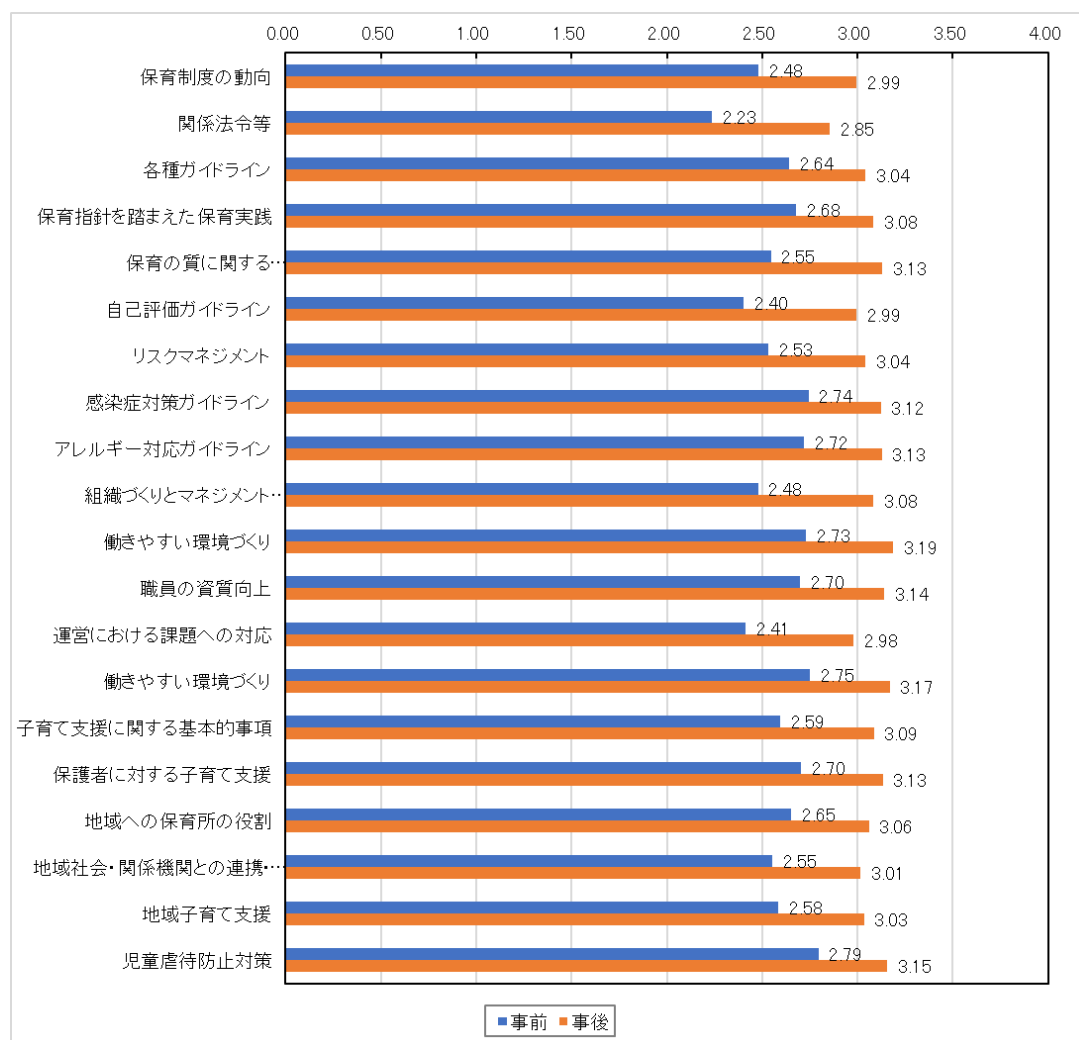


科目名
「地域に開かれた保育所等づくり」



・その他

・理解度の平均値の事前事後比較



大変良く理解している・・・4

理解している・・・3

あまり理解していない・・・2

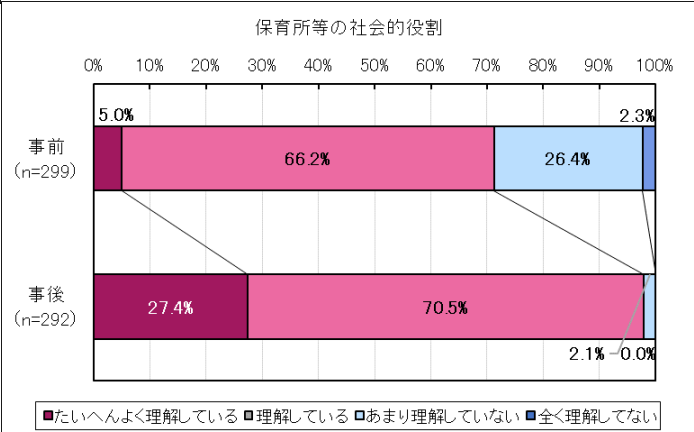
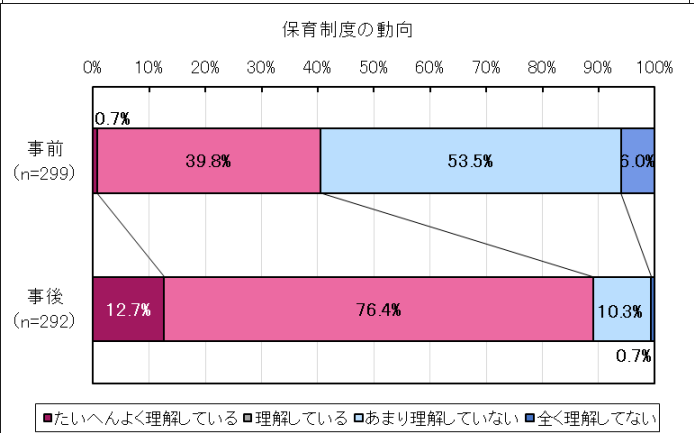
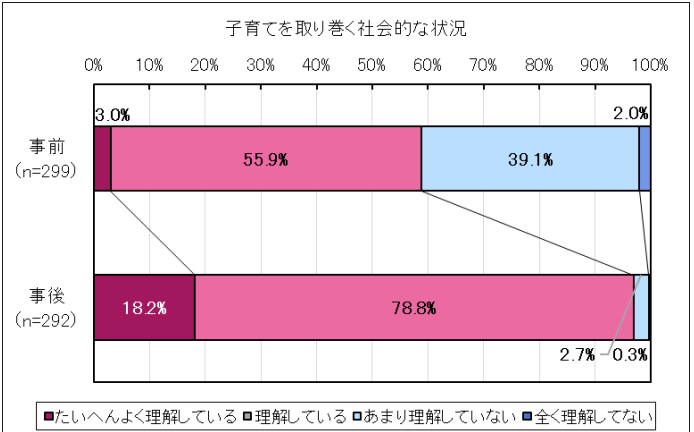
全く理解していない・・・1

全ての項目において、理解度が上昇したことがわかりました。

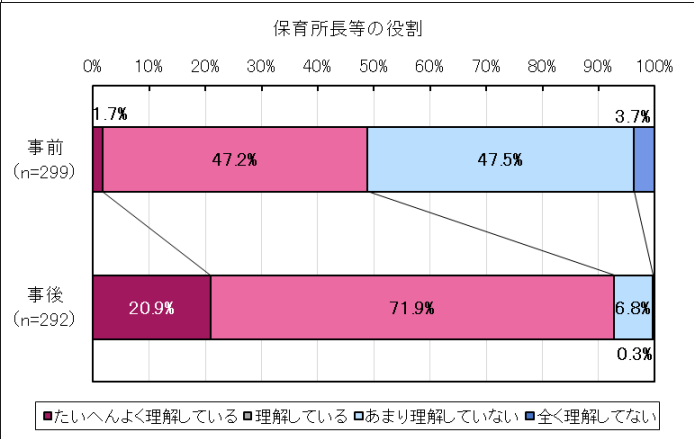
詳細をみると、事前に最もポイントが低かったのが「関係法令等」（2.23）であり、事前と事後のポイント差が最も大きかったのも「関係法令等」（+0.62）であったことから、科目名「保育制度の動向及び関係法令等」における内容のひとつ「関係法令等」が最も研修効果が高かったことが示されました。

3.1.3 初任所長（就任予定者）研修

科目名
「保育所等の社会的役割」

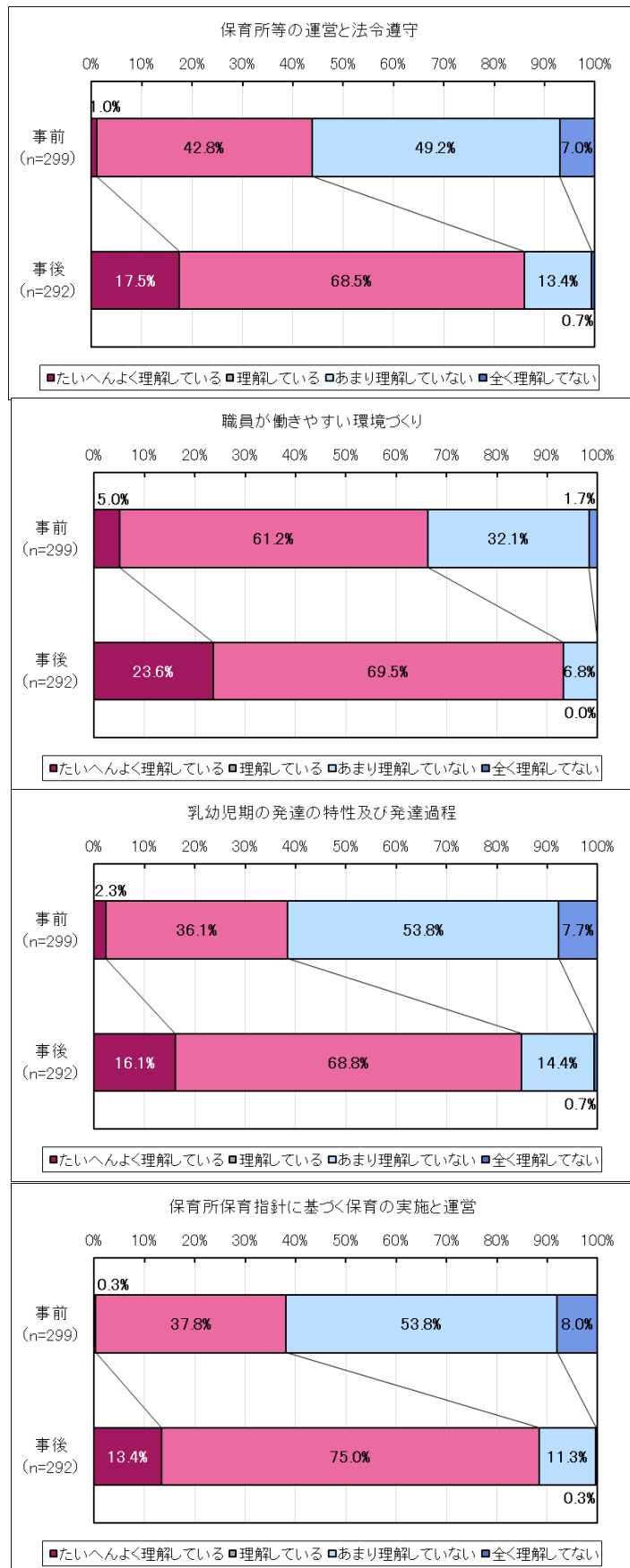


科目名
「保育所長等の役割」

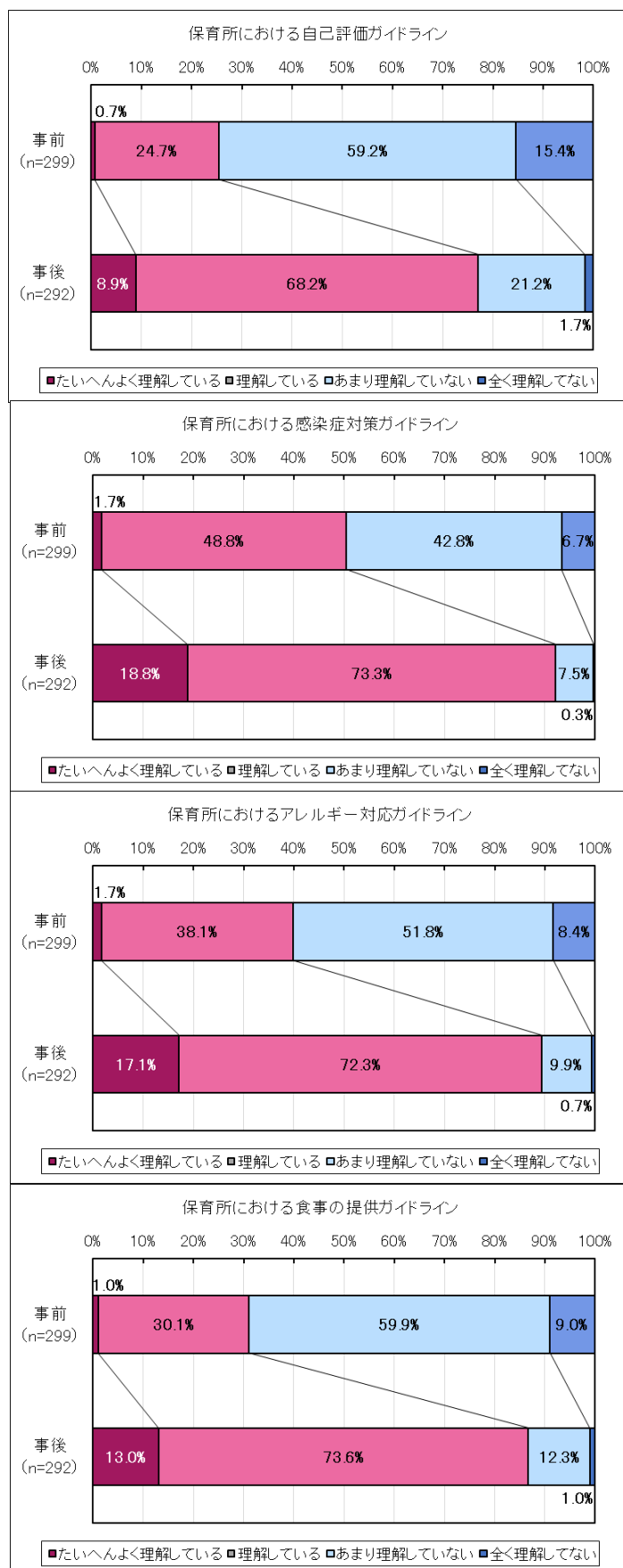


科目名

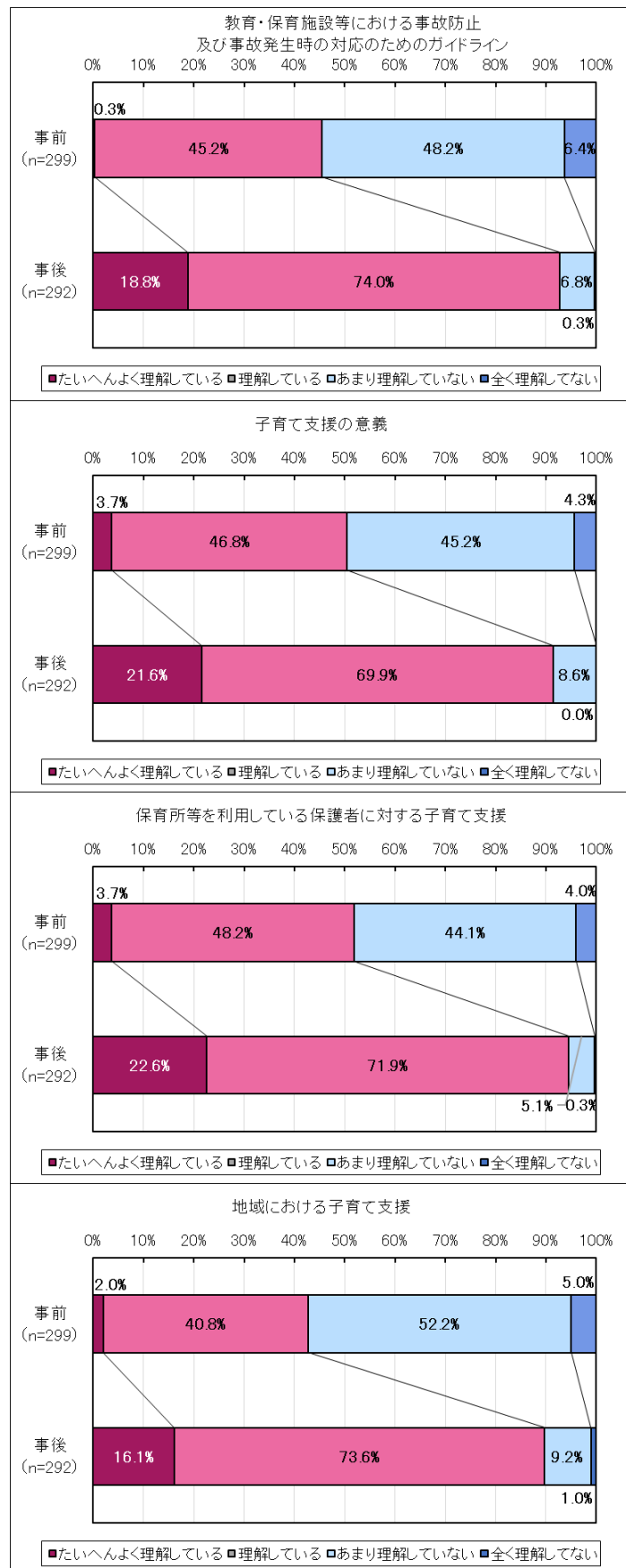
「子どもの発達と保育の内容」



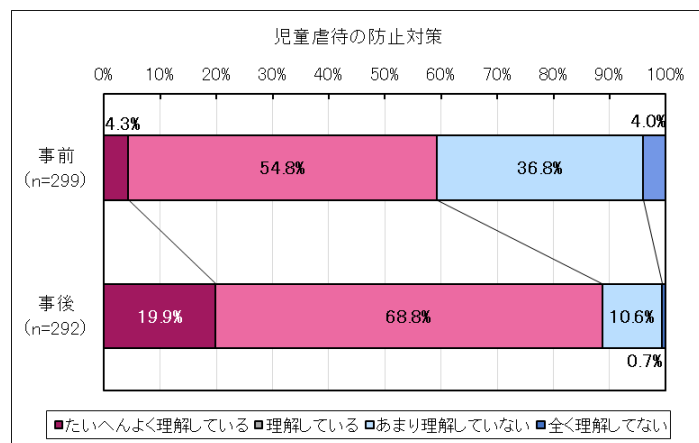
科目名
「保育所等における健康・安全」



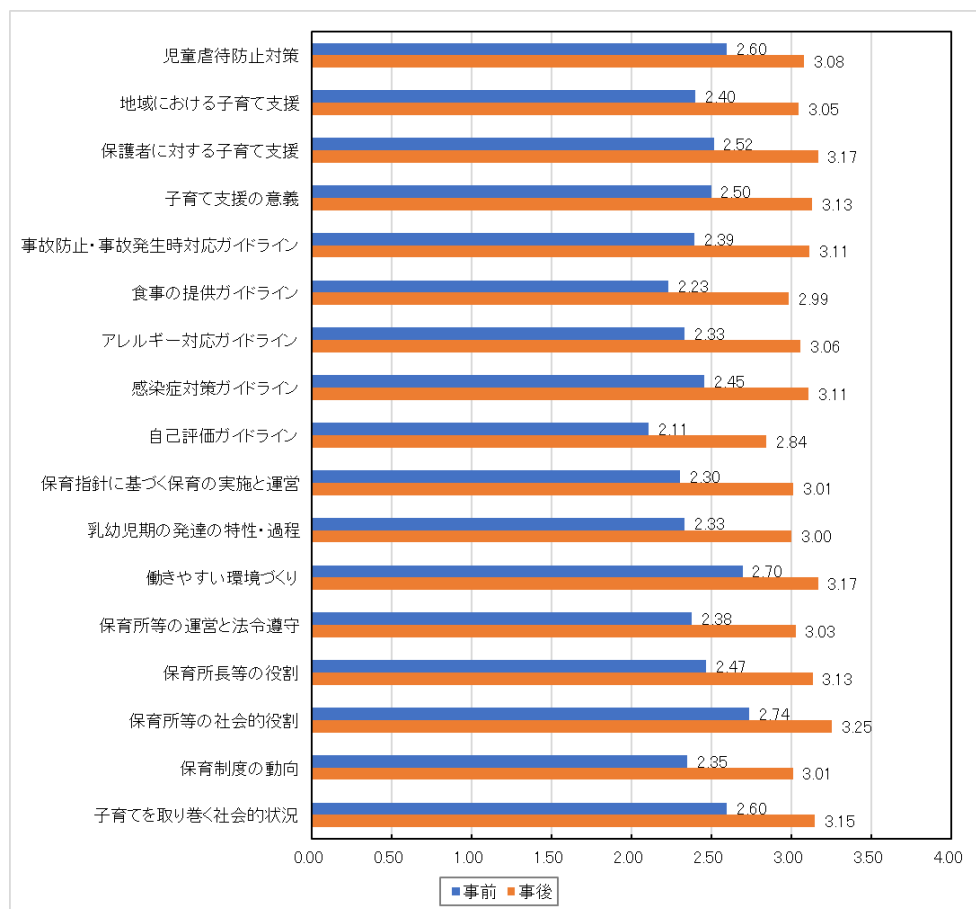
科目名
「子育て支援」



・その他



・理解度の平均値の事前事後比較



大変良く理解している・・・4

理解している・・・・・・・・・・3

あまり理解していない・・・2

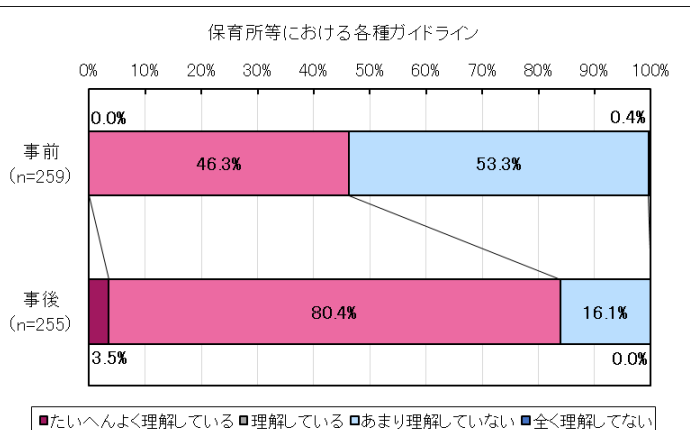
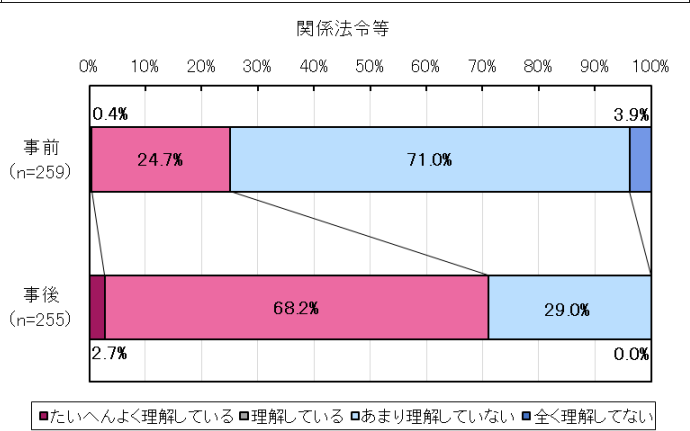
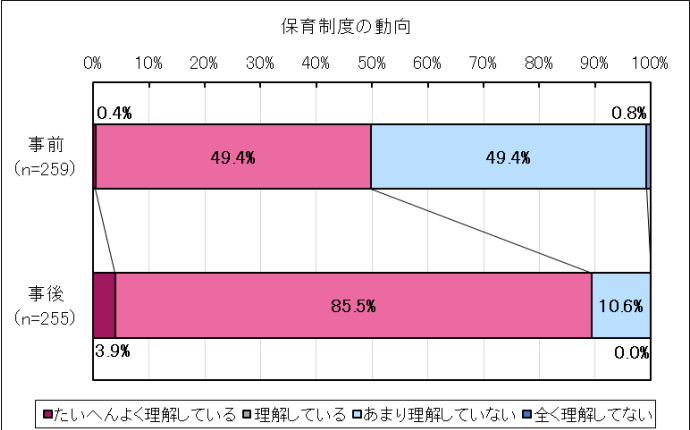
全く理解していない・・・・・・1

全ての項目において、理解度が上昇したことがわかりました。

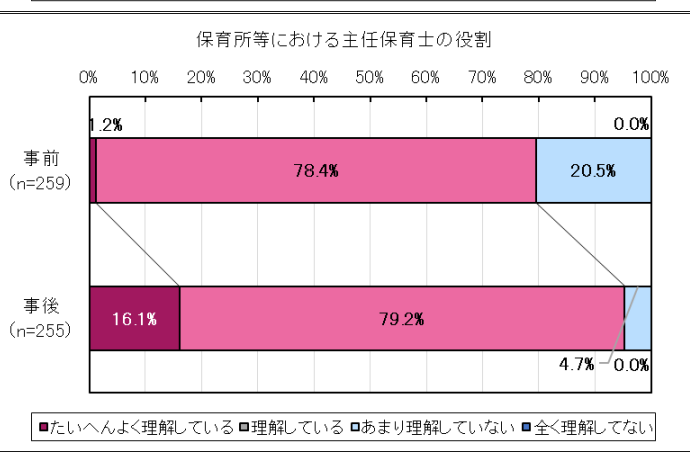
詳細をみると、事前に最もポイントが低かったのが「自己評価ガイドライン」（2.11）であり、事前と事後のポイント差が最も大きかったのは「食事の提供ガイドライン」（+0.74）であったことから、科目名「子どもの発達と保育の内容」における内容のひとつ「自己評価ガイドライン」と科目名「保育所等における健康・安全」の内容のひとつ「食事の提供ガイドライン」が最も研修効果が高かったことが示されました。

3.1.4 中堅主任保育士研修

科目名
「保育制度の動向及び関係法令等」

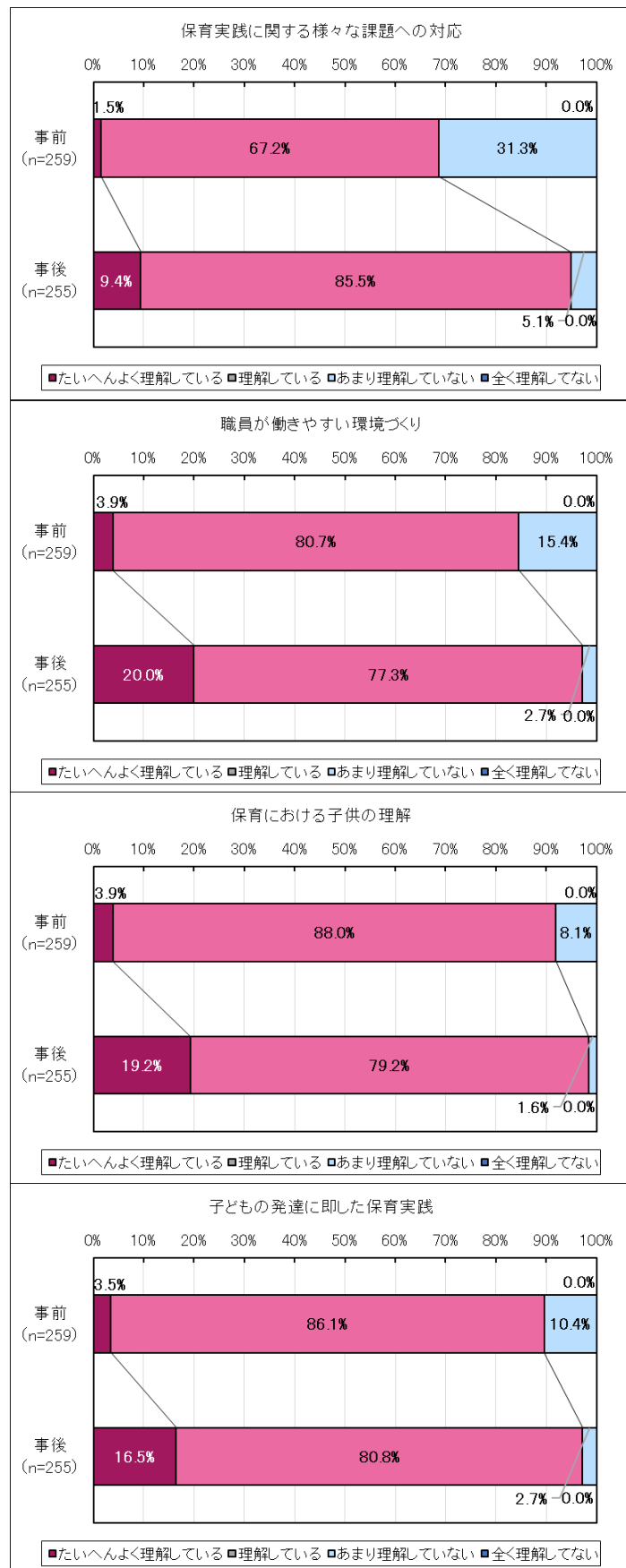


科目名
「保育所等における主任保育士の役割」

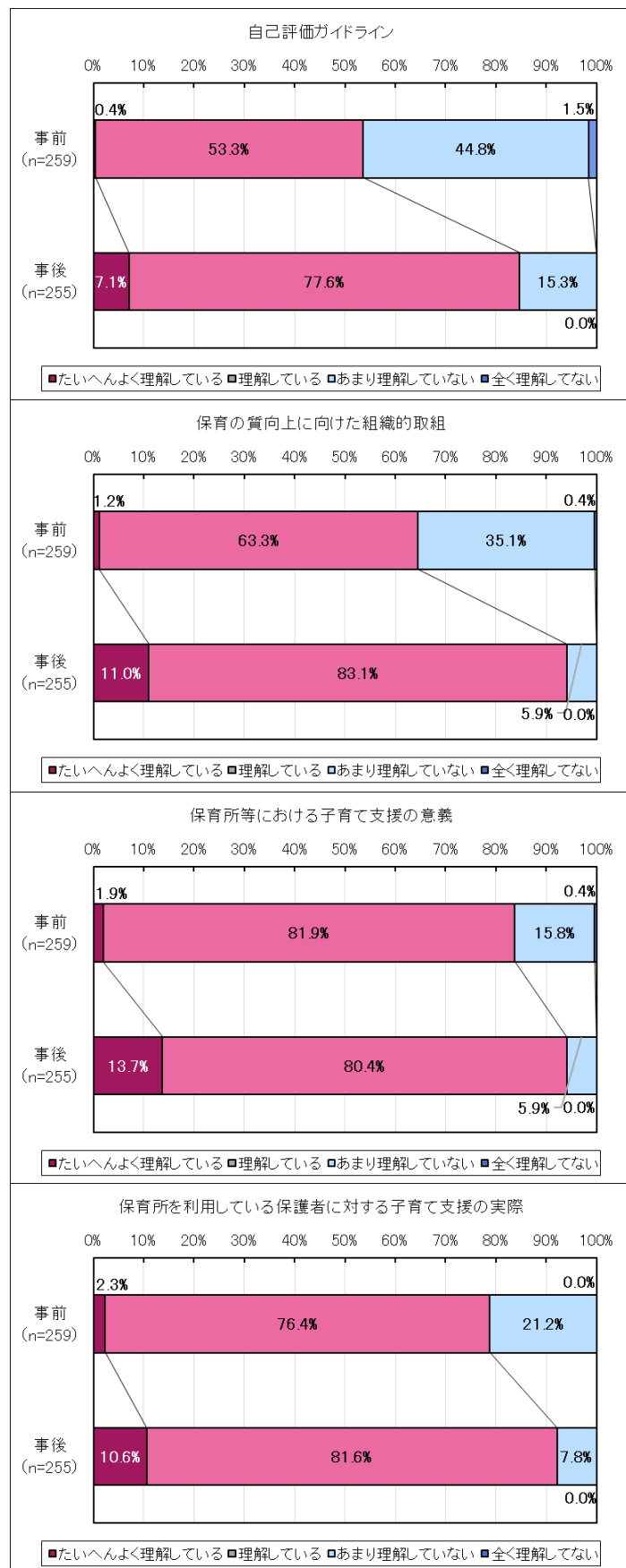


科目名

「子どもの発達と保育」

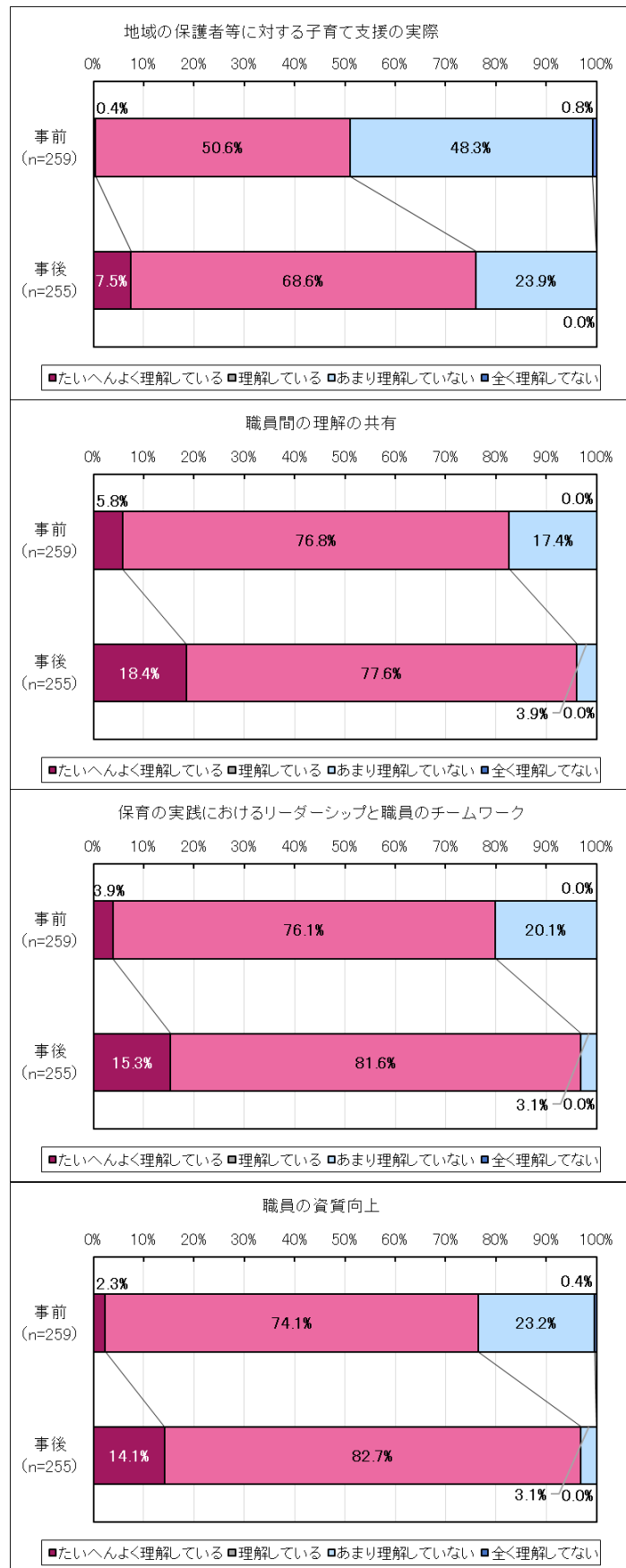


科目名
「保護者支援・子育て支援」

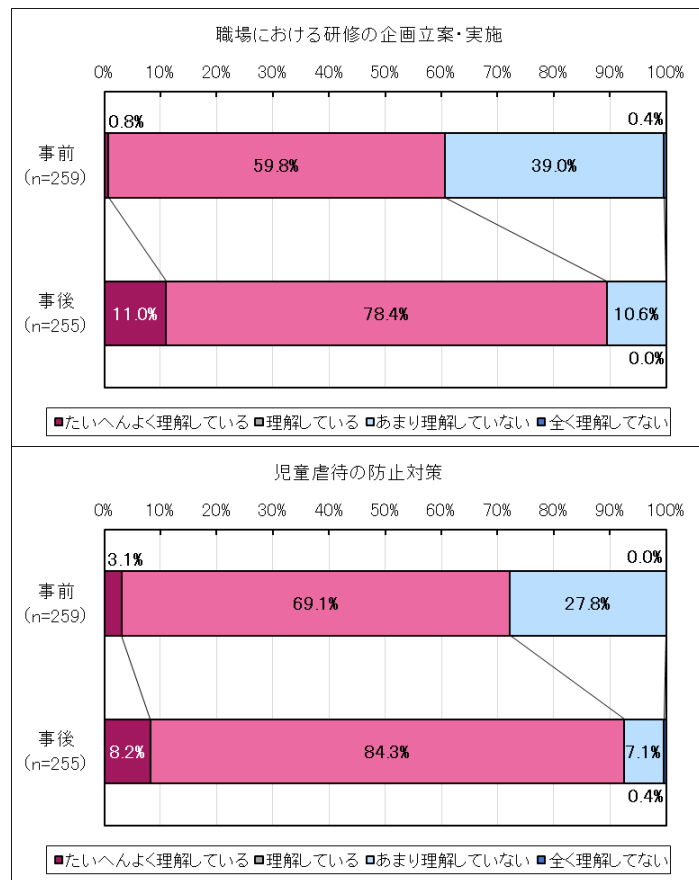


科目名

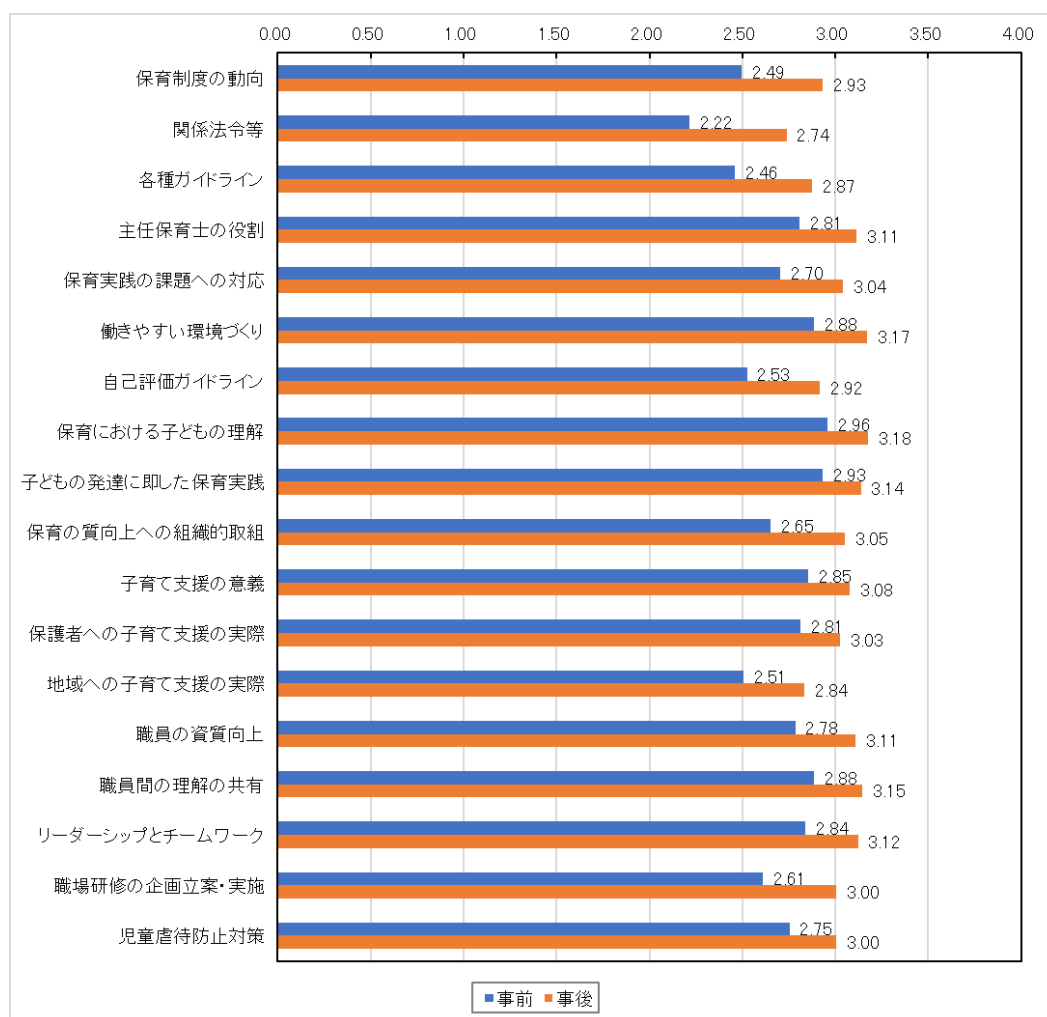
「保育所等における人材育成」



・その他



・理解度の平均値の事前事後比較



大変良く理解している・・・4

理解している・・・・・・・・・・3

あまり理解していない・・・2

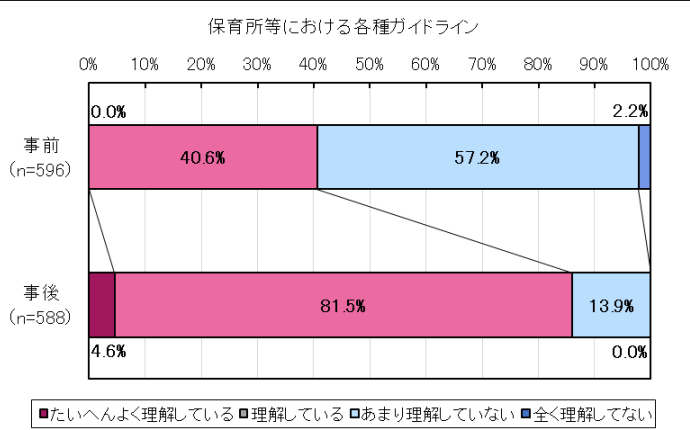
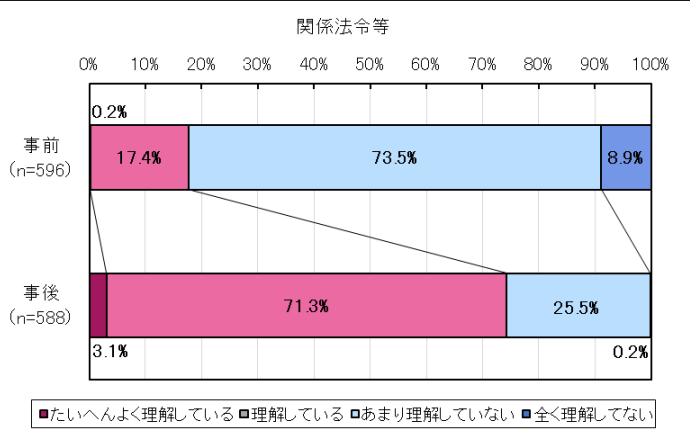
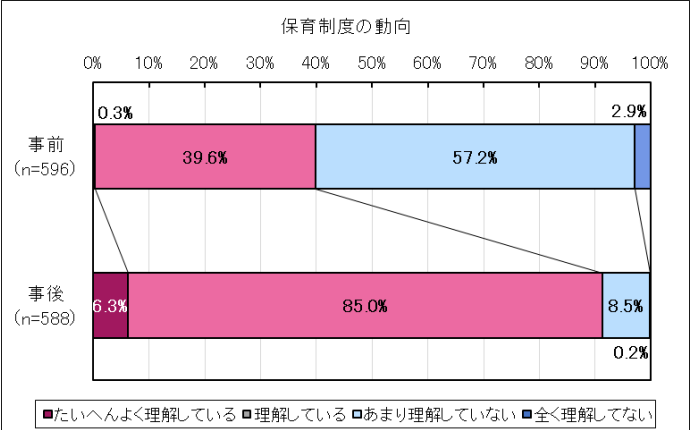
全く理解していない・・・・・・1

全ての項目において、理解度が上昇したことがわかりました。

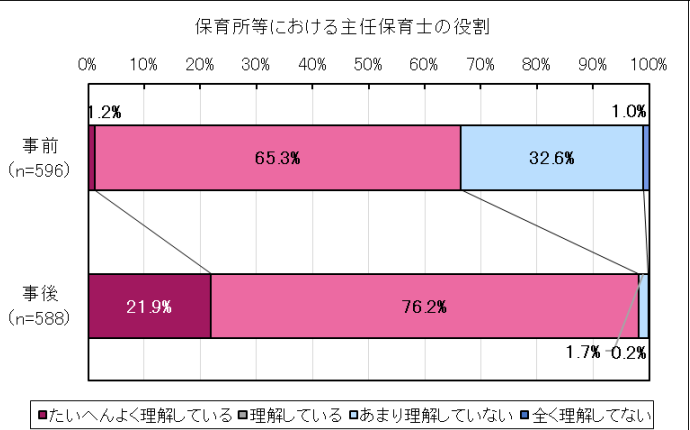
詳細をみると、事前に最もポイントが低かったのが「関係法令等」（2.22）であり、事前と事後のポイント差が最も大きかったのも「関係法令等」（+0.52）であったことから、科目名「保育制度の動向及び関係法令等」における内容のひとつ「関係法令等」が最も研修効果が高かったことが示されました。

3.1.5 初任主任保育士研修

科目名
「保育制度の動向及び関係法令等」

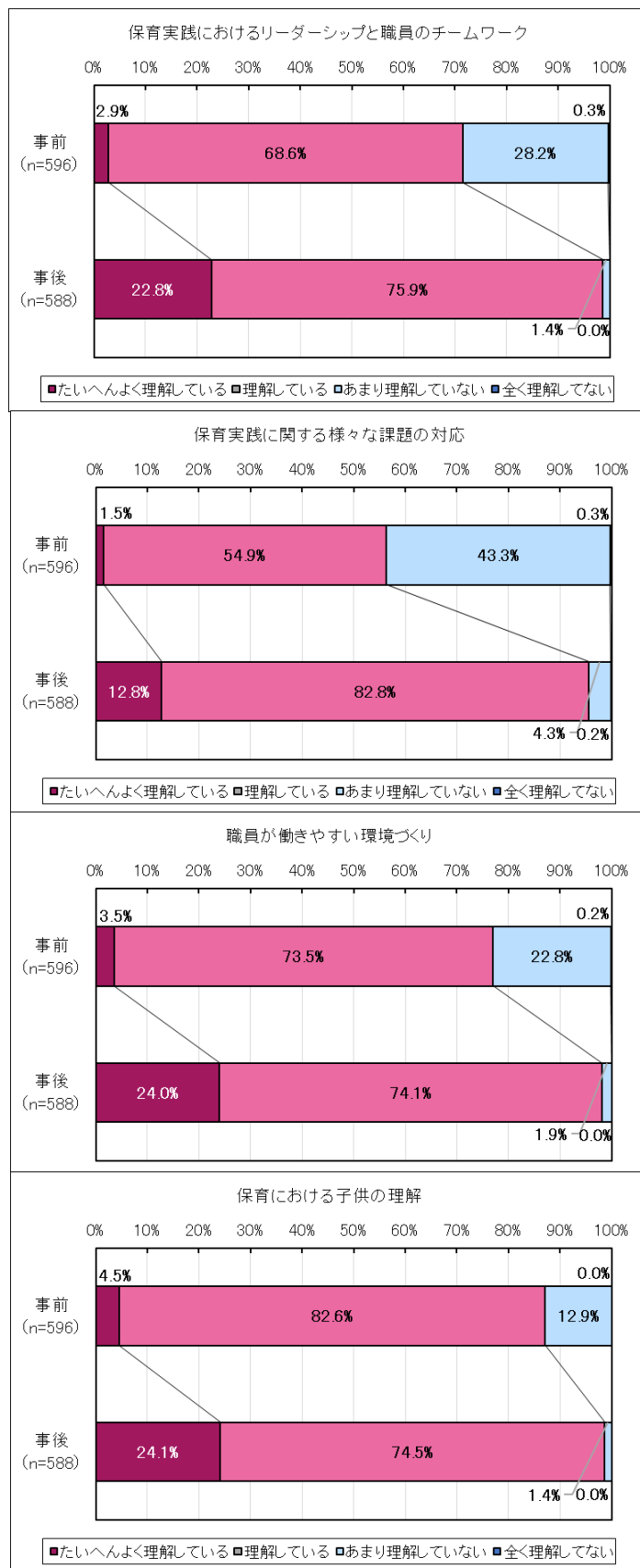


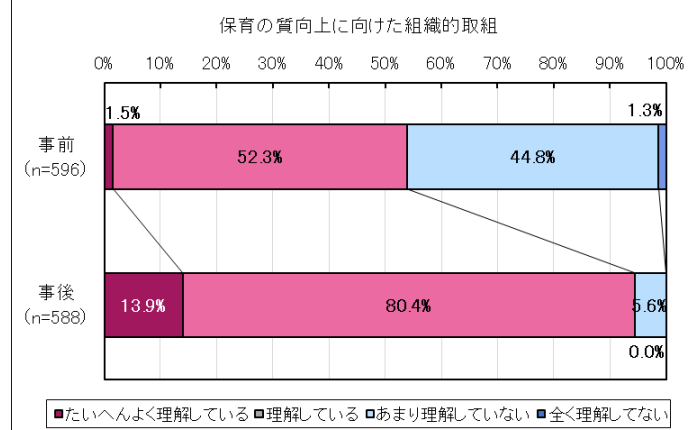
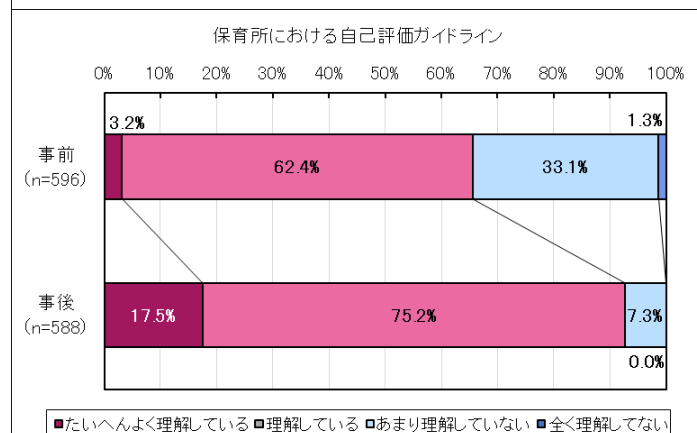
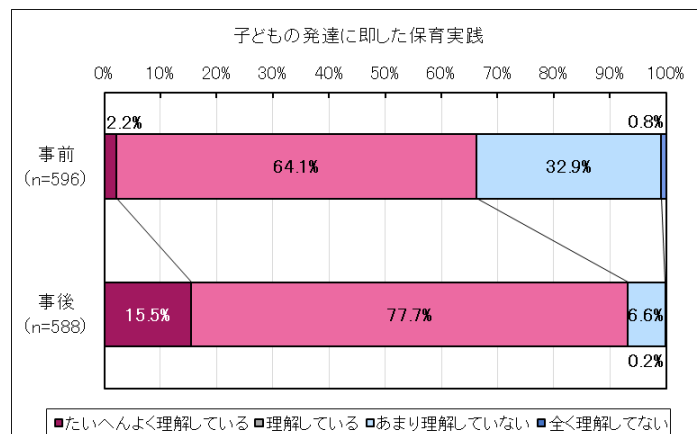
科目名
「保育所等における主任保育士の役割」



科目名

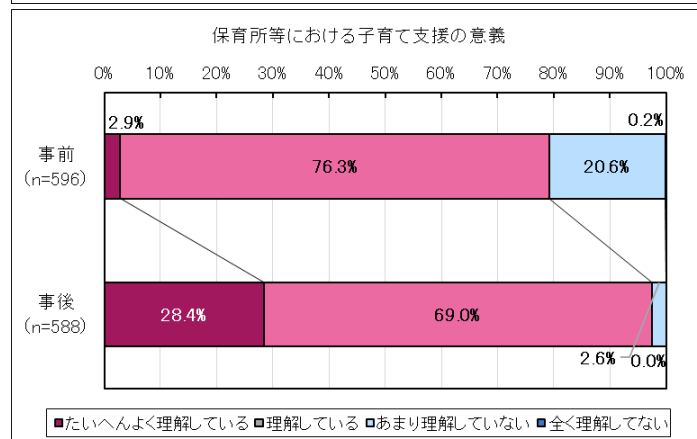
「子どもの発達と保育」



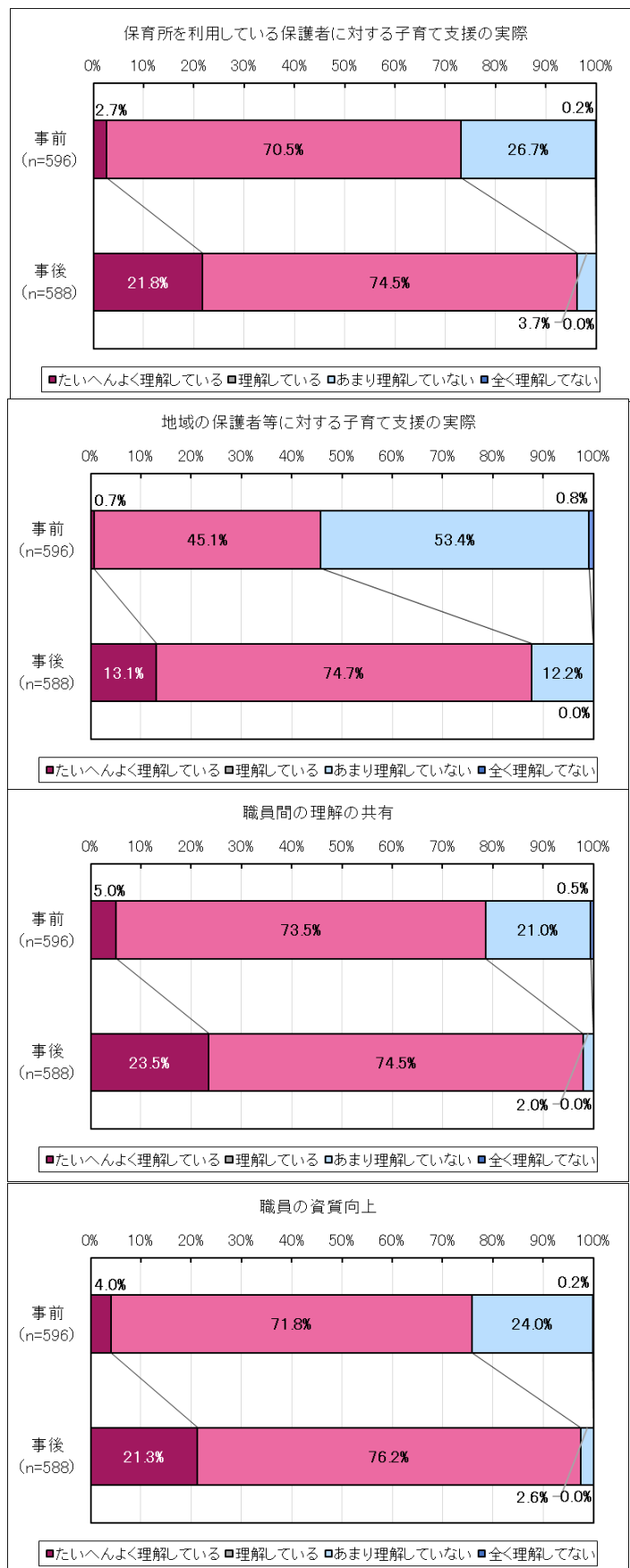


科目名

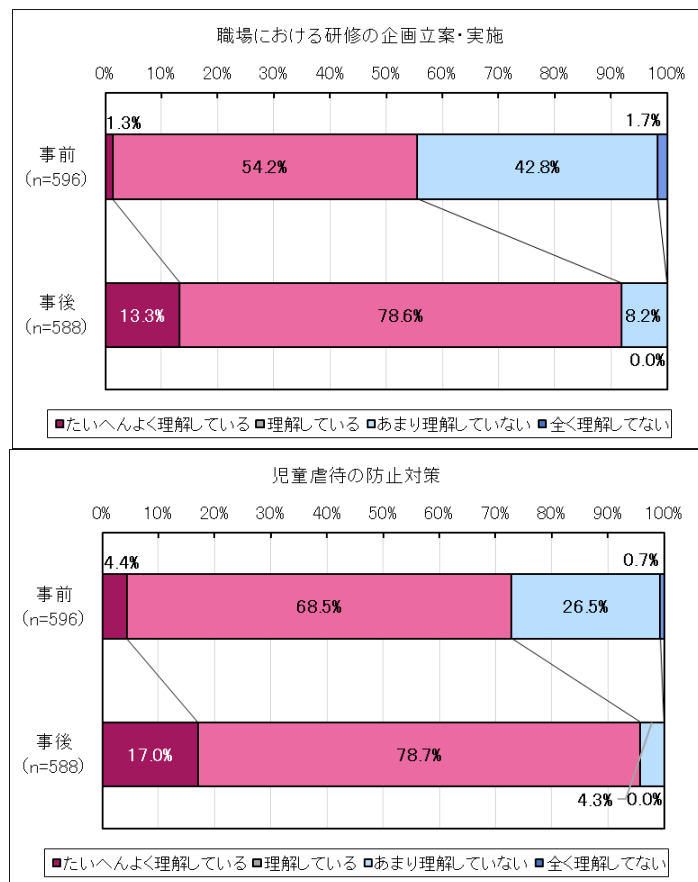
「保護者支援・子育て支援」



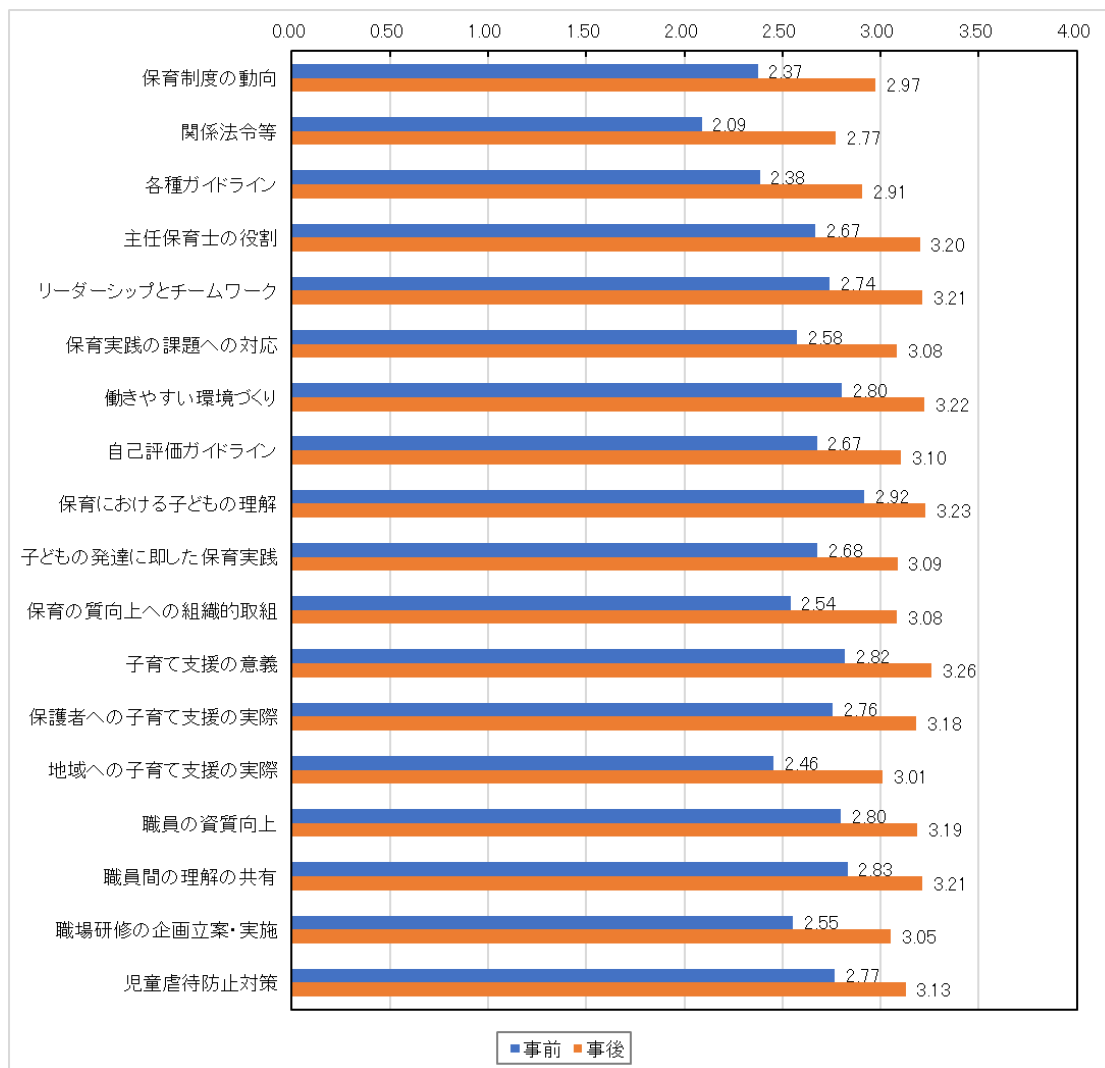
科目名
「保育所等における人材育成」



・その他



・理解度の平均値の事前事後比較



大変良く理解している・・・4
 理解している・・・・・・・・・・3
 あまり理解していない・・・2
 全く理解していない・・・・・・1

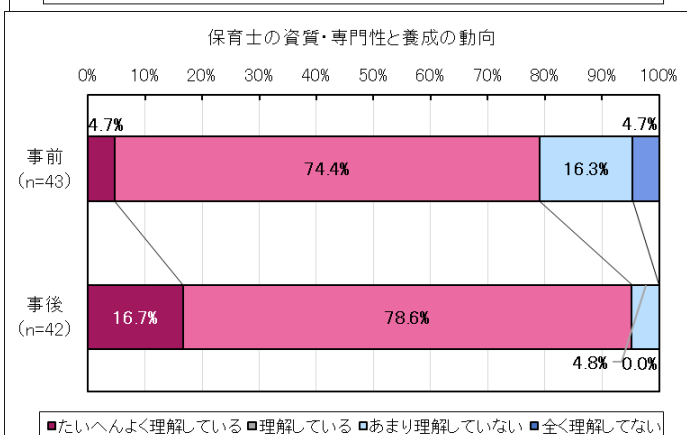
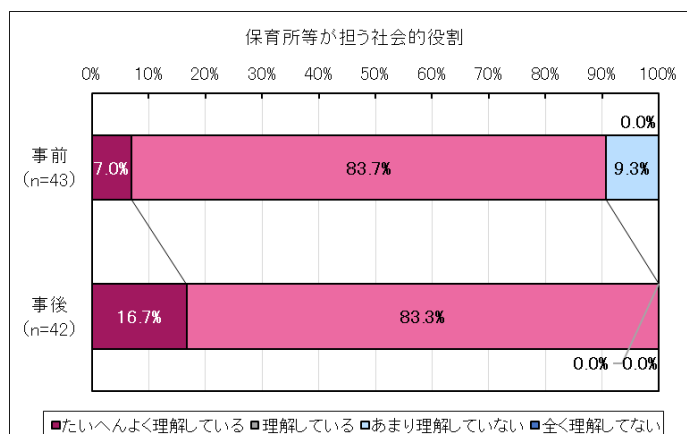
全ての項目において理解度が上昇したことがわかりました。

詳細をみると、事前に最もポイントが低かったのが「関係法令等」（2.09）であり、事前と事後のポイント差が最も大きかったのも「関係法令等」（+0.68）であったことから、科目名「保育制度の動向及び関係法令等」における内容のひとつ「関係法令等」が最も研修効果が高かったことが示されました。

3.1.6 保育所等実習指導研修

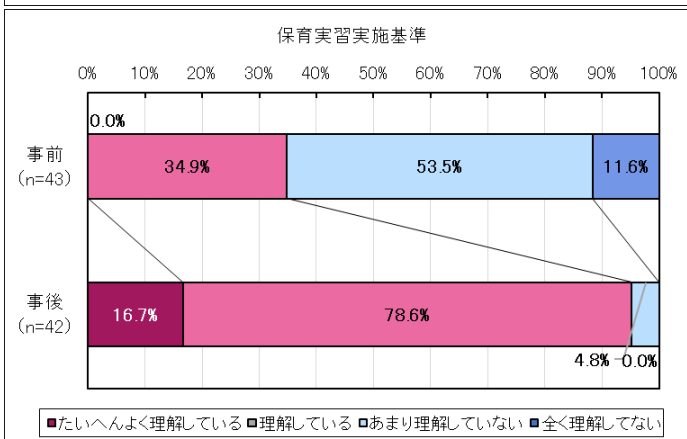
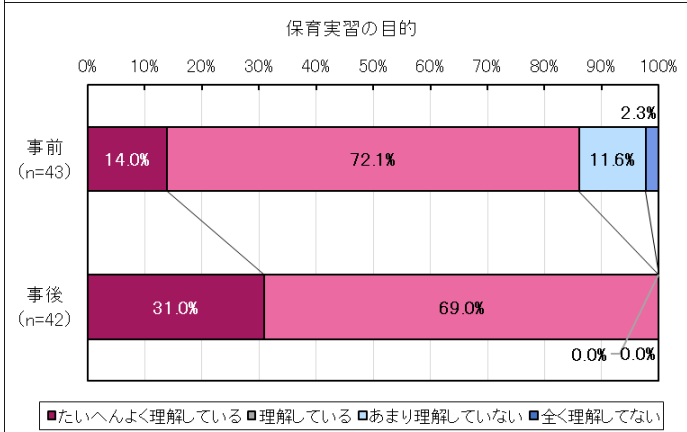
科目名

「保育所等の社会的役割と保育士養成」



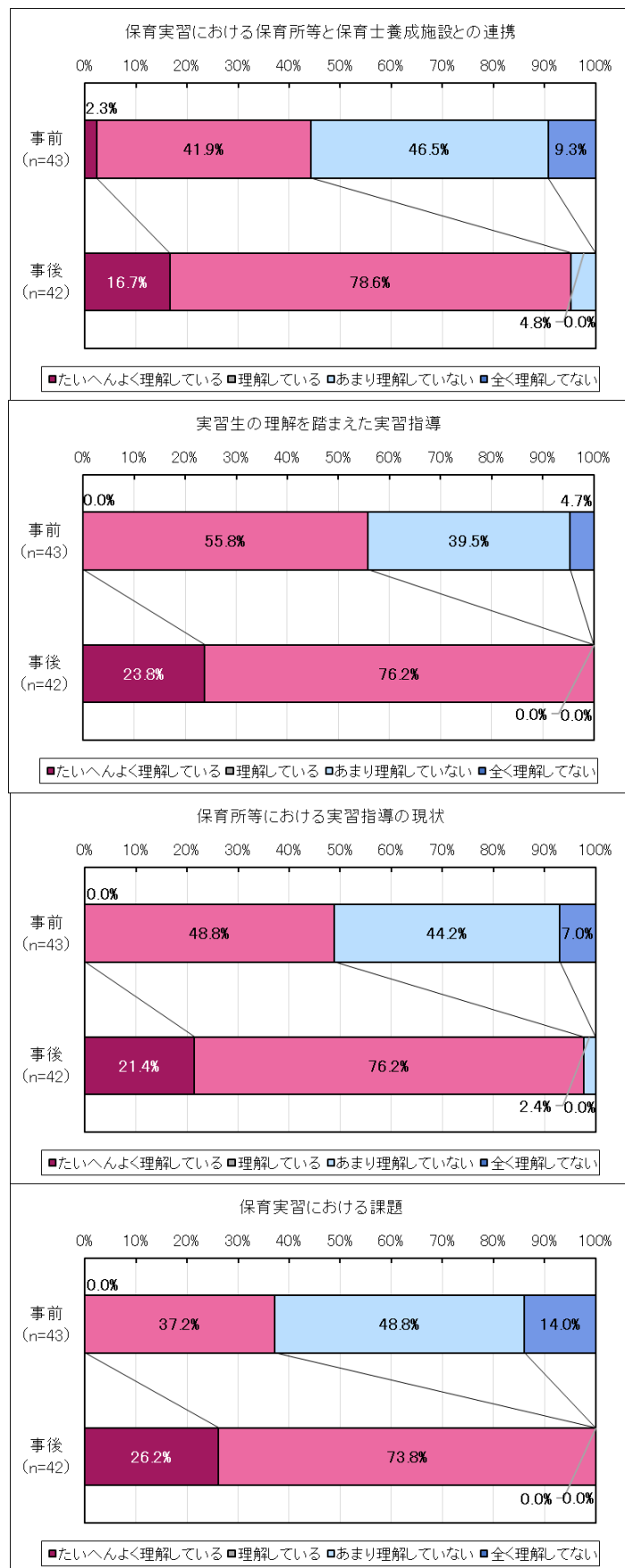
科目名

「保育士養成と保育実習」



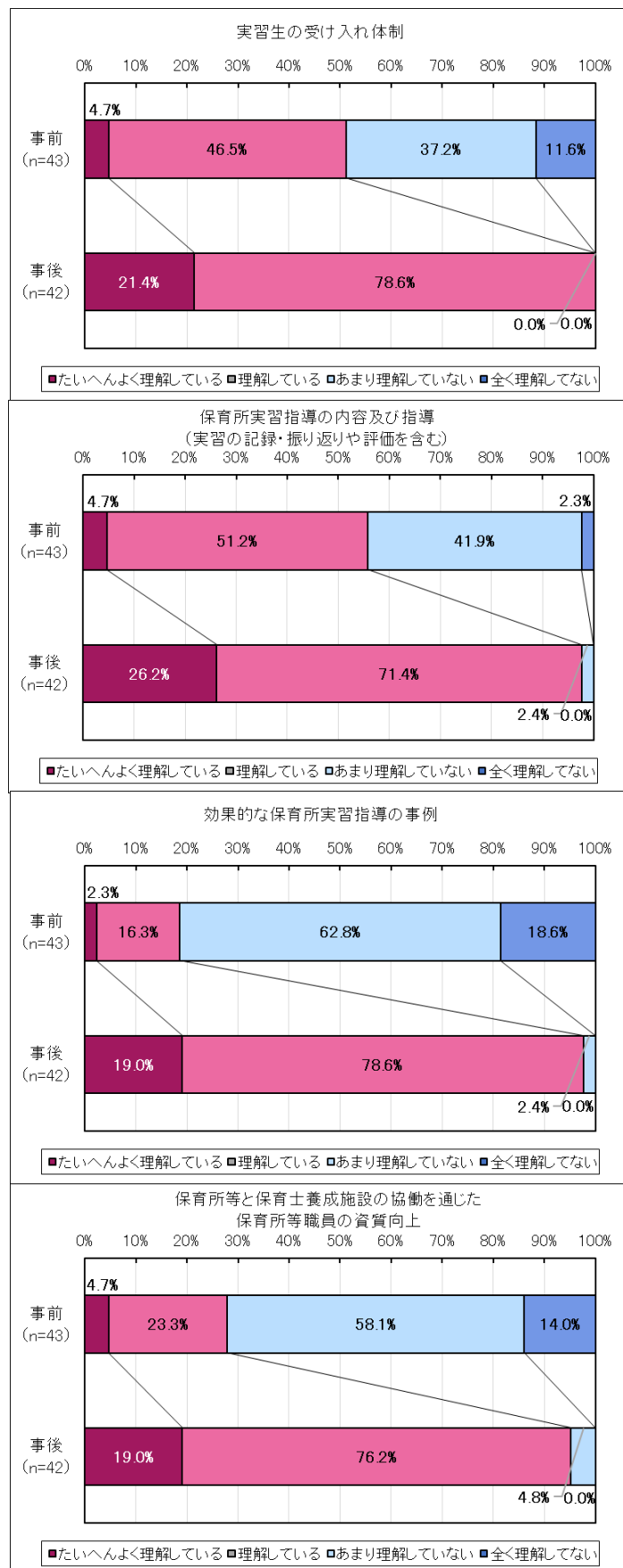
科目名

「保育実習の現状と諸課題」



科目名

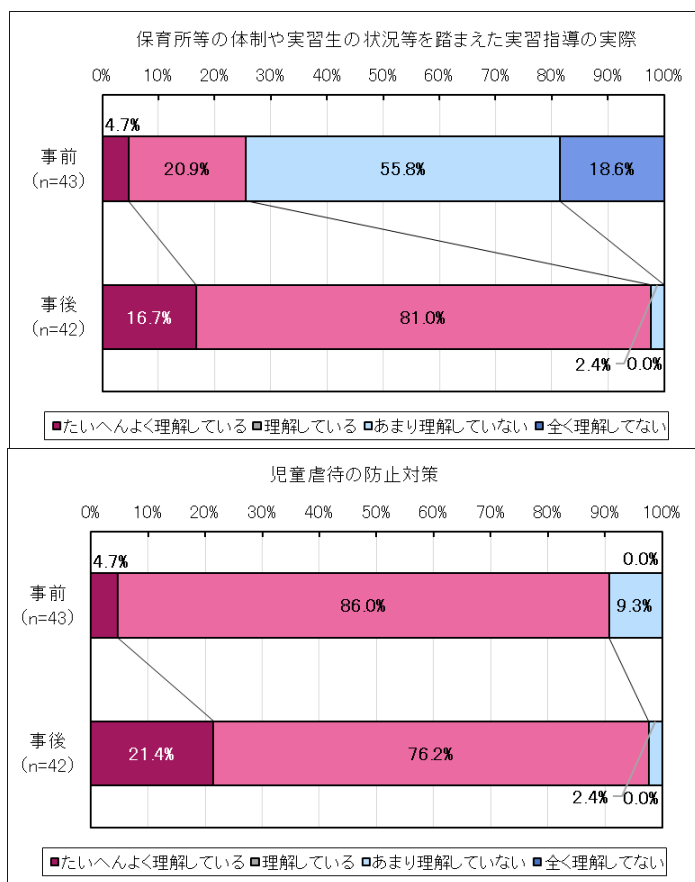
「保育実習指導の基本」



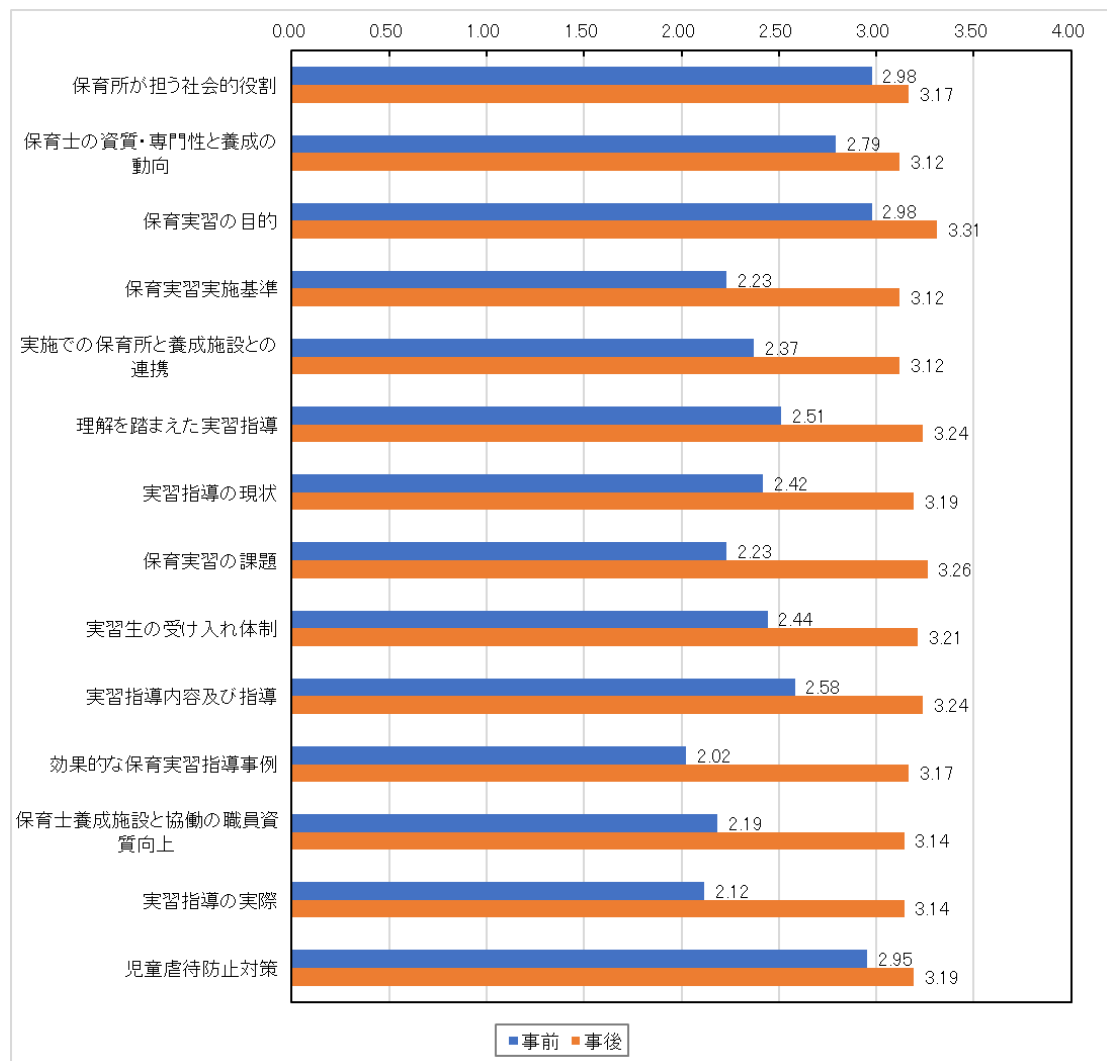
科目名

「保育実習指導の実践」

・その他



・理解度の平均値の事前事後比較



大変良く理解している・・・4

理解している・・・3

あまり理解していない・・・2

全く理解していない・・・1

全ての項目において、理解度が浄書していることがわかりました。

詳細をみると、事前に最もポイントが低かったのが「効果的な保育実習指導事例」（2.02）であり、事前と事後のポイント差が最も大きかったのも「効果的な保育実習指導事例」（+1.14）であったことから、科目名「保育実習指導の基本」における内容のひとつ「効果的な保育実習指導事例」が最も研修効果が高かったことが示されました。

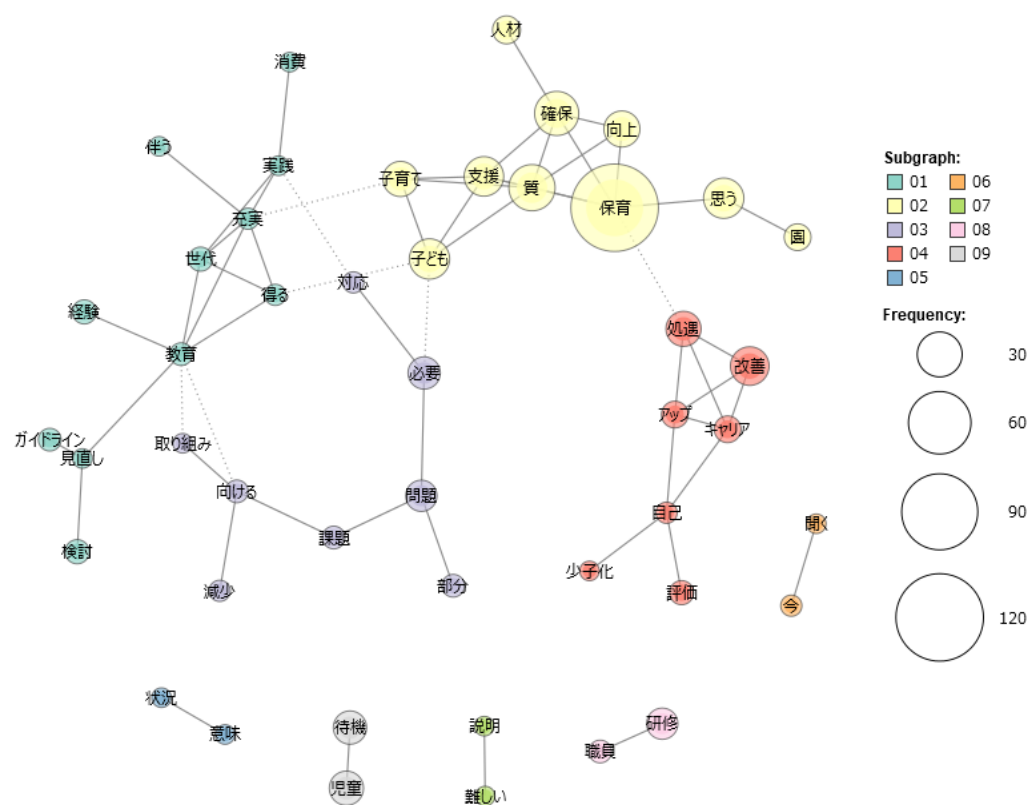
3.2 各研修科目における学びの解析（事後課題自由記述への解析）

研修科目毎に設定した設問に対し、自由記述で回答してもらいました。KH Corder を用いてテキストマイニング（共起ネットワーク分析）を行うことで、受講者全体としての傾向をつかむことができます。さらに、複数研修会間の比較を対応分析を行い、研修会毎の傾向や特徴をつかむことができました。

研修科目「保育制度の動向及び関係法令等」について

【設問】研修で重点的に学んだことを書いてください。

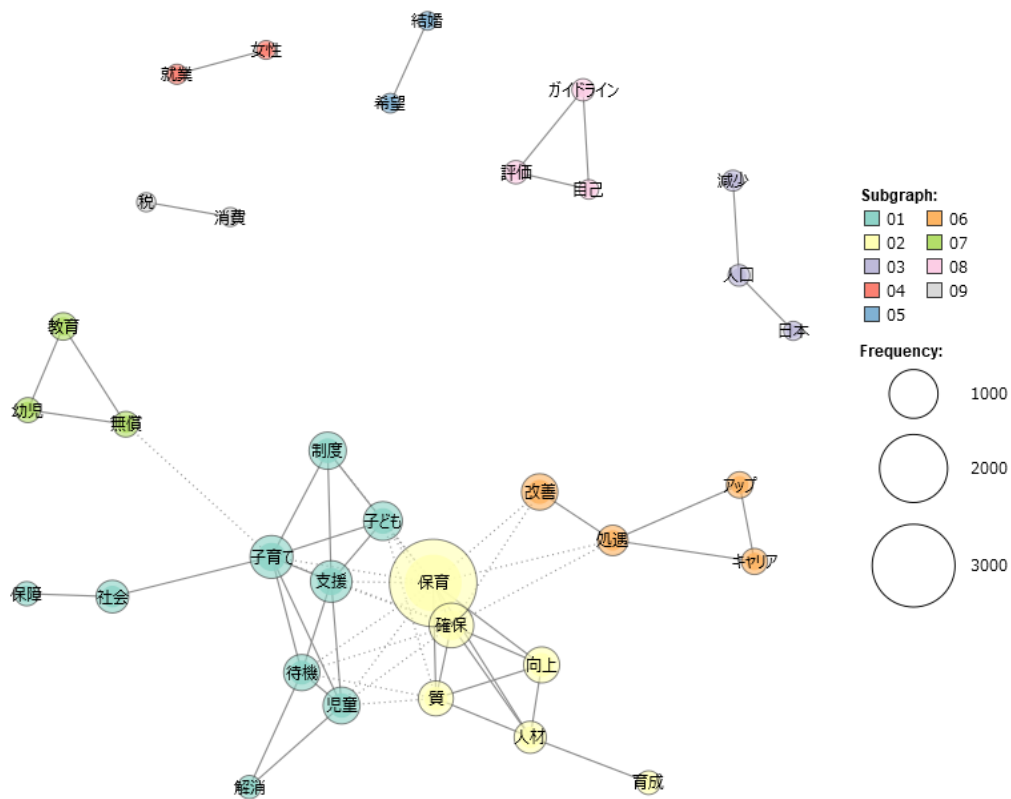
<A1. 中堅所長>



（解説）

「保育の質の向上」への関心が高い傾向で、関連して「人材確保」「処遇改善」「自己評価」等の課題が認識されている。また、子ども・子育て支援新制度のもとでの、保育園の「子育て支援」機能についても関心が高いことが読み取れる。

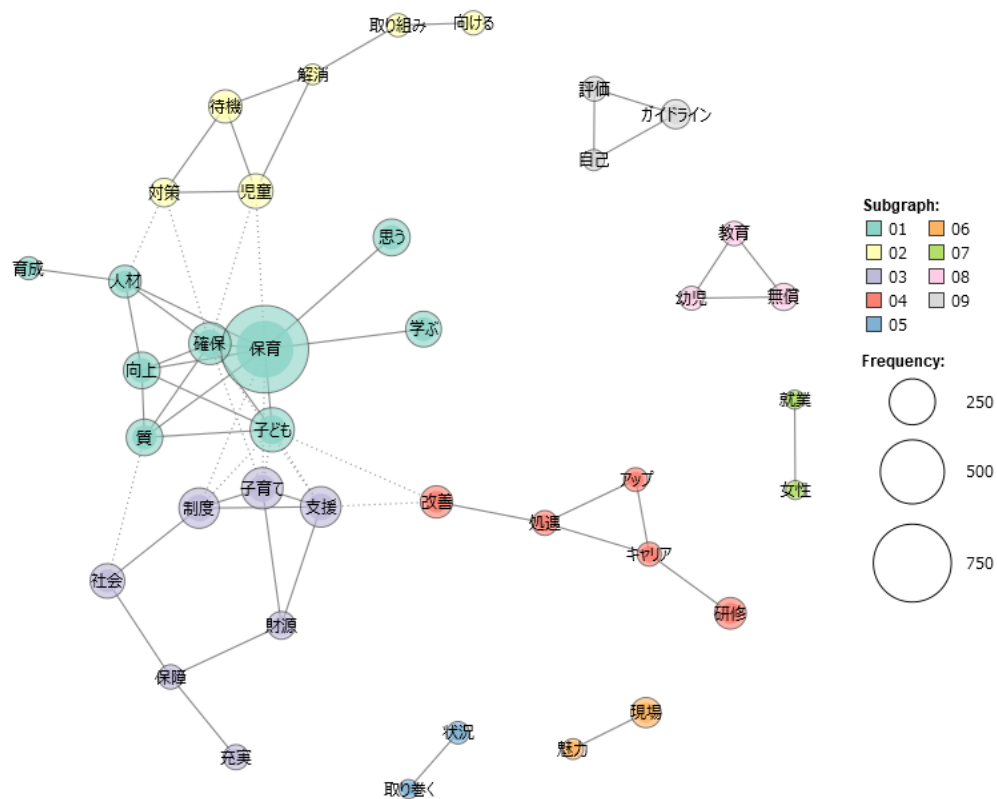
<B1. 初任所長>



(解説)

「保育の質の向上」と「人材確保」「人材育成」への関心が高い傾向で、それに関連して、キャリアアップ研修を通した「処遇改善」、子ども・子育て支援新制度のもとでの「待機児童解消」等の課題が認識されている。

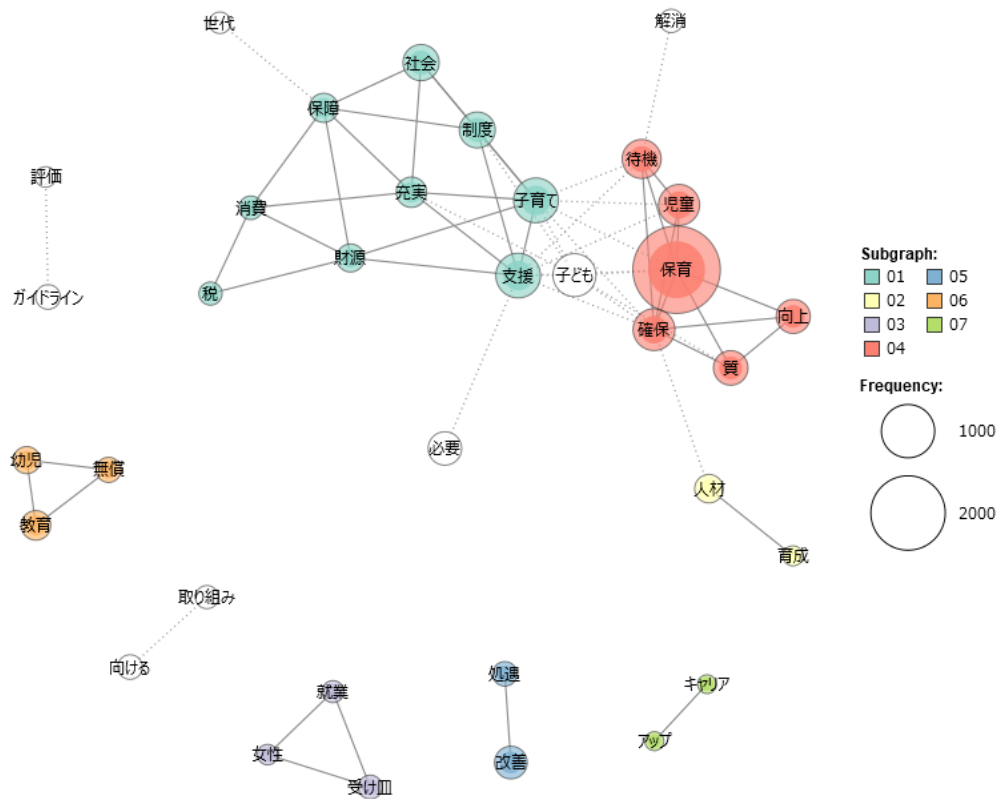
<D1. 中堅主任>



(解説)

「保育の質の向上」への関心が高い傾向で、子ども・子育て支援新制度の財源活用による「待機児童解消」と「保育人材確保」の両輪で取り組むことの必要性が認識されている。

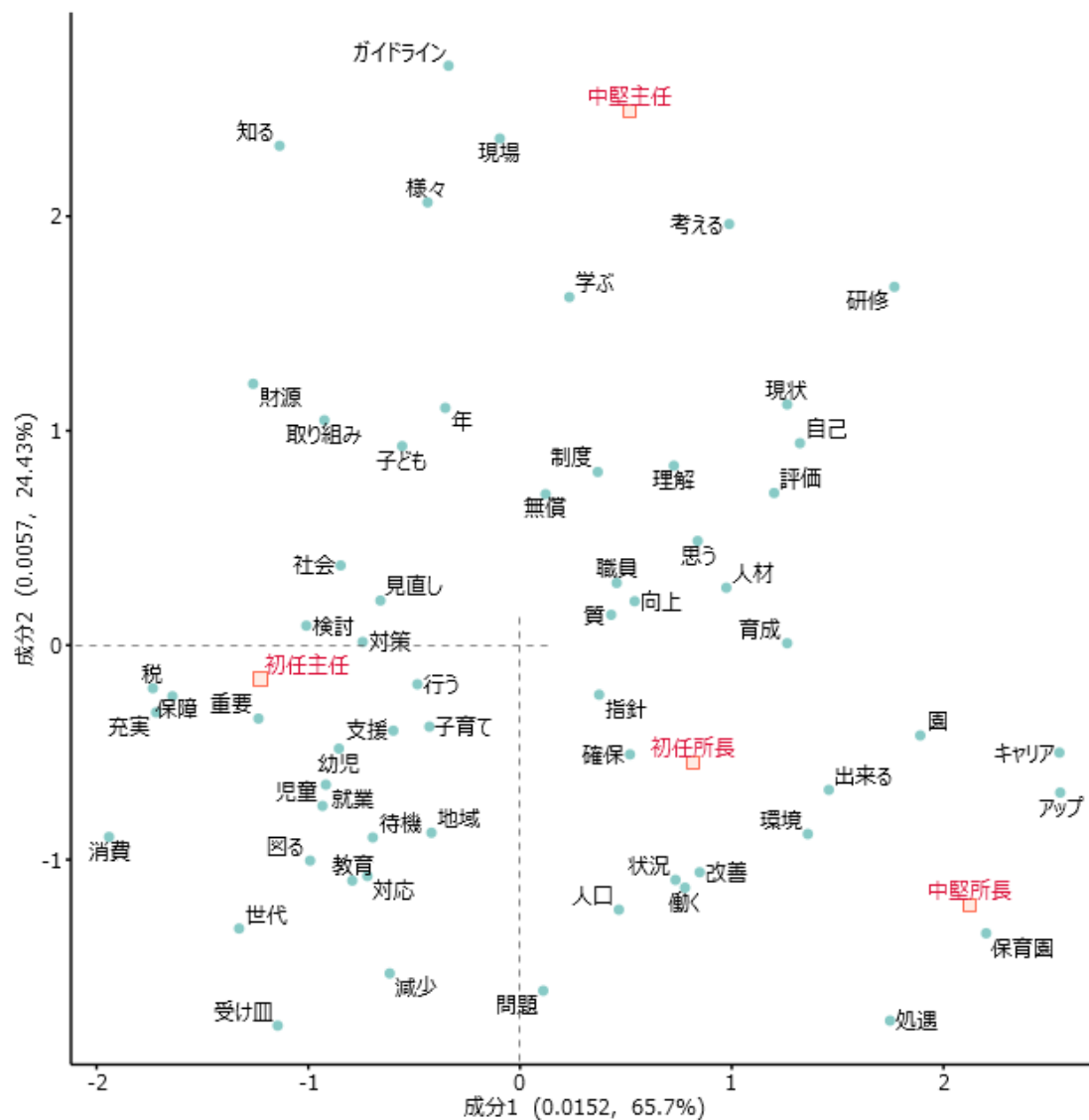
<E1. 初任主任>



(解説)

「保育の質の向上」への関心が高い傾向で、子ども・子育て支援新制度の社会保障財源の活用について「幼児教育無償化」や「処遇改善」もあげられているが、特に「待機児童解消」への活用に必要性を感じた受講者が多かったことが読み取れる。

< 4 研修種間における対応分析 >



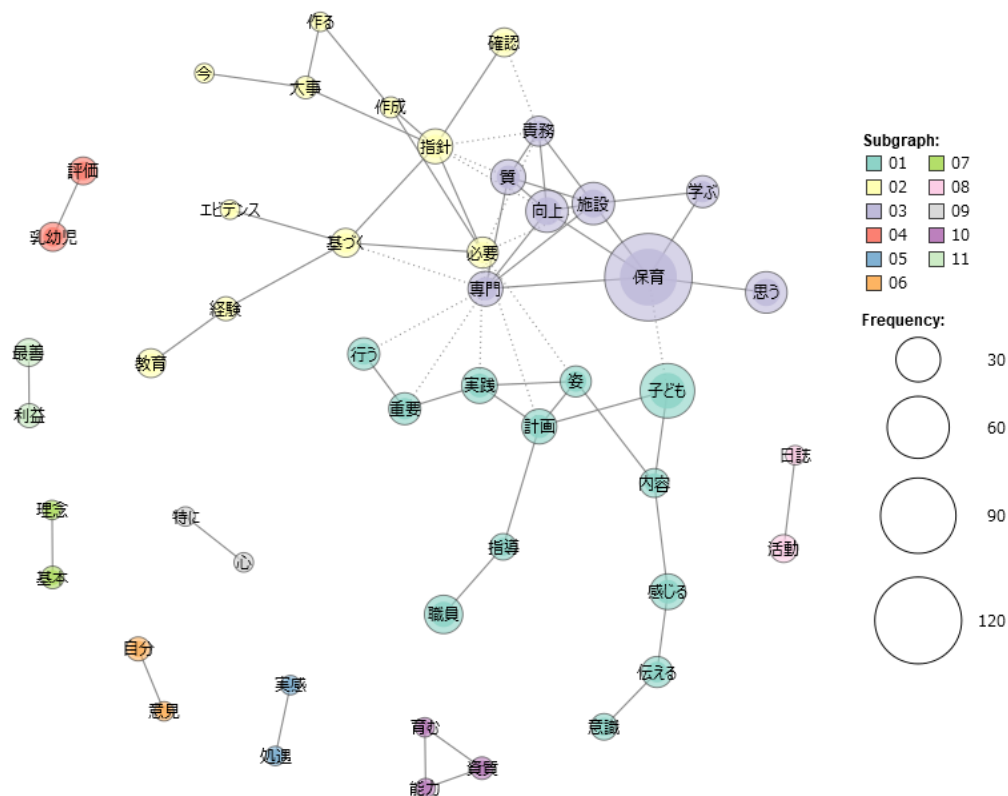
(解説)

初任所長、中堅所長に関しては、組織運営の立場から、職員の人材育成や労働環境について関心が高くなっている。中堅主任は現場管理やガイドラインに対して、また初任主任は、子育て支援の取組に対して意識が高くなっている。

研修科目「乳幼児期の保育」について

【設問】自分の考えで研修前から変化したことを書いてください。

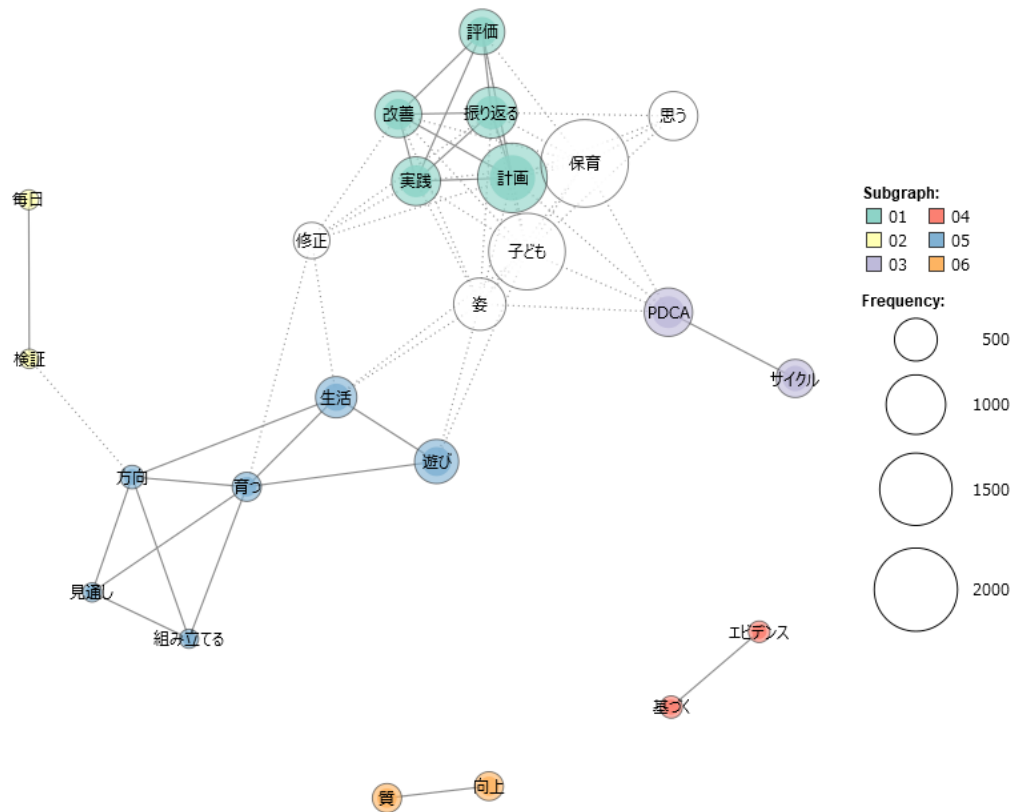
<A2. 中堅所長>



(解説)

「保育」のワードのまわりを「保育指針」「専門性の向上」「指導計画」といったキーワードが囲んでいることから、研修前と比較し、これらの重要性が認識できたことが読み取れる。

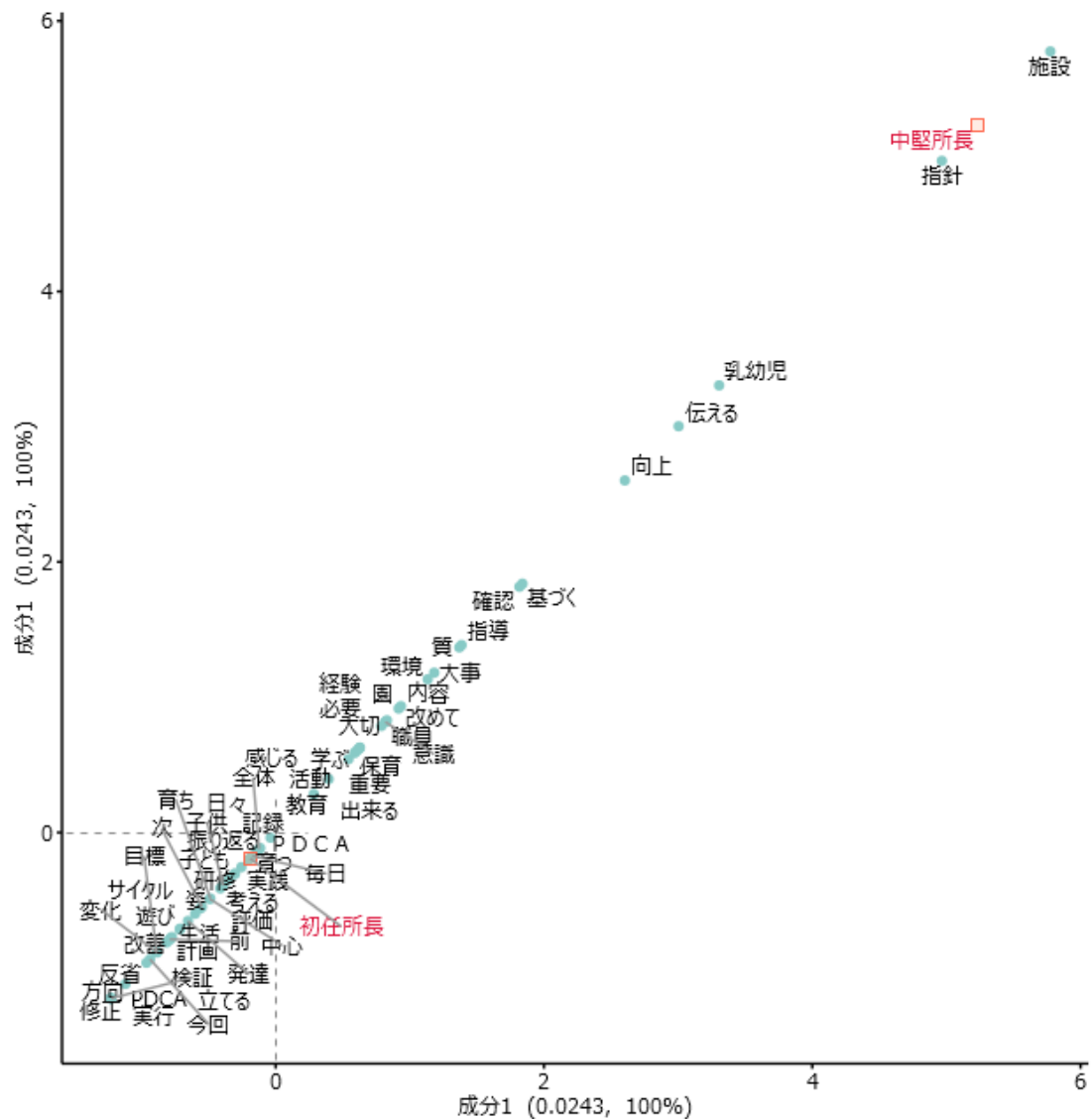
<B2. 初任所長>



(解説)

多くの受講者が「計画」「実践」「振り返る」「改善」というワードから PDCA サイクルの必要性を認識している。特に子どもの実際の姿から PDCA サイクルを活用し、子どもの「生活」「遊び」の実践に繋げていくことが意識されている。

< 2 研修種間における対応分析 >



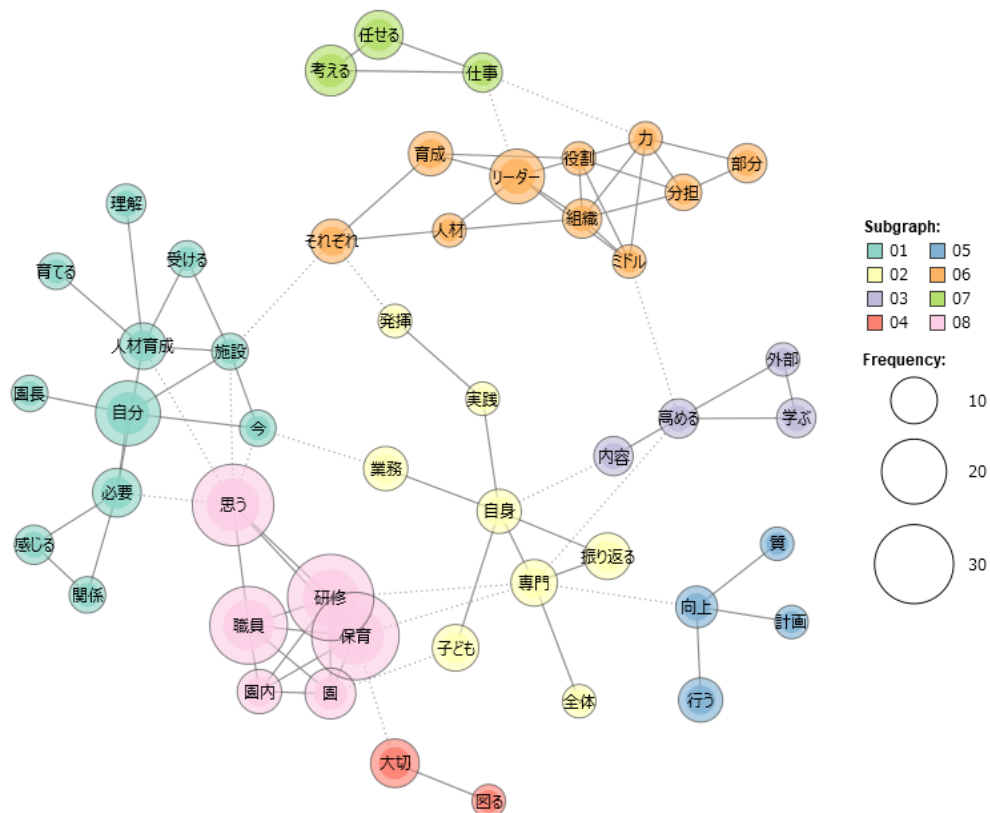
(解説)

中堅所長は、「指針」等のガイドラインを重視する傾向が高いが、初任所長は、日々の実践の「記録」「振り返り」「評価」など、実践の「改善」に対して意識を向けている。

研修科目「保育所等における人材育成」について

【設問】自園において、自分が今後実践したい「リーダーシップ」や「人材育成」について書いてください。

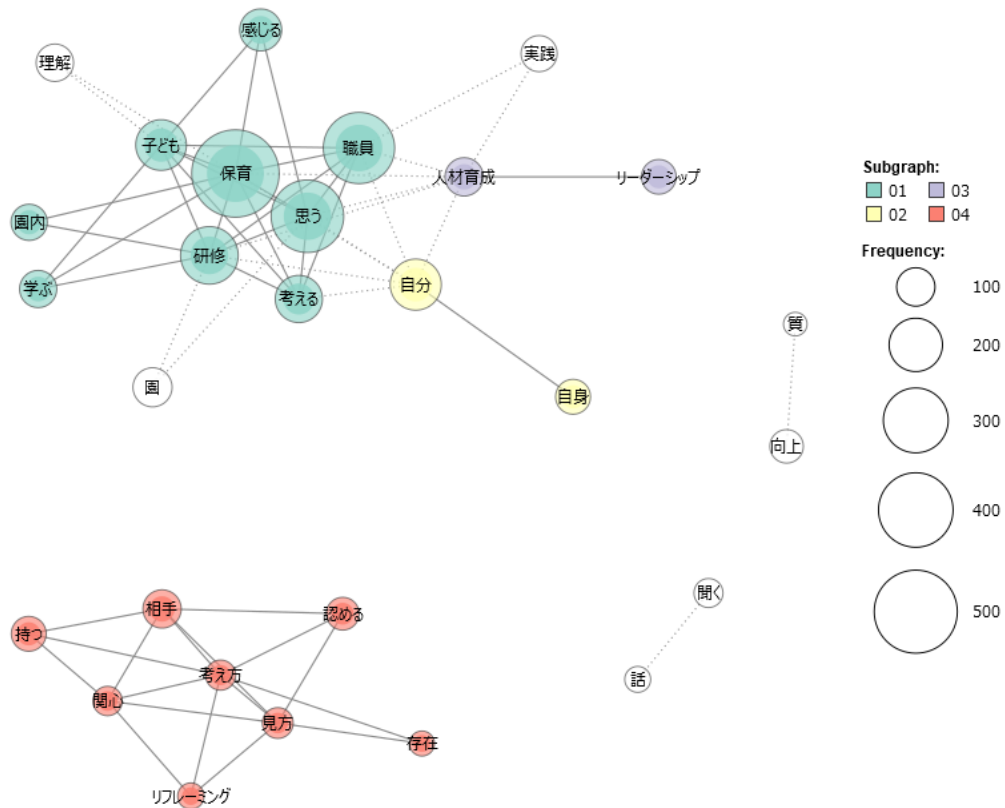
<A4. 中堅所長>



(解説)

「職員研修」への関心が高い一方で、自らの「専門性」を高めることへの意識が見られる。また中堅所長として、組織運営と現場実践の間で、現場を任せるミドルリーダーの人材育成に課題を感じていることが読み取れる。

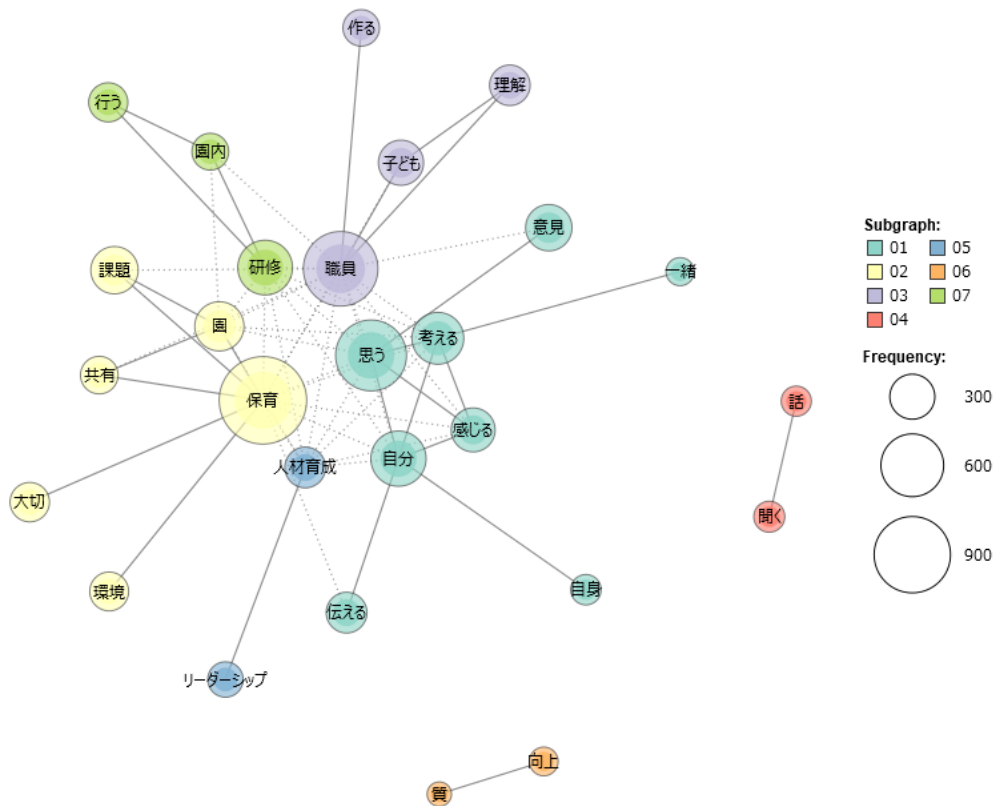
<D5. 中堅主任>



(解説)

現場をまとめる立場であることから「職員研修」「人材育成」に対するリーダーシップの重要性を認識していると同時に、子ども理解や保育実践にフォーカスした研修やお互いの考えや意見を認め合える人材育成を考えていることが読み取れる。

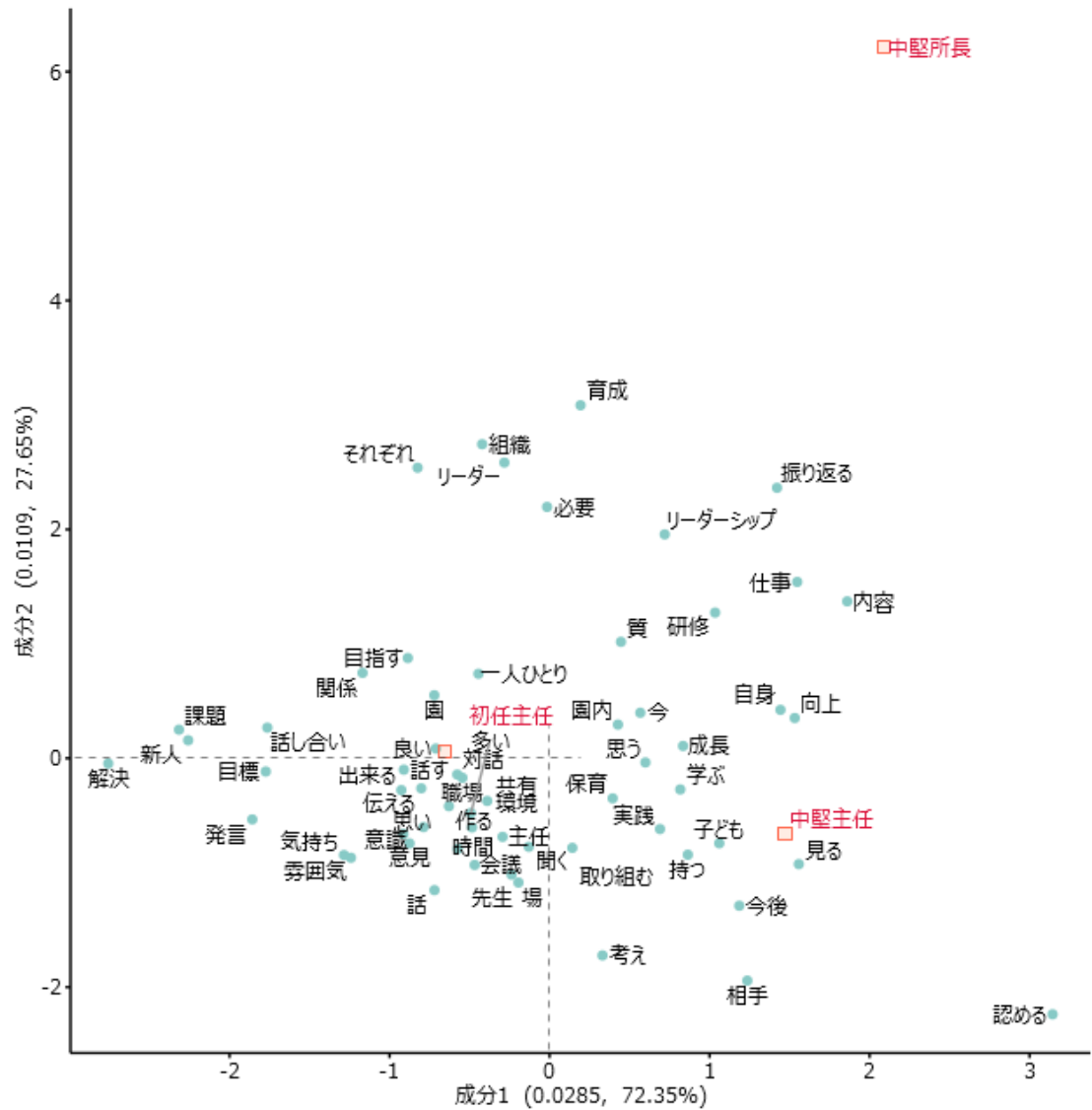
<E5. 初任主任>



(解説)

リーダーとして「園内研修」や「課題の共有」を行っていく重要性を認識している。また、職員の意見を聞き、一緒に考え共感できる「人材育成」を目指すリーダーシップに関心をもっている。

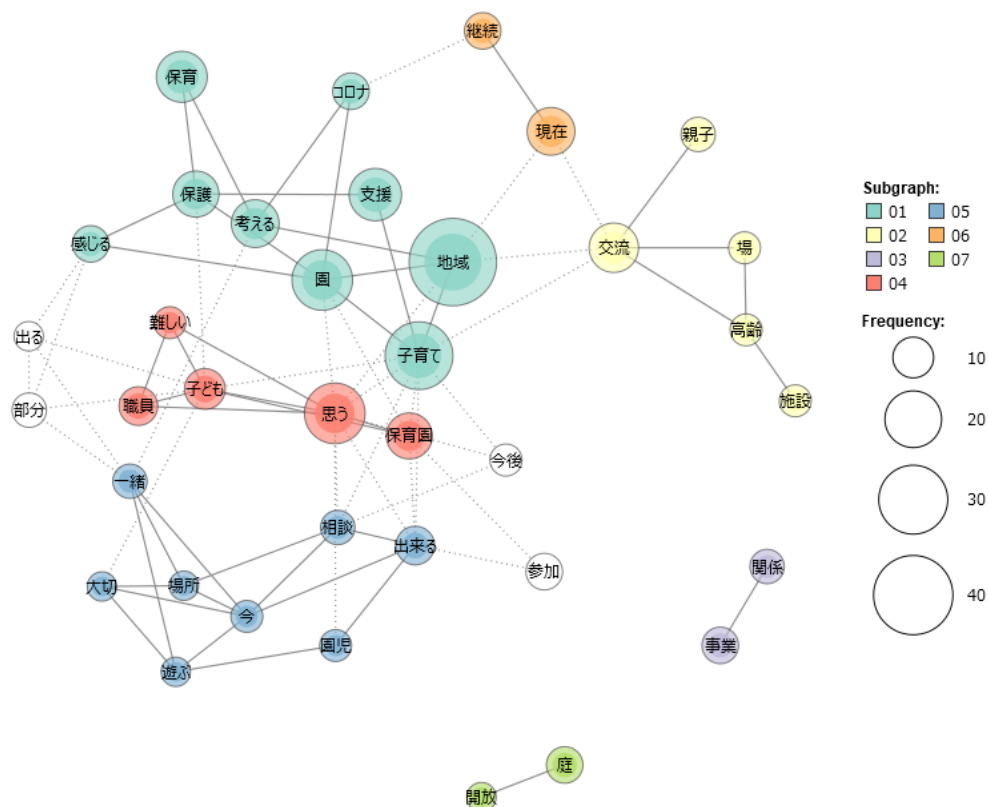
< 3 研修種間における対応分析 >



研修科目「地域に開かれた保育所等づくり」について

【設問】地域に開かれた保育所であるために、自園で今後取り組みたいこと、又は継続したいことを書いてください。

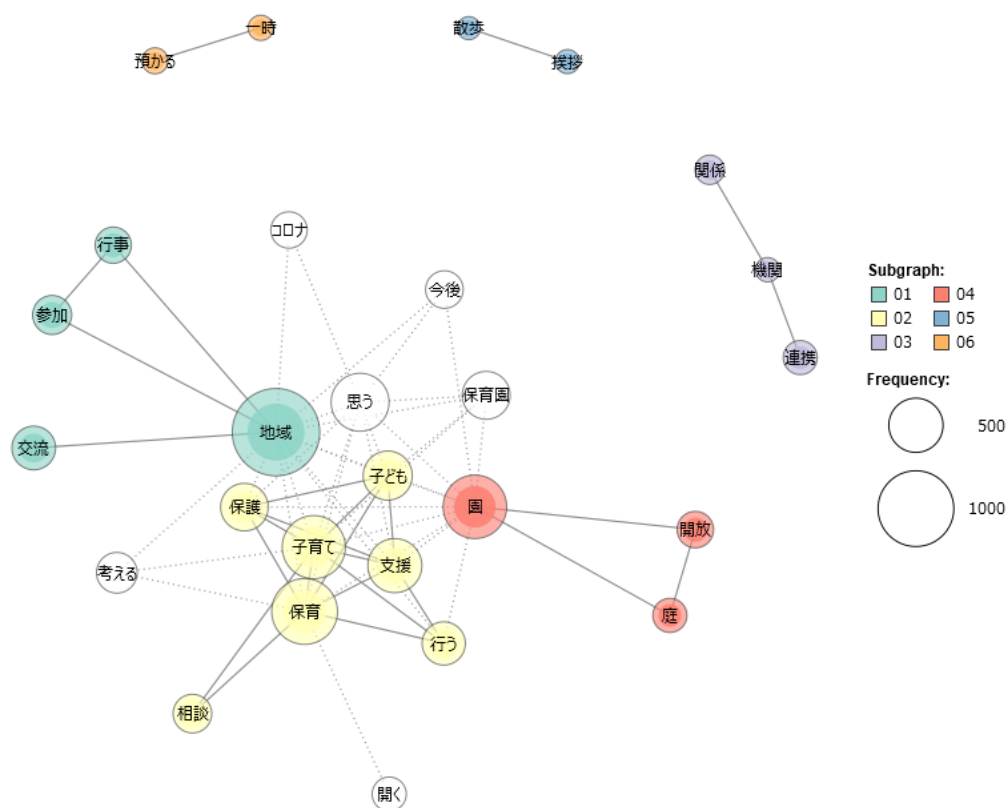
<A5. 中堅所長>



(解説)

「地域の子育て支援」の一環で、育児相談、地域の親子の交流、子どもと高齢者との交流の場を提供することに取り組んでいる（あるいは、関心が高い）。

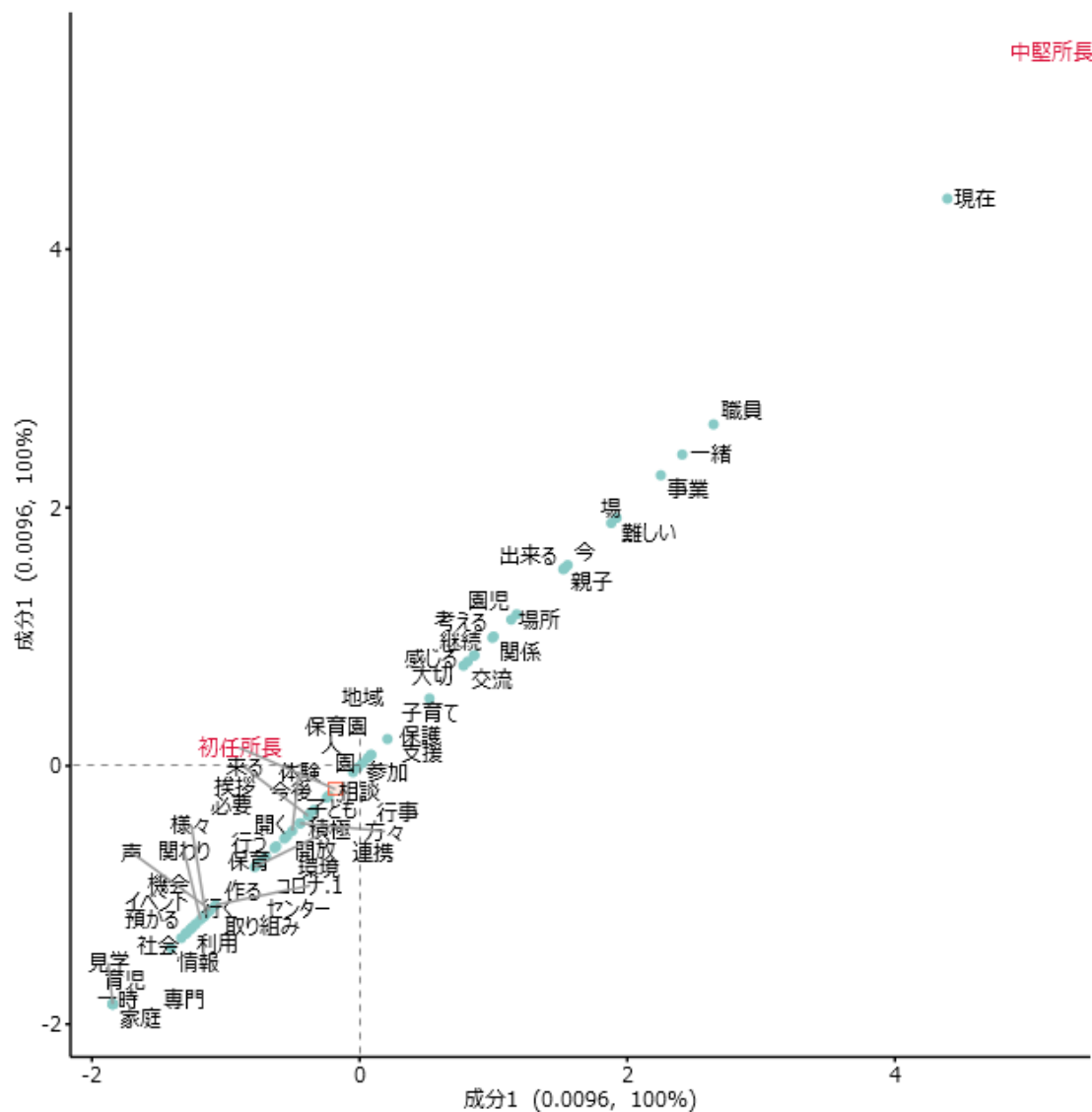
<B7. 初任所長>



(解説)

地域の子育て支援施設として、園庭開放、地域行事への参加、地域の人々との交流、保護者に対する育児相談への関心が高い。

＜ 2 研修種間における対応分析＞

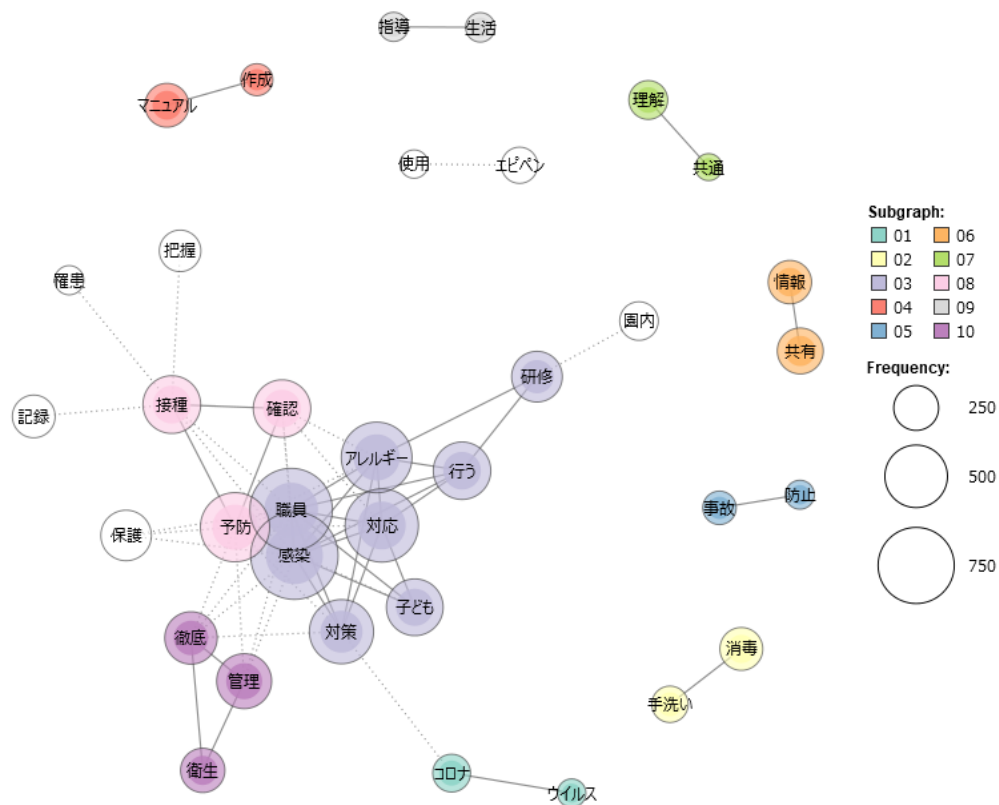


(解説)

「育児相談」「地域との交流」「行事参加」等、両研修を通して、共に関心が共有されているが、中堅所長に関しては、コロナ禍での地域交流の在り方について、課題が意識されている。

研修科目「保育所等のリスクマネジメント/保育所等における健康・安全」について
【設問】 自園で健康・安全のために今後特に取り組みたいことを3つ書いてください。

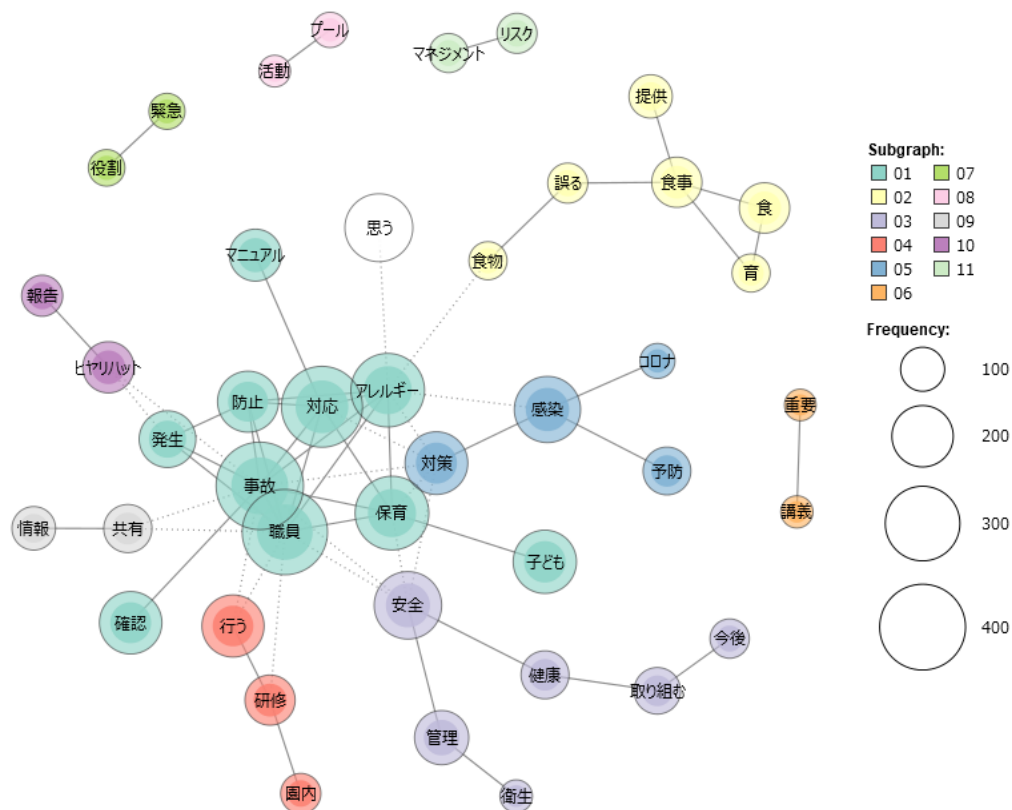
<B3. 初任所長>



(解説)

受講者の多くの関心が「予防接種」「アレルギー対応」「衛生管理」のリスク管理に集中している傾向が見られる。同時に「マニュアル作成」や「情報共有」の重要性も認識されている。

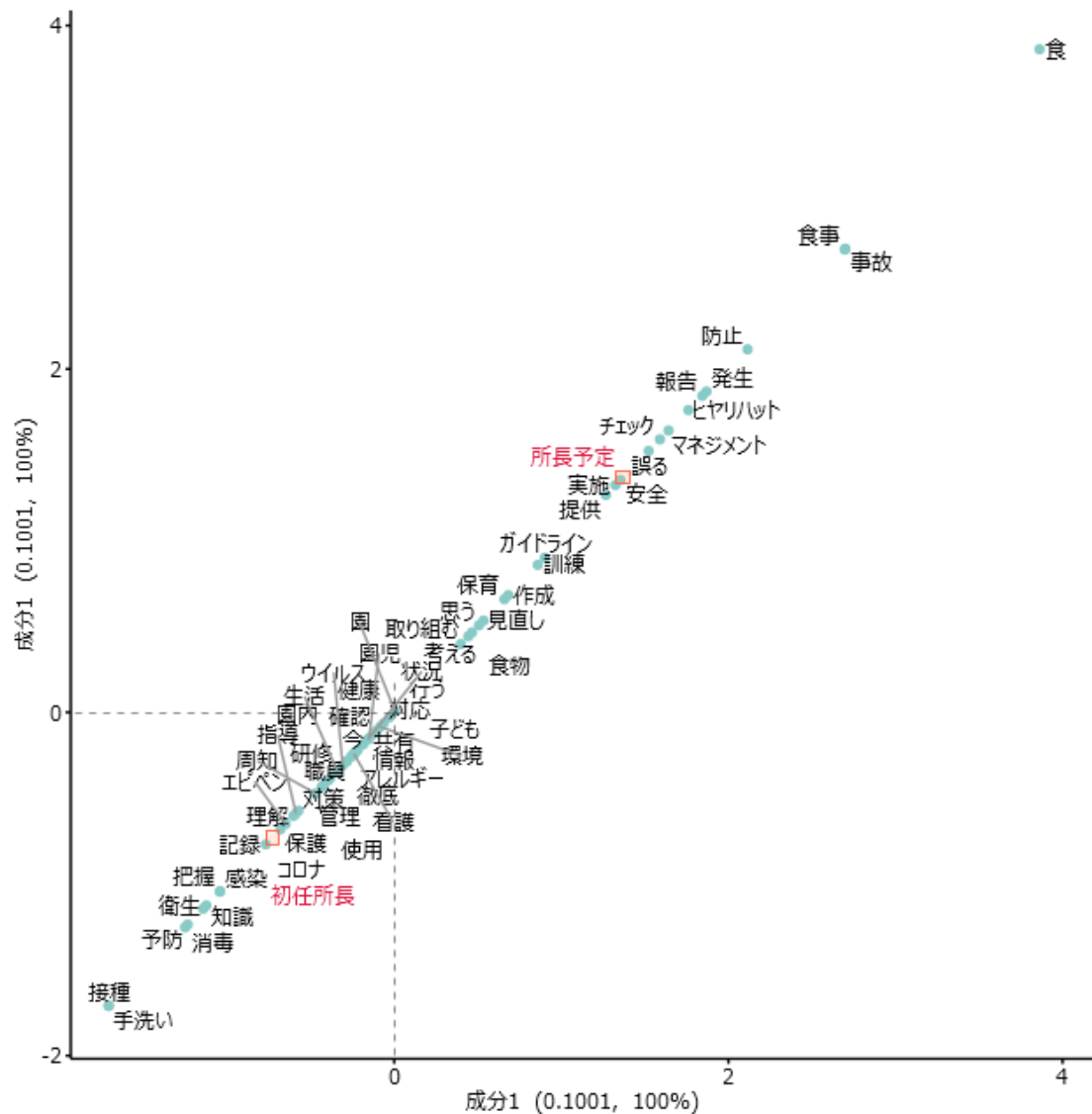
<C4. 所長予定>



(解説)

「事故防止」「安全管理」「アレルギー対応」「感染対策」への関心が高い傾向にある。同時に「園内研修」「情報共有」の必要性が認識されている。

< 2 研修種間における対応分析 >



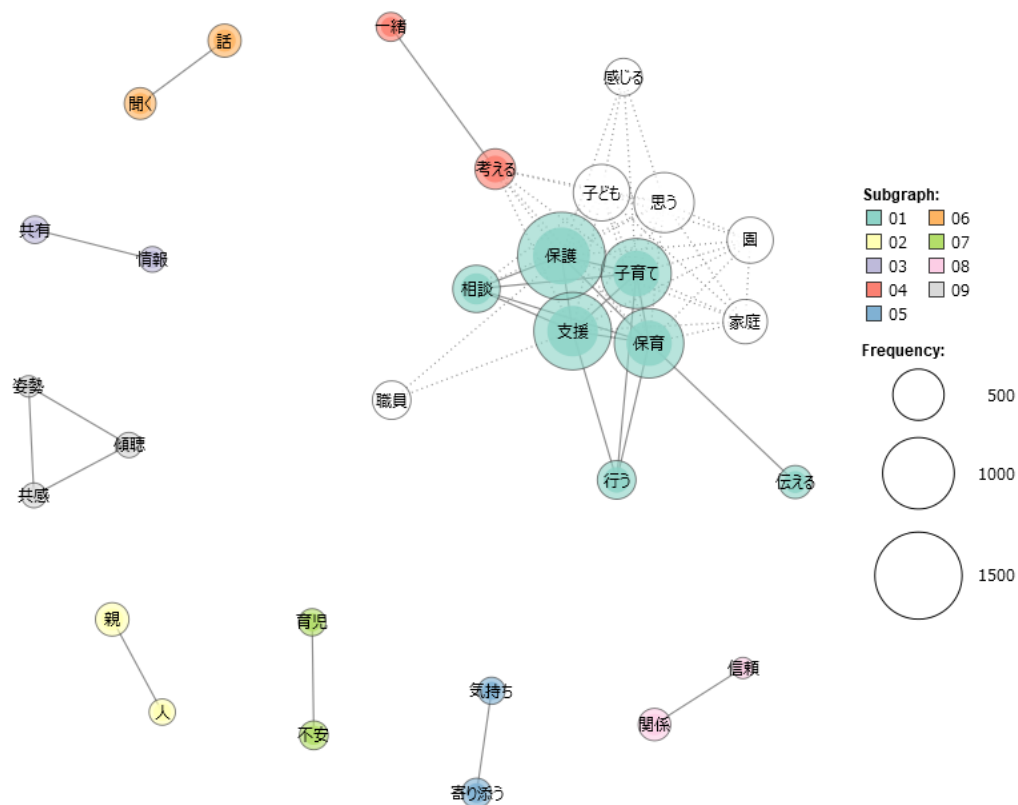
(解説)

所長予定者に関しては、事故防止のガイドラインや安全対策への関心が高くなっており、現場実践に就いている初任所長においては、コロナ禍での経験から、衛生管理や感染対策をより重視している。

研修科目「子育て支援/保護者支援・子育て支援」について

【設問】自園で今後取り組みたい、または継続したい子育て支援の取り組みを書いてください。

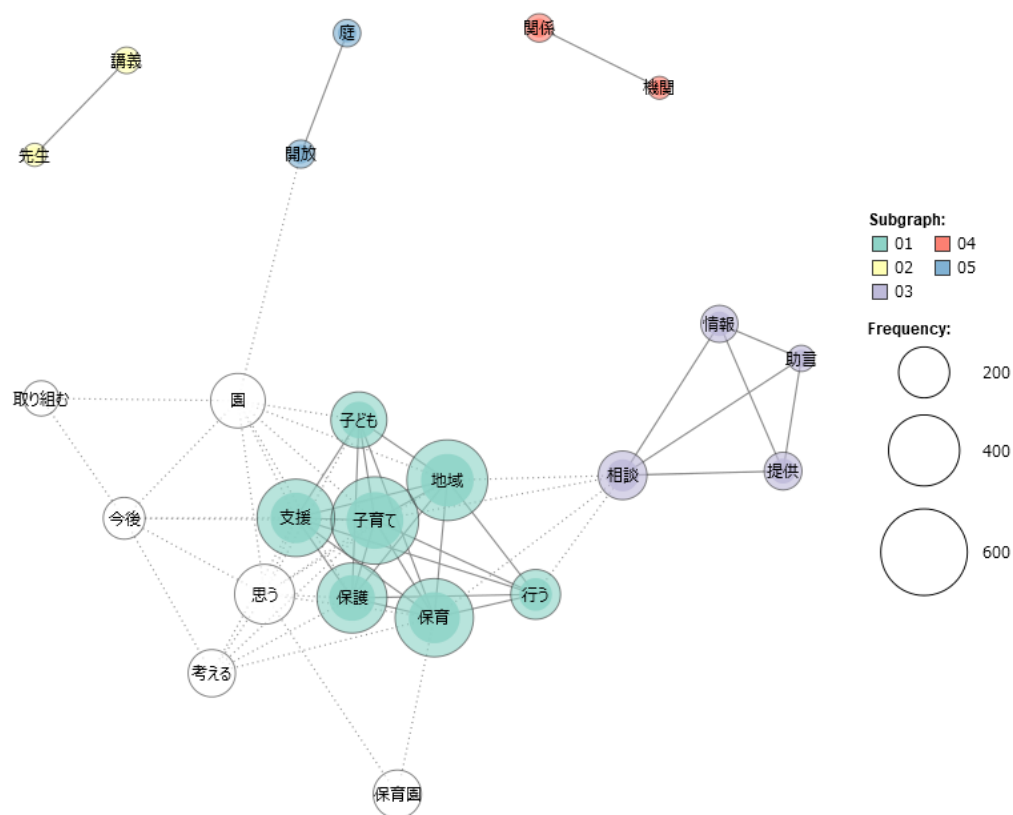
<B6. 初任所長>



(解説)

「共感」「傾聴」「信頼関係」というワードから、「育児不安」をかかえる保護者に対する支援への関心が高いことが見て取れる。

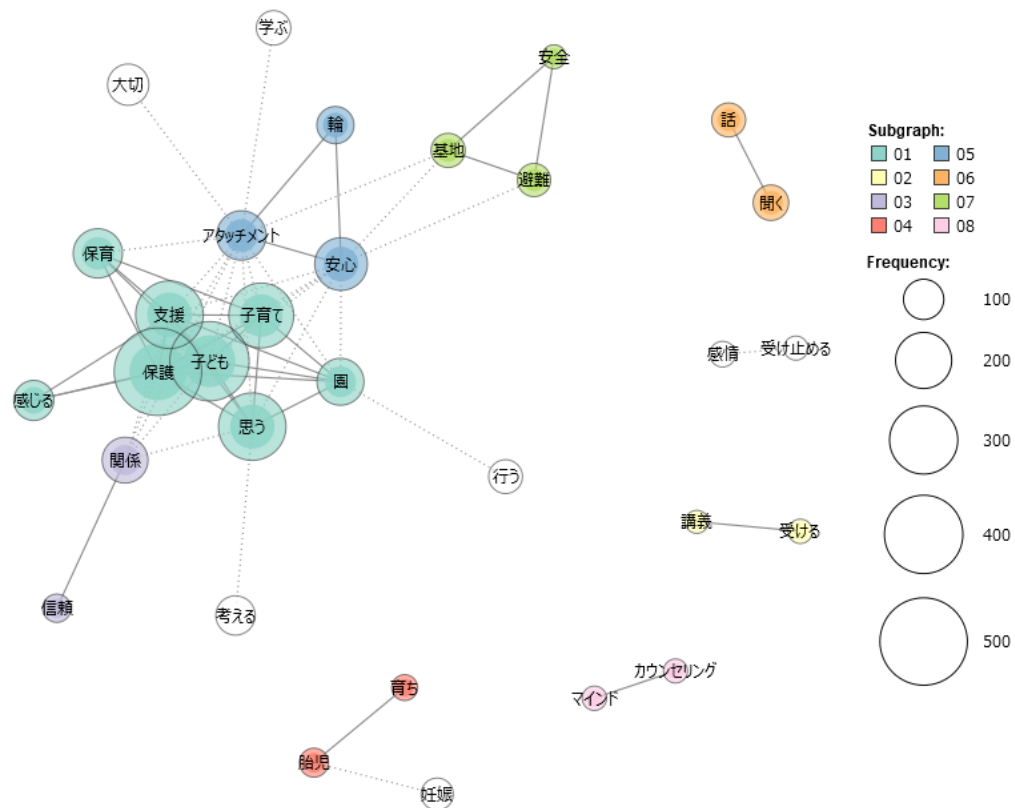
<C5. 所長予定>



(解説)

地域子育て支援の場として、保護者への「育児相談」への取組を重視している。「情報提供」や「助言」の必要性が認識されている。

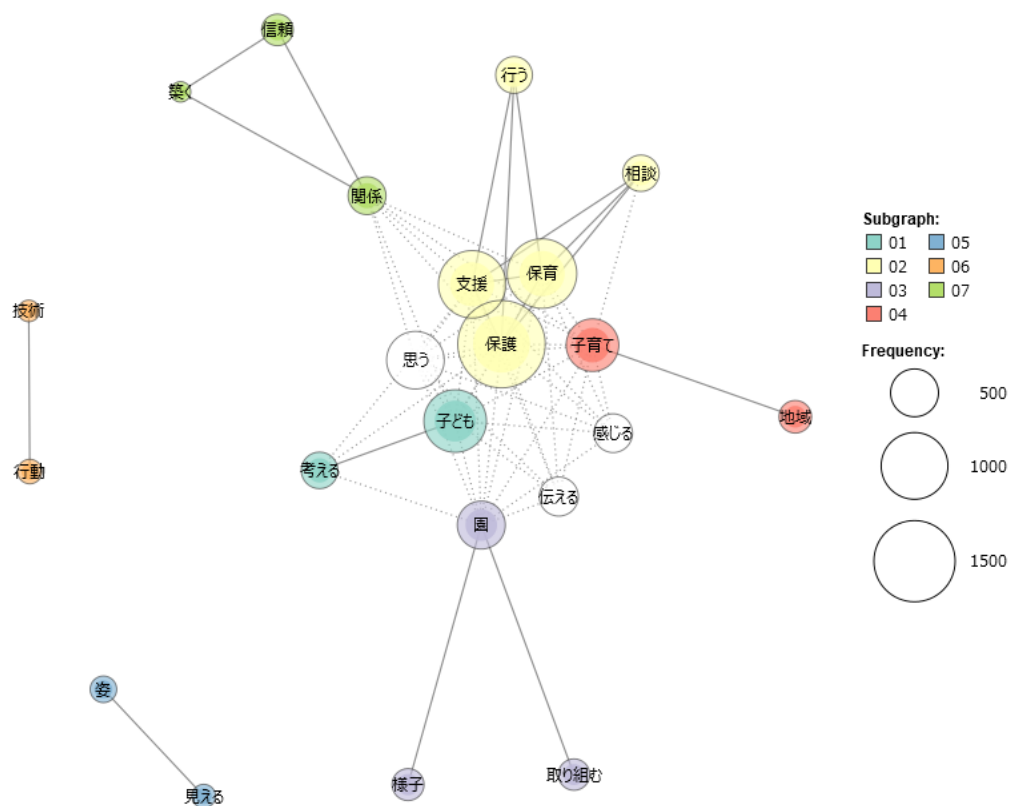
<D4. 中堅主任>



(解説)

「子育て支援」を保護者の視点と子どもの視点の両方からとらえている。保護者に対しては「信頼関係」、子どもに対しては「アタッチメント」「安全基地」の確立を重視している傾向が見てとれる。

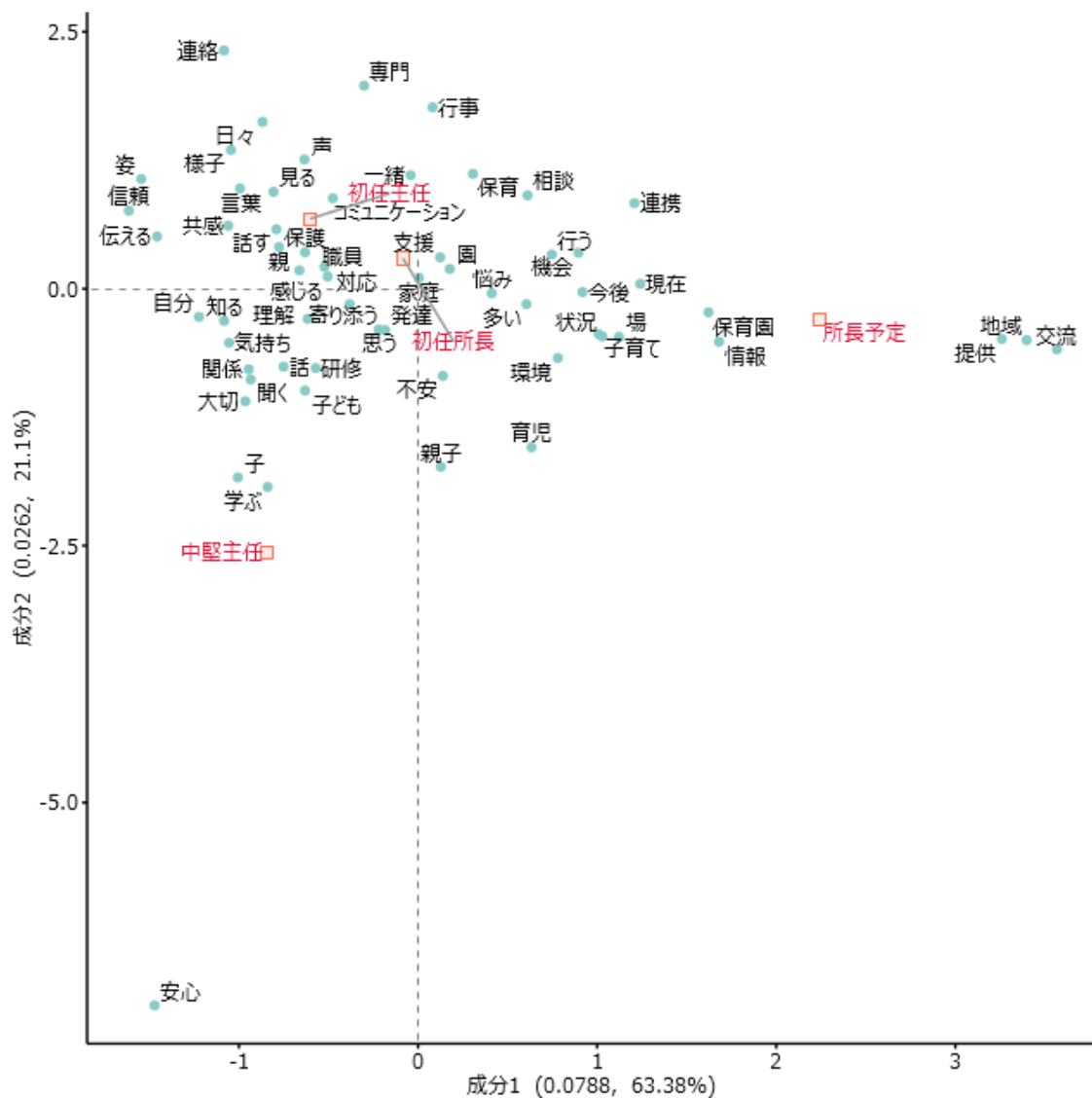
<E4. 初任主任>



(解説)

「子育て支援」の前提として、保護者との「信頼関係」を築くことを重視している。子どもの姿の「見える化」、園での子どもの様子を伝える事など、信頼関係の最も基礎的な部分への関心が高い。

< 4 研修種間における対応分析 >



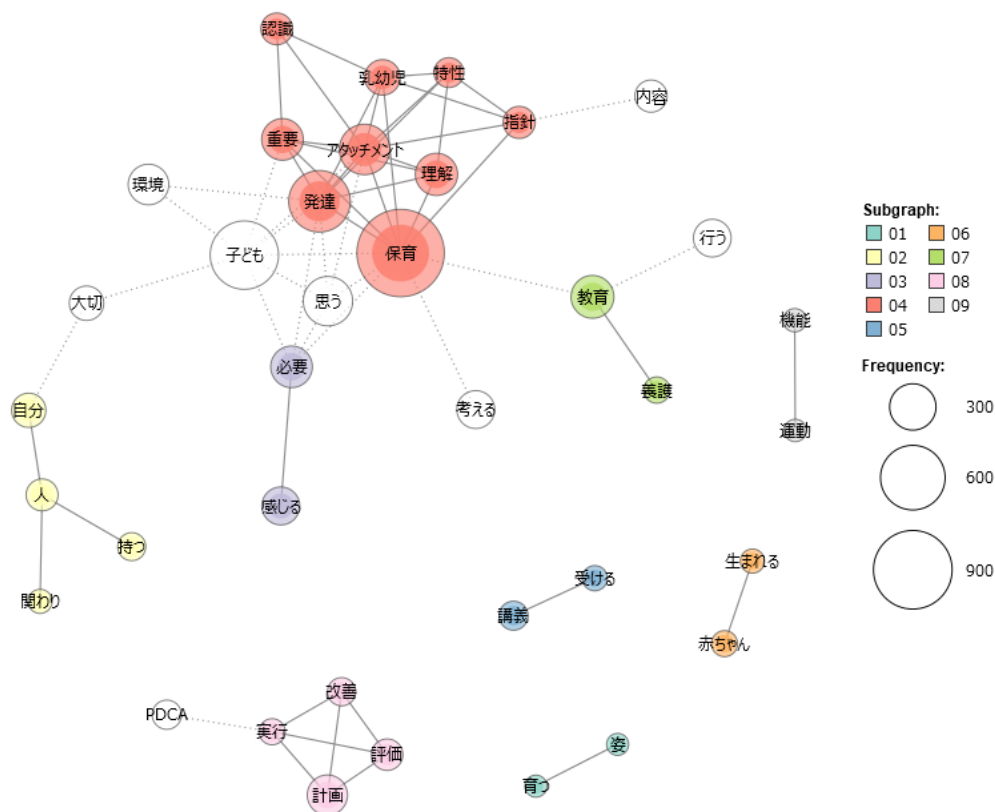
(解説)

初任主任、初任所長に関しては、保護者の悩みや不安に対する「育児相談」「保護者とのコミュニケーション」への関心が高く、中堅主任は保護者のみならず、子どもに対する関わりも大切に考える傾向があり、また所長予定者は、組織としての地域へのかかわり方、つまり「地域交流」の部分に関心が高い。

研修科目「子どもの発達と保育の内容」について

【設問】「教育の PDCA」とはどういうことか、自分の考えで研修前から変化したことを書いてください。

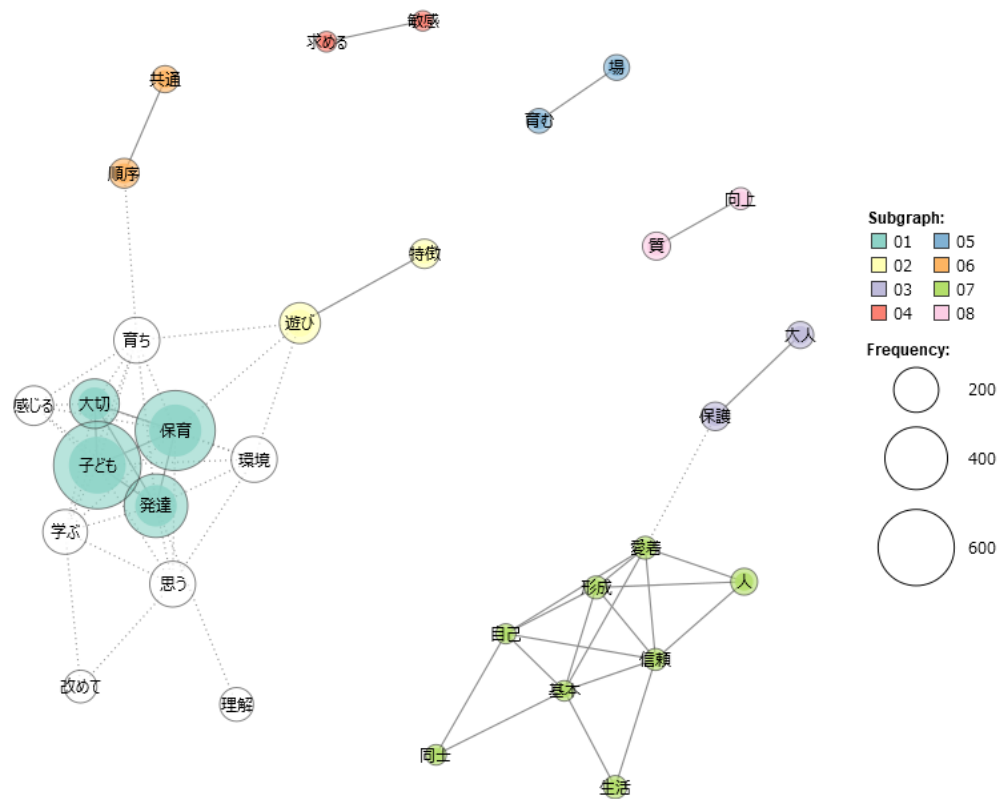
<C3. 所長予定>



(解説)

多くの受講者が、乳幼児期の発達に不可欠な「アタッチメント」「人との関わり」について理解している。また「指針」「養護と教育」というワードから、この原理を実践するための PDCA サイクルの重要性が認識されている。

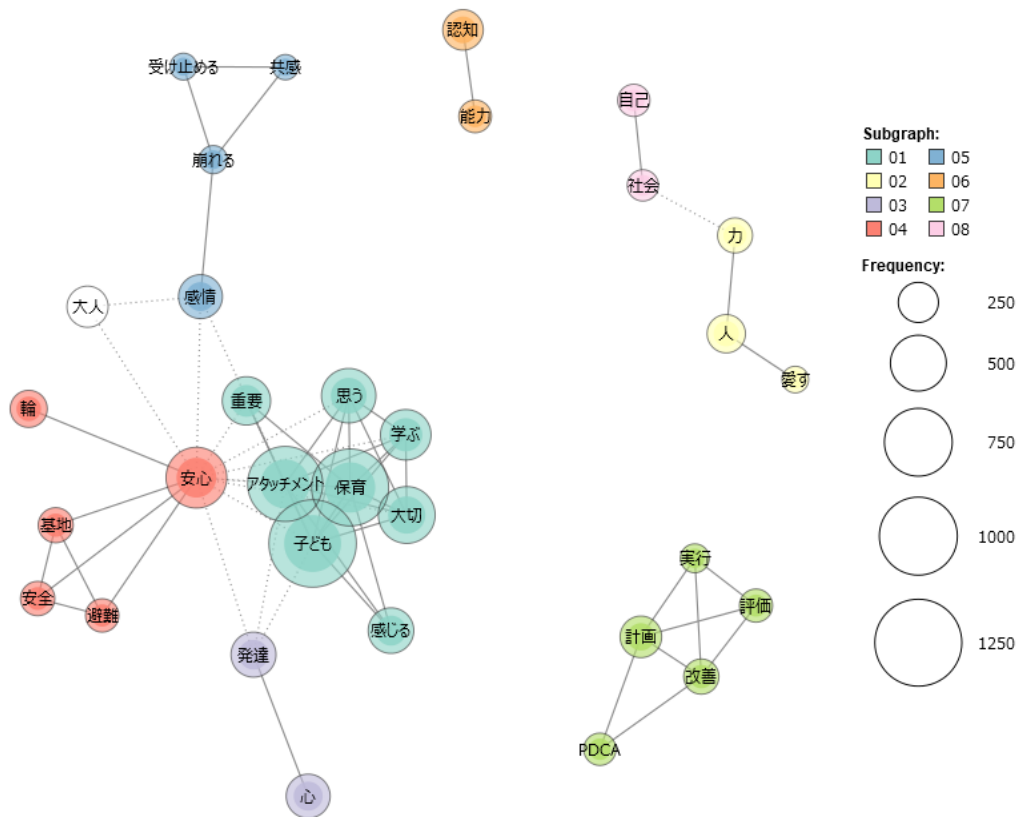
<D3. 中堅主任>



(解説)

子どもの発達を「教育」と「養護」の両側面から理解している。「保育環境」「遊び」といった教育的側面の重要性と同時に、「愛着形成」「基本的生活習慣」「信頼関係」という養護的側面の重要性も認識されている。この原理に基づく PDCA サイクルの実践が意識されている。

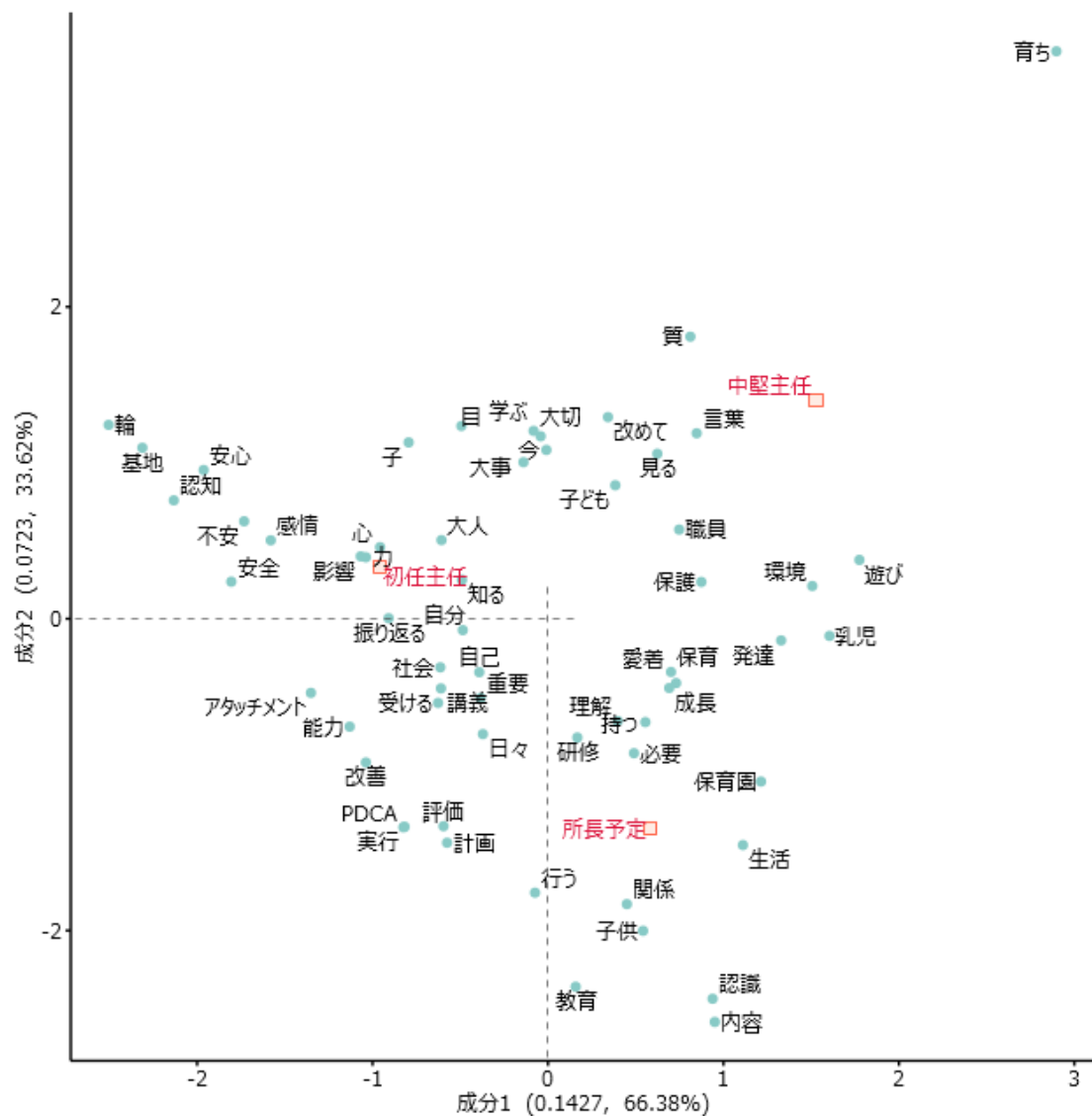
<E3. 初任主任>



(解説)

多くの受講者が、子どもの発達における「アタッチメント」や「安全基地」「非認知能力」の大切さを学んでいる。また、人材育成に関しては「PDCA サイクル」の実践の大切さが認識されている。

< 3 研修種間における対応分析 >



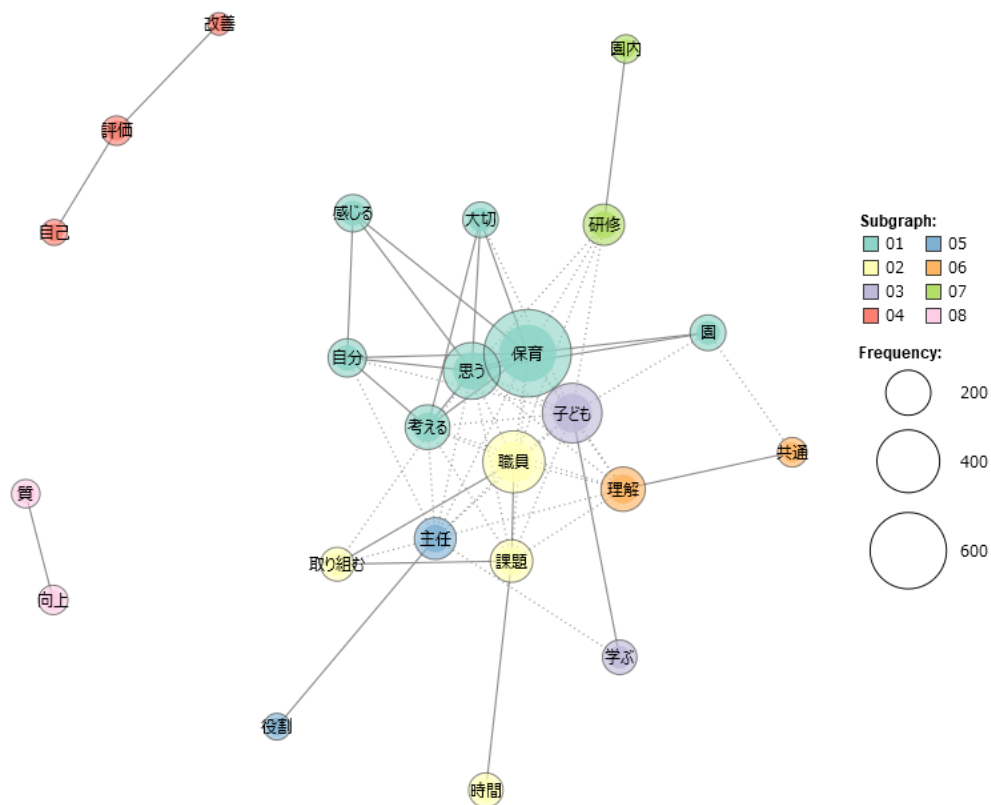
(解説)

3 研修間で、発達における「アタッチメント」や「PDCA サイクル」の実践に対して共通して関心の高さが見てとれる。初任主任は、子どもとの直接的関係における愛着形成を重視する傾向があり、中堅主任や所長予定者では、保育環境や遊びの構成等、教育的側面により意識が向けられている傾向が見うけられる。

研修科目「保育所等における主任保育士の役割」について

【設問】主任保育士として今後取り組むことと、それについて課題だと思うことを書いてください。

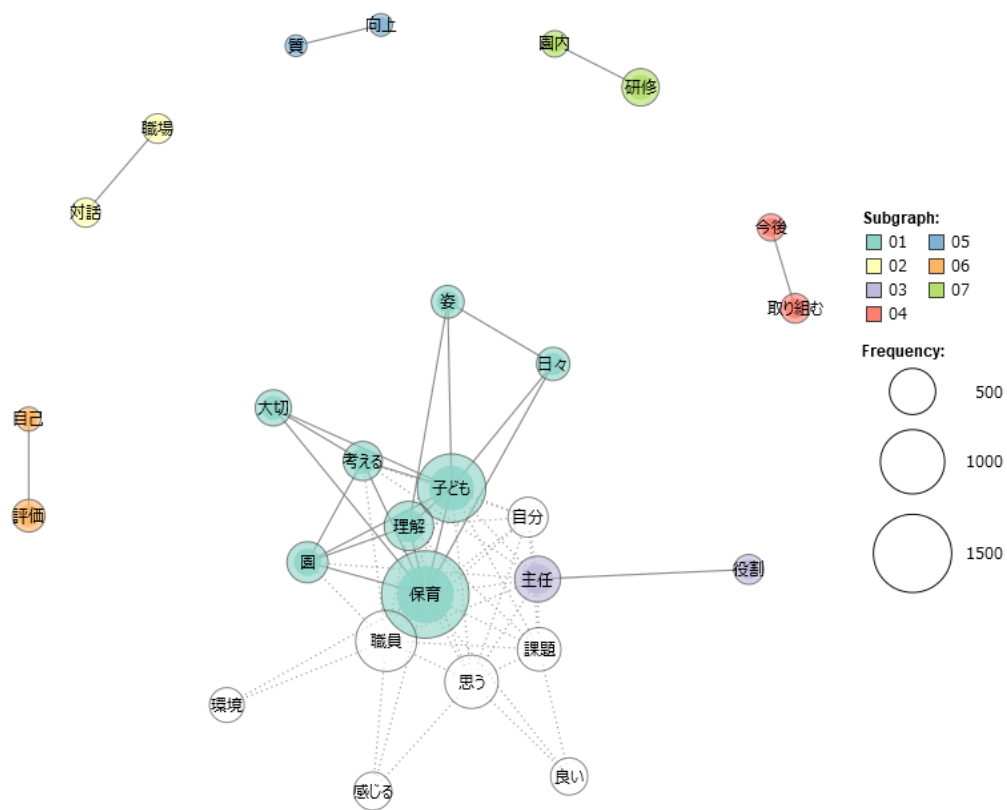
<D2. 中堅主任>



(解説)

「園内研修」の実施、「職員間の共通理解」について関心が高い。それに関連して、人材育成のための「自己評価」や保育実践振り返りのための「時間」の確保が課題として挙げられている。

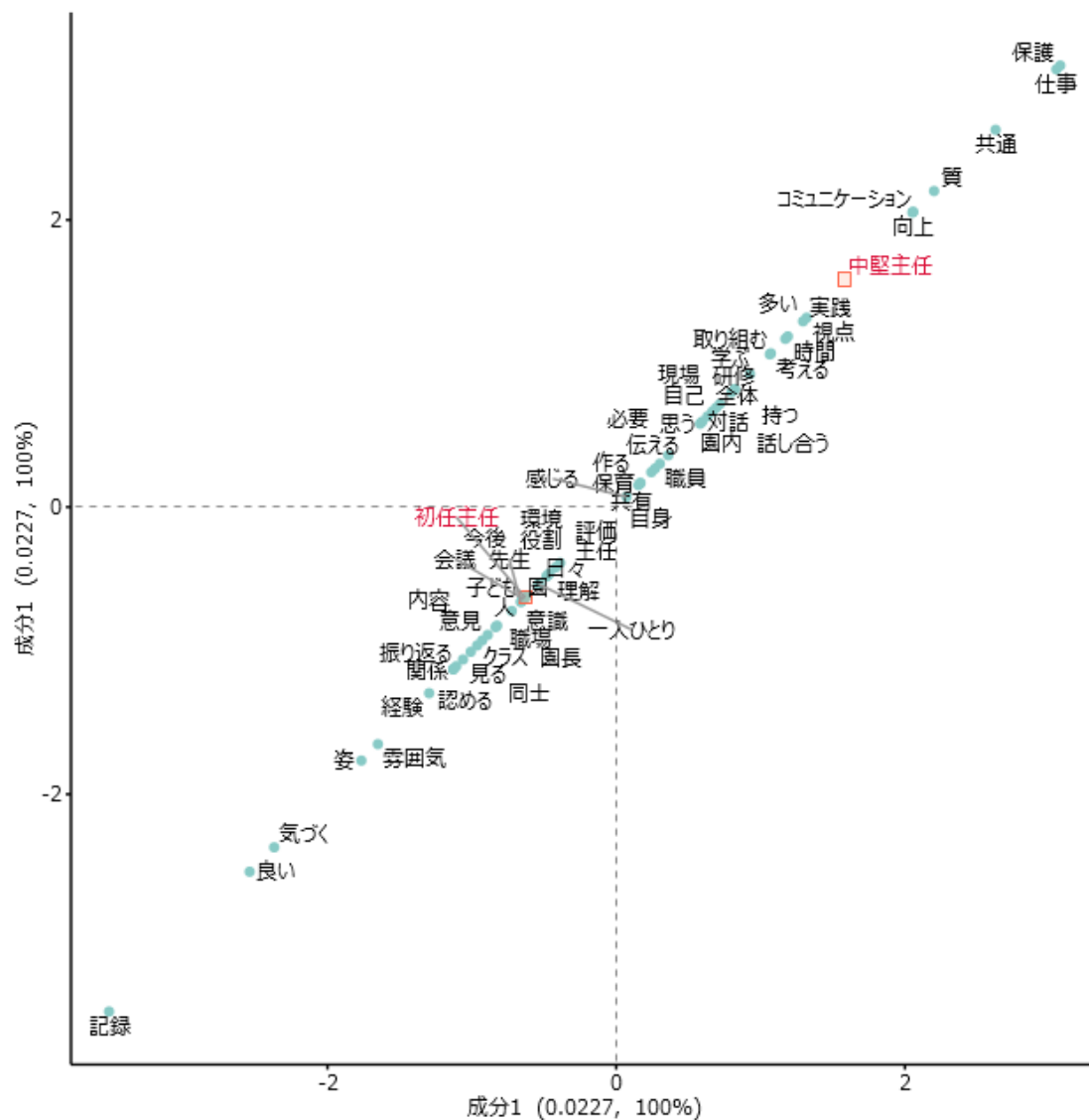
<E2. 初任主任>



(解説)

「園内研修」「職場内対話」「自己評価」を通し、保育の質向上を図ること、特に「子ども理解」について職員が考えられる環境を作っていくことを課題として認識している。

< 2 研修種間における対応分析 >



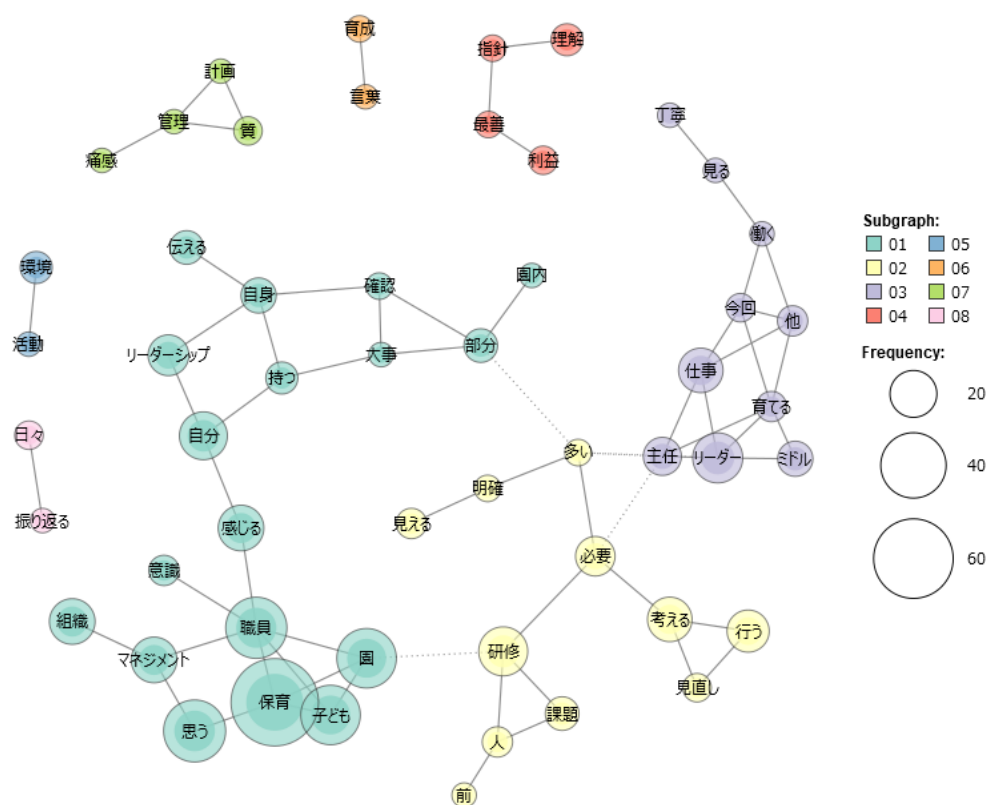
(解説)

初任主任では「子ども理解」の部分により意識が置かれ、そのための環境づくりについて課題認識がある。中堅主任では、研修やコミュニケーションといった人材育成に重点をおいた保育の質向上への関心が高くなっている。

研修科目「保育所等の組織マネジメント」について

【設問】 保育所長として取り組みたいと考えていることと、それについて課題だと思うことについて、自分の考えで研修前から変化したことを書いてください。

<A3. 中堅所長>



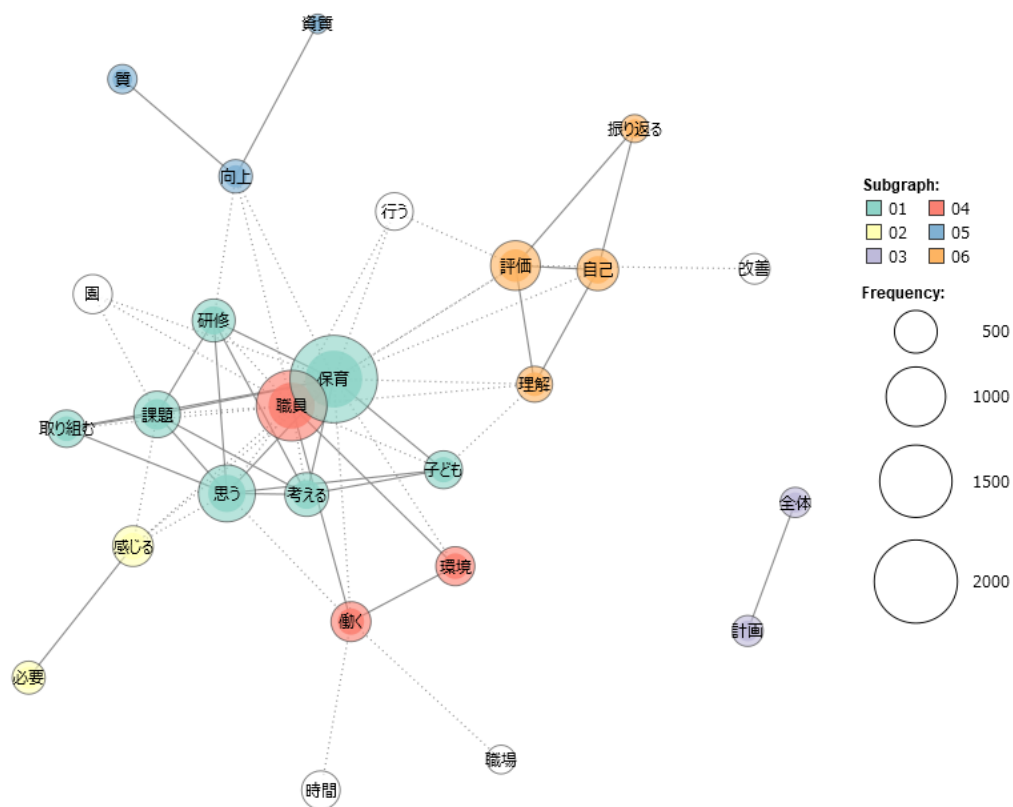
(解説)

基本的には、ミドルリーダーの人材育成を意識した「組織マネジメント」や「リーダーシップ」を重視しており、重視する内容については、保育指針の「子どもの最善の利益」「子どもの活動環境」に基づく質の確保や保育計画が挙げられている。

研修科目「保育所等の組織づくりとマネジメント（概論）」について

【設問】 保育所長として取り組みたいと考えていることと、それについて課題だと思うことについて、自分の考えで研修前から変化したことを書いてください。

<B4. 初任所長>



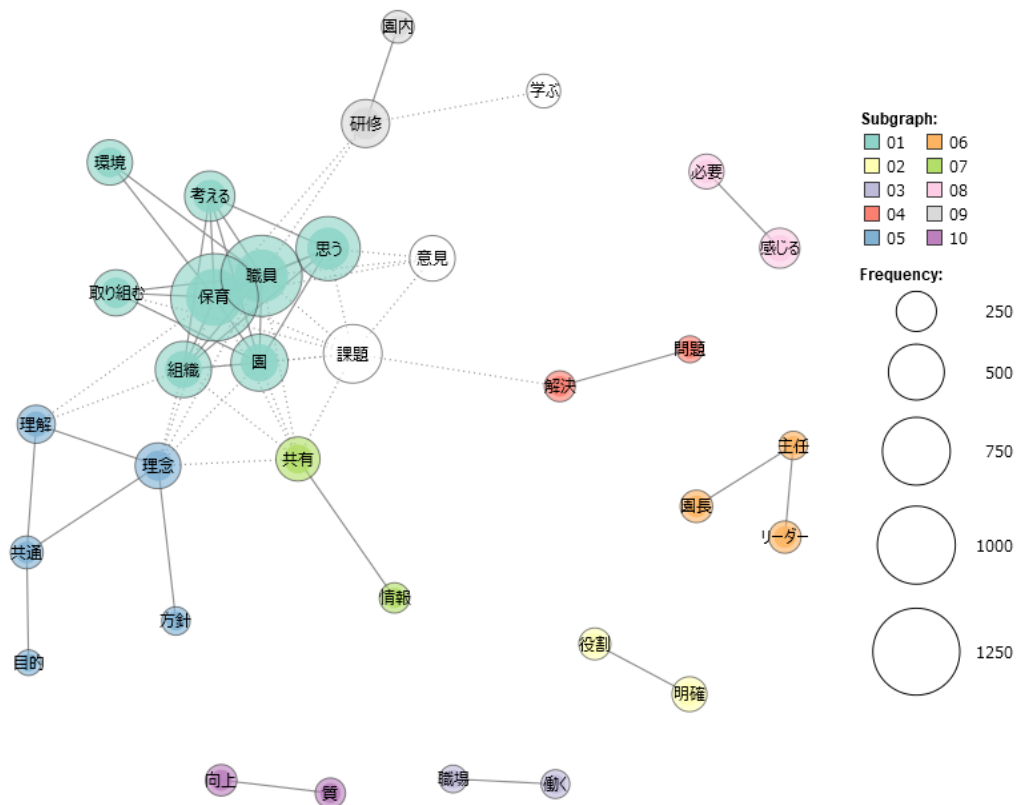
(解説)

職員の「労働環境」、資質向上のための「研修」、子ども理解につなげるための「自己評価」が課題として挙がっている。

研修科目「保育所等の組織づくりとマネジメント（演習）」について

【設問】 自園で組織マネジメントのために今後取り組みたいことを書いてください。

<B5. 初任所長>



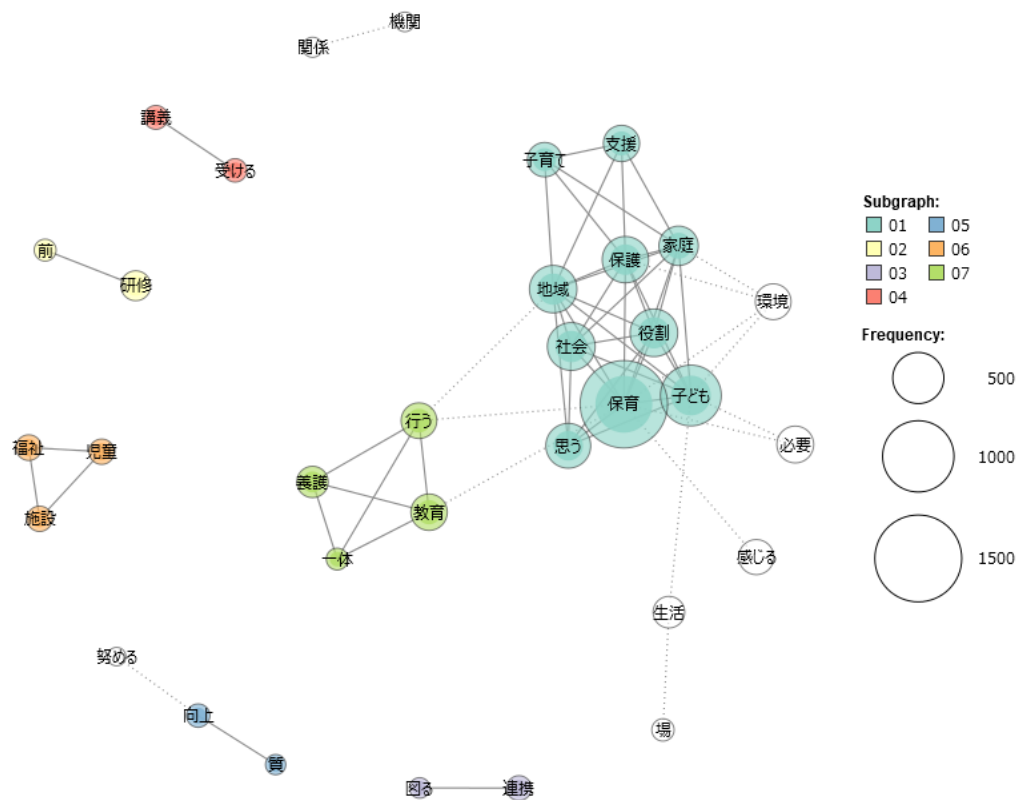
(解説)

理念や方針についての「共通理解」、職員間の「情報共有」「問題解決」、「園内研修」を通じた保育の質向上について関心が高くなっている。

研修科目「保育所等の社会的役割」について

【設問】 保育所等の社会的役割について、自分の考えで研修前から変化したことを書いてください。

<C1. 所長予定>



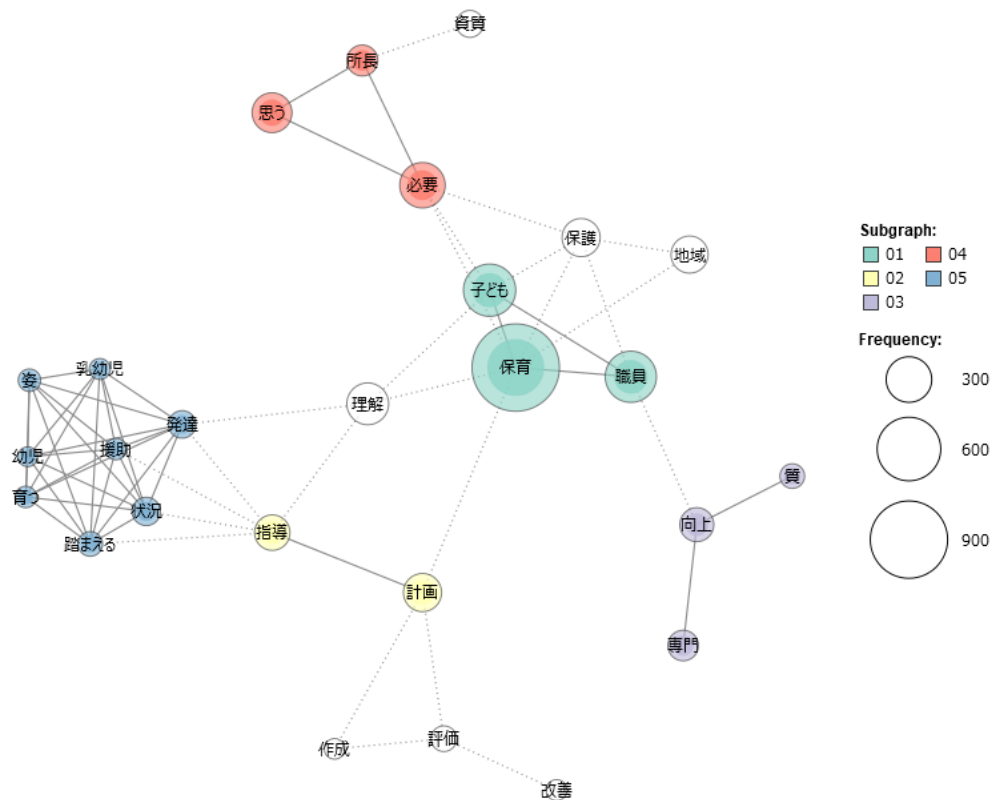
(解説)

保育所の社会的役割は、地域の家庭や保護者に対する「子育て支援」としての機能、そして「養護と教育の一体化」に基づく「児童福祉施設」としての機能の主として2つの側面から理解されている。

研修科目「保育所長等の役割」について

【設問】 保育所長として必要だと思う資質を3つ書いてください。

<C2. 所長予定>



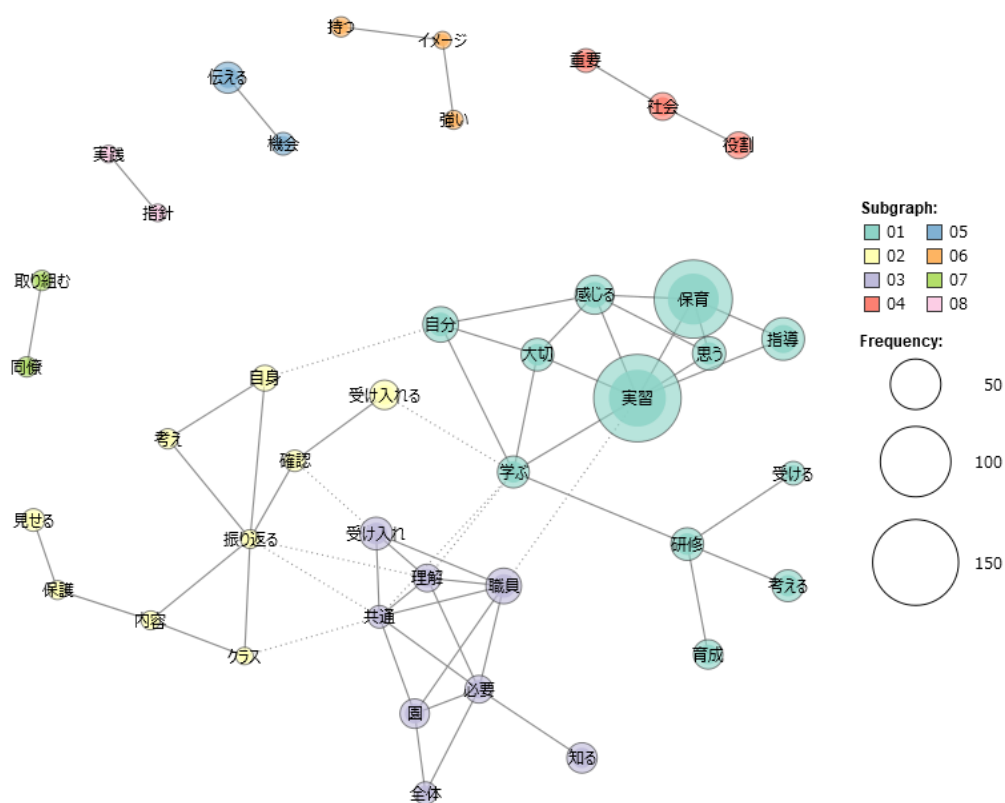
(解説)

「乳幼児の発達をふまえた子ども理解に基づく指導計画」「職員の専門性の向上」「PDCA サイクルの実践」に関するマネジメント資質の重要性が認識されている。

研修科目「保育所等の社会的役割と保育士養成」について

【設問】 保育実習の社会的役割について、自分の考えで研修前から変化したことを書いてください。

<F1. 実習指導>



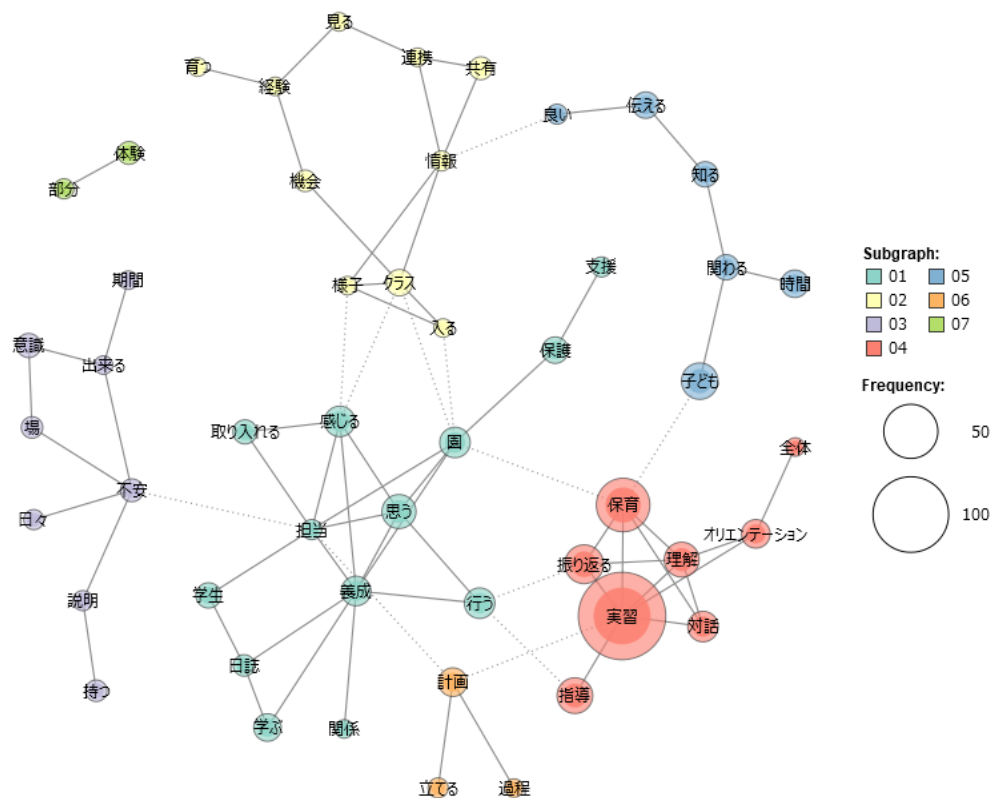
(解説)

社会的役割としての実習指導の重要性を踏まえつつ、受け入れについての職員間の共通理解、実習生育成のための研修、また自身の実践の振り返りや確認について認識している。

研修科目「保育士養成と保育実習」について

【設問】保育士を養成するために、実習で特に取り入れたほうが良いと思う内容を 3 つ書いてください。

<F2. 実習指導>



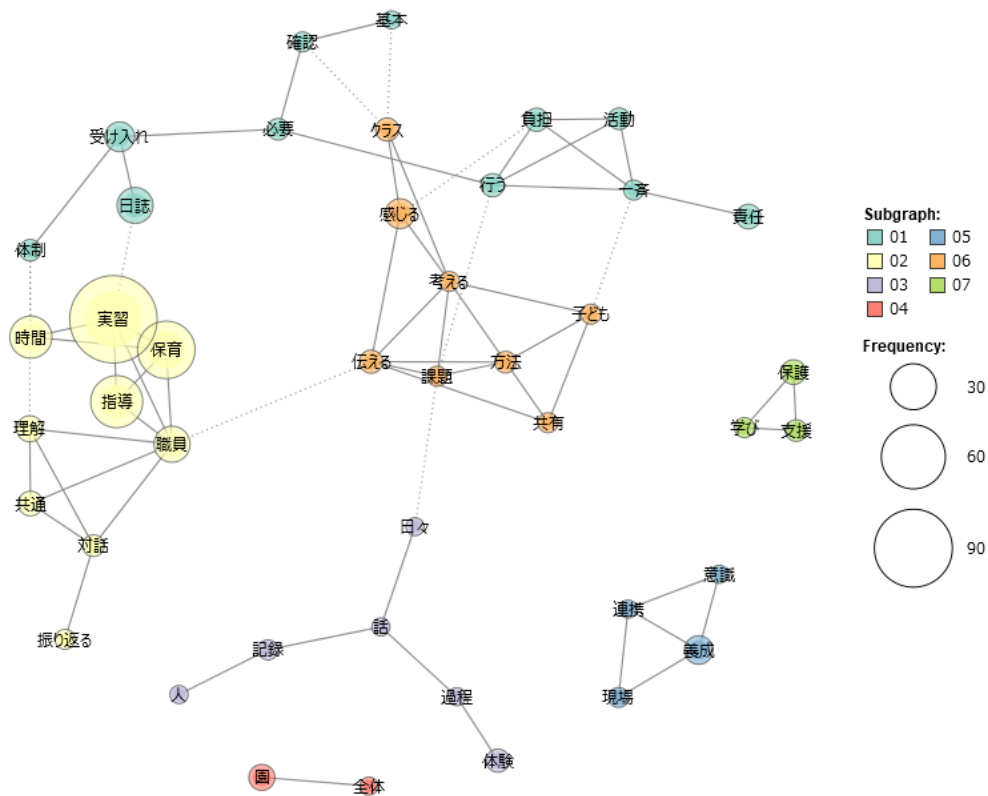
(解説)

「オリエンテーション」「対話」「振り返り」を中心に、「子どもと関わる時間」、実際の「体験」、不安などを抱える実習生への「説明」の重要性が挙げられている。

研修科目「保育実習の現状と諸課題」について

【設問】 保育実習をめぐる課題として特に気になることを3つ書いてください。

<F3. 実習指導>



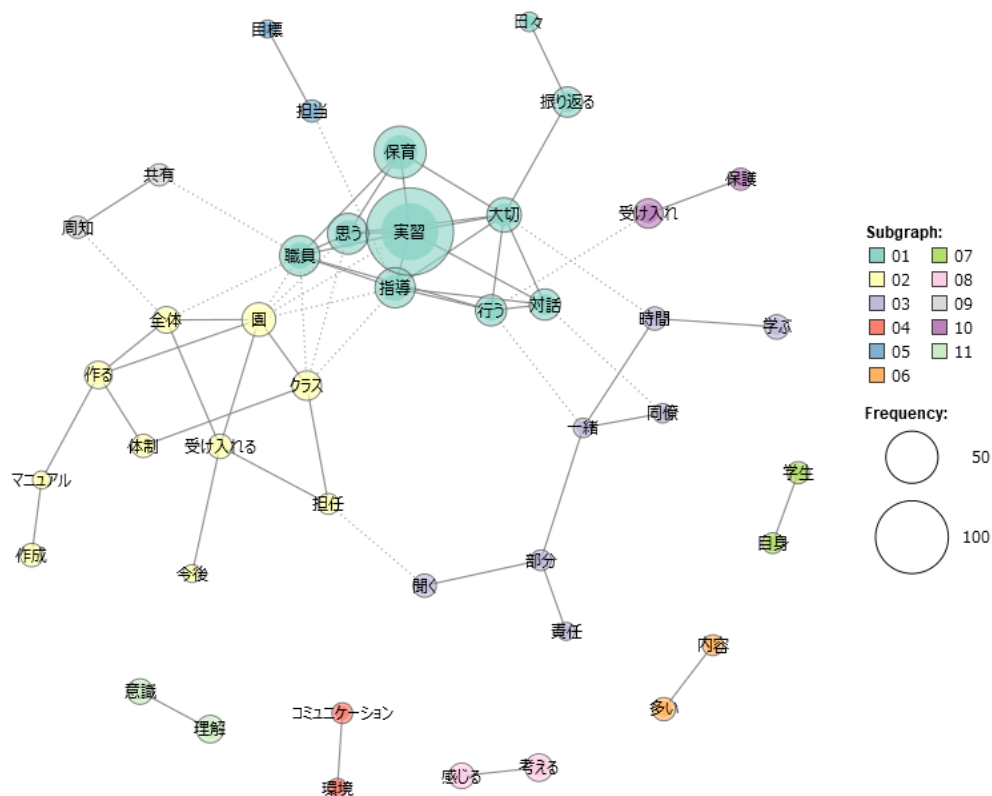
(解説)

実習指導における「時間」の確保、職員間の「共通理解」、「対話による振り返り」が主たる課題として認識されている。時間的な課題に関連し、一斉保育が活動の中心になってしまうこと、また保護者支援についての学びが不十分になることが挙げられている。

研修科目「保育実習指導の基本」について

【設問】自園での実習受け入れにおいて今後大切にしたいことを書いてください。

<F4. 実習指導>



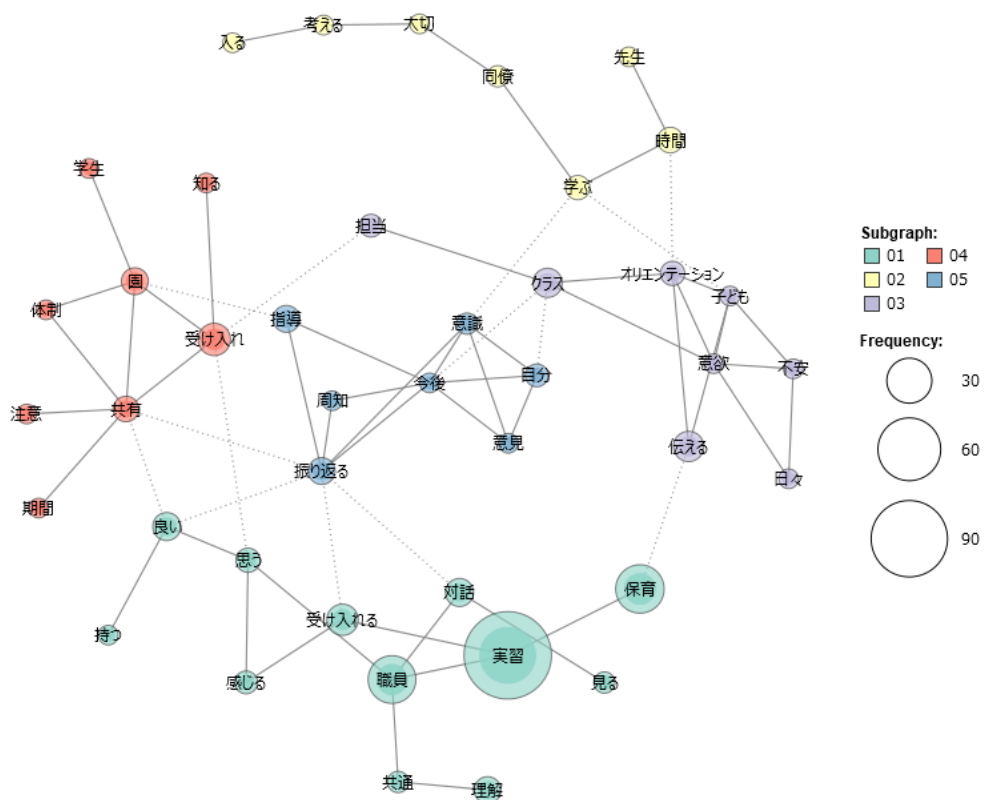
(解説)

「対話を通した振り返り」「受け入れ体制」「マニュアル作成」が重視されている。また、実習生とのコミュニケーションや彼らの学びの時間の確保など、受け入れ側の実習生に対する責任についても認識されている。

研修科目「保育実習指導の実践」について

【設問】自園での実習受け入れの際に、今後注意したいことを書いてください。

<F5. 実習指導>



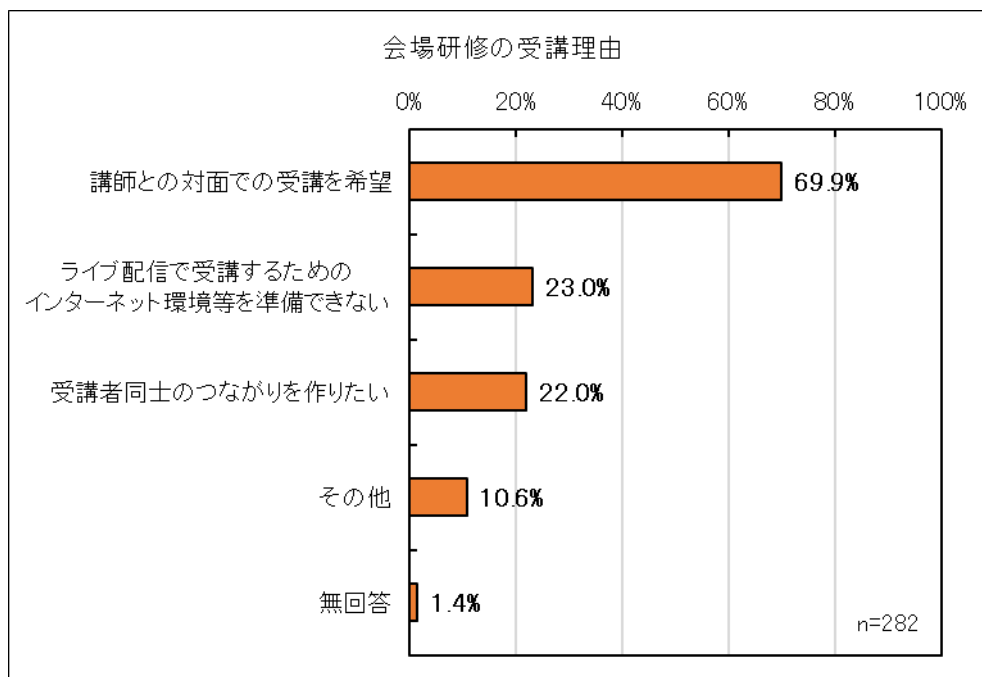
(解説)

受入れに対する職員間の「対話」と「共通理解」と同時に、実習生に対しては「不安の払しょく」「同僚として共に学ぶ姿勢」「指導の振り返り」という配慮事項が挙げられている。

4. 研修の事後評価

4.1 研修実施方法について（事前・事後課題の解析）

4.1.1 会場研修を選択した理由



ライブ配信研修に適した環境を準備できないため、ライブ配信研修に参加したいがやむを得ず会場研修にて受講するというわけではなく、講師とのコミュニケーションを重視している傾向が強く、むしろ積極的に会場参集を選択していることが分かりました。

・会場研修者への質問「会場で受講するうえで、不安に感じたことはありますか」への回答（コメント抜粋）

多くのコメントは、コロナウイルスへの感染不安と会場の感染症対策についての記載でしたが、各研修受講者における特徴的なコメントを下記に抜粋いたしました。

初任主任保育士研修（東京会場/9月）参加者

- ・会場研修の注意点などの記載もあり、それぞれが意識して研修に参加すると思いますので、不安に感じることは特にありません。
- ・経験者からグループセッションがあると聞いていたため、新型コロナウイルスの感染予防対策の上で、どのような形で行われるのか想像ができないところが少し不安に

感じました。

初任所長研修（東京 1 回目/9 月）参加者

- ・不安は、新型ウィルス対策をきちんとしていただいと信じているのでないです。
- ・自身も気をつけますが、リスクを感じてます。

初任所長研修（大阪/10 月）参加者

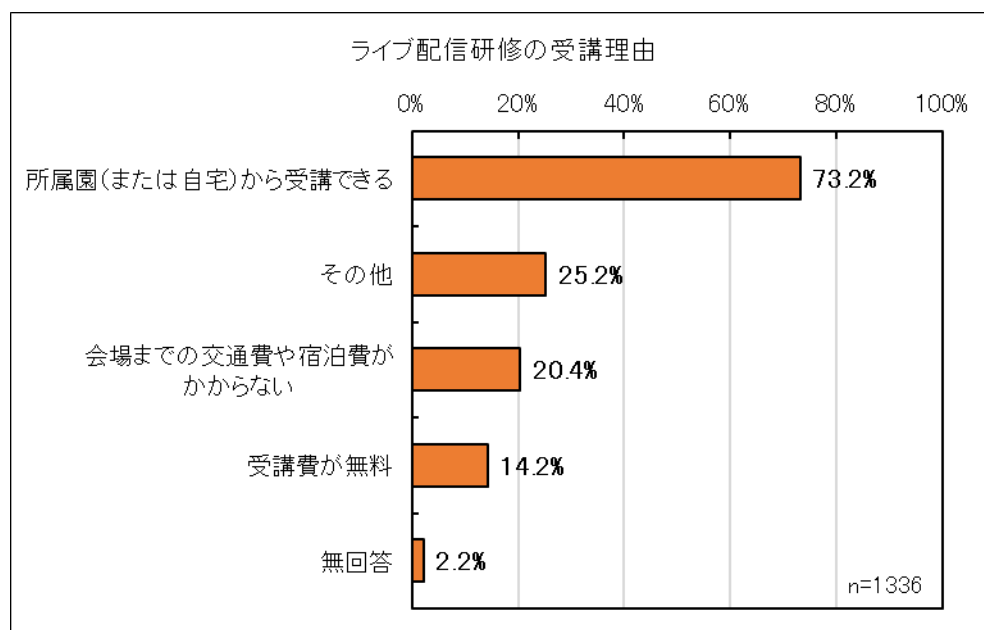
- ・耳が遠いので講師の声が聞きとりにくいかもしれません（マイク使用？）。
- ・京都から交通機関使用するためコロナウイルス感染の可能性が高まる。"

中堅主任保育士研修（東京/11 月）

- ・この時期はコロナが不安ですが講師との対面での研修の方がわかりやすいです。
- ・受講するまで、メール、インターネットでのやりとりが多く、知識のない者としては時間がかかり不安が多かったです。
- ・コロナウイルス感染症等、感染リスクがあること。感染した場合、受講が原因でなくとも疑われてしまうこと。ライブ配信研修を選択しなかったことを責められること。

上記より、新型コロナウイルス感染症への不安がありながらも、講師とのコミュニケーション等研修効果を高めるため、会場研修を選択したことがわかりました。

4.1.2 ライブ配信研修の受講理由



ライブ配信受講者は、長距離移動せずに研修を受けられることに最もメリットを感じていました。

・ライブ研修者への質問「ライブ配信で受講するうえで、不安に感じたことはありますか」への回答（コメント抜粋、事前課題より）

多くのコメントは、職場での受講環境に対する不安に関するものでしたが、各研修受講者における特徴的なコメントを下記に抜粋いたしました。

初任主任保育士研修（東京会場/9月）参加者

- ・会場で受講する場合に比べ、自分にとっては受講内容が頭に残りにくいのではないだろうか？と、不安になることもある。
- ・ズームは、今の職場でも研修で使っているが、通信の不具合や音声の不具合がある。そこが大丈夫なのか、その場合の窓口と、もし聞けない見えない箇所が出てきた場合の補足はあるのか。
- ・疑問に思ったことなどを周りとすぐに意見交換することが出来ない。
- ・ディスカッションなど多園で話し合うことが出来ない。

初任所長研修（東京1回目/9月）参加者

- ・システムがきちんと作動していること
- ・今回、ID が利用できない、事前課題ができないトラブルがあり、実際に受講ができるのか心配でした。
- ・受講後できるだけ速やかに課題を提出し、9 月中に修了書をいただきたいのですが、それがシステムの問題できちんと行われるかの心配もあります。
- もちろん、自分の操作ミスによって、何かしらの不都合が生じることもあると思いますが、すぐに、サポートしていただけるのかについても不安です。

初任所長研修（大阪/10 月）参加者

- ・事務所のデスク上での受講となるため、グループワークがとてもしづらい状態であるのと、事務所内が映り込むので、受講中はカメラを止めさせていただくことになります。
- ・勤務先で受講をする為、途中、保護者対応や行事対応等で離席する可能性があります

初任所長研修（東京 2 回目/1 月）参加者

- ・コロナ禍の中、会場で研修することが不安でした。ですので、ライブ配信で受講が可能と聞き、今年申し込みました。
- ・緊急事態宣言発出の中、園内で陽性者が出た場合は、その対応を優先とします。この研修中に、そのような事態が起きた場合、補習を受けるなどで、履修の証明をいただけるのでしょうか。それがとても不安です。

中堅主任保育士研修（大阪/1 月）

会場での雰囲気味わえない。直接講師の話を聞けないので理解できるか不安。

所属園での受講では、急な保護者対応により受講を中断しなければならないという心配や、受講環境を整えられるかとどのようなサポート体制なのか不安があったという事がわかりました。

4.1.3 ライブ配信研修で受講前に、実際に困ったことはありましたか？

パソコンに不慣れ、もしくは接続への不安であったが、メールや電話での対応が丁寧で助かりましたという意見が多々ありました。その他、特徴的なコメントを下記します。

初任所長(就任予定者)研修（東京会場/9月）参加者

- ・アクセス集中によりログインできないことに焦った（9月の研修初日）
- ・オンラインが初めてだったのでつながるかどうかの不安もありましたが、アーカイブ（期間限定見逃し配信）があるとのことで安心しました。
- ・資料の印刷が多かった

初任主任保育士研修（東京会場/9月）参加者

- ・所属園では主任は個人メールアドレスを持っていないので、自分のメールアドレスに登録して、本部に要請してデスクネットにメールを添付してもらって、開く手間があった。
- ・資料がたくさんあるのはありがたいが、全部資料をコピーするだけで時間がかかった。
- ・資料の印刷に時間がかかり、希望性でテキストの購入が選べるとよいと思いました。
- ・日程が、連休もはいりギリギリだったので、もう少し余裕を持って事前に書類を準備できると良いと思った。
- ・事前課題等が全てオンラインだった為、ちゃんと提出出来ているか不安になることがありました。もししっかり行っても記入漏れや、提出漏れがあった際には受講完了にならないのか不安です。
- ・登録時点で間違えてしまい困った。でも、後日変更連絡すると、すぐに変更してもらい、助かりました。ありがとうございます。
- ・顔認証がインターネットエクスプローラーではできなかったこと。（すぐにわからなかっただけで、特に問題ということはありませんでした）

初任所長研修（東京1回目/9月）参加者

- ・（専用学習システムでは）Internet Explorer が使えないのがとても困りました。そこだけ改善して頂ければ、あとは本当に何の問題もなくスムーズに研修が受けられて有り難かったです。

初任所長研修（大阪/10月）参加者

- ・公立保育園でパソコンのセキュリティーが厳しく専用学習システムに入れず大変困りました。
- ・ライブ配信研修がうまく受講できるか、とても不安だった。
- ・職場のタブレットで申し込みをしたのですが、添付の資料が印刷できませんでした。

市の規制でできないようになってきているのかもしれませんが。(メールはパソコンに届く) 研修当日は、タブレット 2 台を持ち込み、オンライン用と資料を見る用で対応しました。今も資料は紙ベースではありません。お金を払ってでも資料は紙で頂けるとありがたいです。

- ・個人のスマホからメールでパソコンに転送して印刷された先生も見えましたが、大量の資料を印刷するにはもう少し時間に余裕も必要かと思います。

中堅主任保育士研修（東京会場/11 月）参加者

- ・ zoom に対して、園内の機密が流失してしまうのではないかと不安があった。
- ・ ライブ研修が初めてだったため、どのようにしたらアクセスできるのか等、不安が大きかったです。わからないことを何回かメールさせてもらいました。根気良くていねいに対応していただけたことがありがたかったです。
- ・ 職場のパソコンにカメラが無く、顔認証できなくて困りました。ログインは暗証番号だけだと良かったです。

初任主任保育士研修（大阪/12 月）参加者

- ・ 事前課題を入力していて「一時保存」の存在を知らず、「終了×」や「前のレッスン」などをクリックしてしまい何度も回答が消えてやり直したことが困りました。

初任所長研修（東京 2 回目/1 月）参加者

- ・ 会場での研修が変更になったことで、ライブ配信の環境を整えるのが困難で大変であった。
- ・ 申し込みから受講まで、事務局からのメールの回数が多く分かりずらかった。
- ・ 会場での研修希望であったので、ライブ配信になり、1500 円の返金となったが、銀行の手数料が戻ってこないの、その分出納帳に記入するのがややこしくなるのではと思います。取り越し苦労であればよいのですが。細かくて申し訳ありません。"

(次年度への改善案)

- ・ ライブ配信研修受講者であっても、受講テキストは希望者には冊子を郵送するという選択肢を用意する
- ・ インターネット不具合で一時的に視聴ができなかった受講者に向けて、今年度同様「見逃し配信」の実施と事前周知
- ・ 専用学習システムの使用方法や zoom の接続方法に関するお問い合わせは、今年度と同様、基本資料を準備・配布し、メールや電話等で個別対応するという 2 段体制とする
- ・ 本人確認のための新しい手法の検討

今年度は研修の本人確認のための手法として、顔認証システムと講義内で講師から「秘密の番号」を発表し事後課題にてテスト確認との2つの方法を並行して行いました。保育所等で使用する共用パソコンには標準ブラウザとして Internet explorer を使用していることが多く、本研修にて使用した専用学習システムの動作環境として Internet explorer が使用できないため、新しいブラウザ（Google Chrome, Edge, Firefox 等）をダウンロードしていただく必要がありました。

（顔認証システムを採用した専用学習システムではカメラの起動連携が必要ですが、Internet explorer では Web カメラのプラグインのサービス提供が終了したためカメラの起動連携ができず、本ブラウザは利用できません）

顔認証システムを使用する場合には、更なる徹底した説明と注意喚起を実施する必要があります。あるいは、ライブ配信受講者への顔認証以外の手法で本人確認をする検討も視野に入れるべきと考えられます。

4.1.4 ライブ配信研修で受講中に、実際に困ったことはありましたか？

多くの回答は、音声の不調と、グループ討議（ブレイクアウトセッション）実施の際にはグループ内に司会進行の係が必要であること、話し合いの時間が足りなかったとの意見でした。また、園内での受講でとても良かったという意見もあれば、集中できなかった、園内対応のため抜ける必要が出てきちんと受講できなかったという意見もありました。その他、特徴的なコメントを下記します。

初任所長(就任予定者)研修（東京会場/9月）参加者

- ・ディスカッションができるのはいいが、伝わりにくいところもあるので時間を長めにとってほしいと思った。
- ・グループディスカッションなど、会場とライブ参加者は時間の使い方を別で考えた方が良かったと感じた。（セッションへの移動時間などがあるため）
- ・チャットで、事務局よりお知らせが入ると、そこが気になってしまい聞き逃してしまう事があった。最後のお知らせでもよいものは途中でチャットで入れないでほしい。
- ・グループでの話し合いの時に、残りの秒数のお知らせが出るのは便利だが、そこでみんな時間がないから話すのを止めようとしてしまい後半黙ったままになってしまう事があった。
- ・話し終わるタイミングがわからないので話し終わったら「以上です」とかしゃべった人が次の人を指名するなどルールがあるとよりスムーズだと思いました。
- ・時間が足りなかったり、余ってしまったり、そういう時にリーダーとなって進めていく人が決まっていなかったのも、自分が口を出していいのか？悩みました。

初任所長研修（東京1回目/9月）参加者

- ・自己紹介はしましたが、聞き取れなかった方もいたので受講番号と名前を入力するほうが良かったです。
- ・グループ討議にはいるときに、質問できるのかがわからず、意見を一人ずつ発表した後で討議が進まずに止まってしまう場面がありました。討議が止まってしまっても、アドバイスがいただけるシステムがあるといいなと感じました。

初任所長研修（大阪/10月）参加者

- ・会場研修の方が発表されているお声が聞き取り辛かったです。
- ・チャットの使用方法がよくわからなかった。
- ・グループワークの際ですが、研修受講者同士の距離が近い方（同園で複数名の方が受けられている状況）が数名いて、それぞれのグループの声まで集音してしまい音声の聞き取りづらさに繋がったりと、どなたが話されているのかが分からない状況だった。

中堅主任保育士研修（東京会場/11月）参加者

- ・事務局の方の音声が時々聞こえなかったので、大事な連絡などはメールでも再度頂くなどバックアップも必要かと感じた。
- ・ライブ配信だと、困ったこと、聞きたいことなどあった時に、すぐに直接聞けないので、そういう時にどう聞けばいいのかの案内もあると嬉しかったです。（たとえば、2日目にライブ受講者からの質問がありましたが、その方はどうやって質問したのですか？パソコンに疎いので、そのようなやり方の方法なども教えて頂けるとありがたいと感じました。）

初任主任保育士研修（大阪/12月）参加者

- ・園で受講しているため、どうしても抜けなければいけないときがあった。
- ・PC操作が苦手な方もいらっしゃるのでミュートの解除方法等を事前に操作案内表示またはデータであると良いと感じた。

初任所長研修（東京2回目/1月）参加者

- ・こんな状況でのオンライン研修なので仕方がないかなとも思いましたが、録画での講義は質問したくてもできないのは残念だと感じました。
- ・質問などがすぐにできないところ。

中堅主任保育士研修（大阪/1月）参加者

- ・休憩は自由にとあったが、その間も講義は進んでるので、休憩時間はしっかりと、タイムスケジュールに明記してほしい。

（次年度への改善案）

・グループ討議（ブレイクアウトセッション）の実施方法として、9・10月に実施した研修でのコメントの反省をいかし、下記の実施を徹底いたしました。

1. ブレイクアウトセッションに入る直前に、事務局より受講者に向けて、グループ内で受講番号の一番小さい受講者に司会をしてもらうようアナウンスする。
2. 物理的な距離が離れているライブ配信では、グループ討議が軌道にのるまで、会場研修よりも時間が多めにかかることをあらかじめ講師に伝えて、時間配分を決める。
3. 研修期間中の途中で zoom の機能が向上し、zoom ミーティング上で共同ホスト権限を持っていると全てのブレイクアウトルームに出入りできるようになるため、講師自身が直接ルームに入り討議に助言することを一部実施した
4. ブレイクアウトルーム内で発話できない等の問題が発生した場合には、SOS ボタンにて事務局（ミーティングホスト）を呼ぶことや一度ルームを退出することを事前に受講者に伝えるようにした。その結果、迅速に問題解決に向かう事が多くなった。

・グループ討議（ブレイクアウトセッション）のルール

上記の1のように司会役の設定の他にも、グループ討議が円滑に実施されるためのルール作りと受講者への説明があると良いと思われます。

（例） ・カメラはオンにして参加する

・話し終わったら「以上です」という

・聞いている時は、なるべく頷くしぐさをみせる 等

・講師への質問方法の多様化

質問がある場合は講義後の質問の時間にマイクのミュートを解除して発言するように求めましたが、zoom 不慣れな受講者の場合は難しいようでした。そこで、チャットでの質問や後日の質問フォームの設置等、複数の手法で準備しておくとういと思われます。

・休憩時間の設定

ライブ配信研修では画面を長時間見続けなければならないという事情から、会場研修よりもさらに細かな休憩の配慮が必要であることが分かりました。そこで、会場研修とのハイブリット型であったこともあり、長時間の講義では特に、講師により短い休憩を入れることとともに、自身のタイミングで適度な休憩をとり、その間見逃した部分は後日配信される講義録画を確認してもらうことで配慮しました。

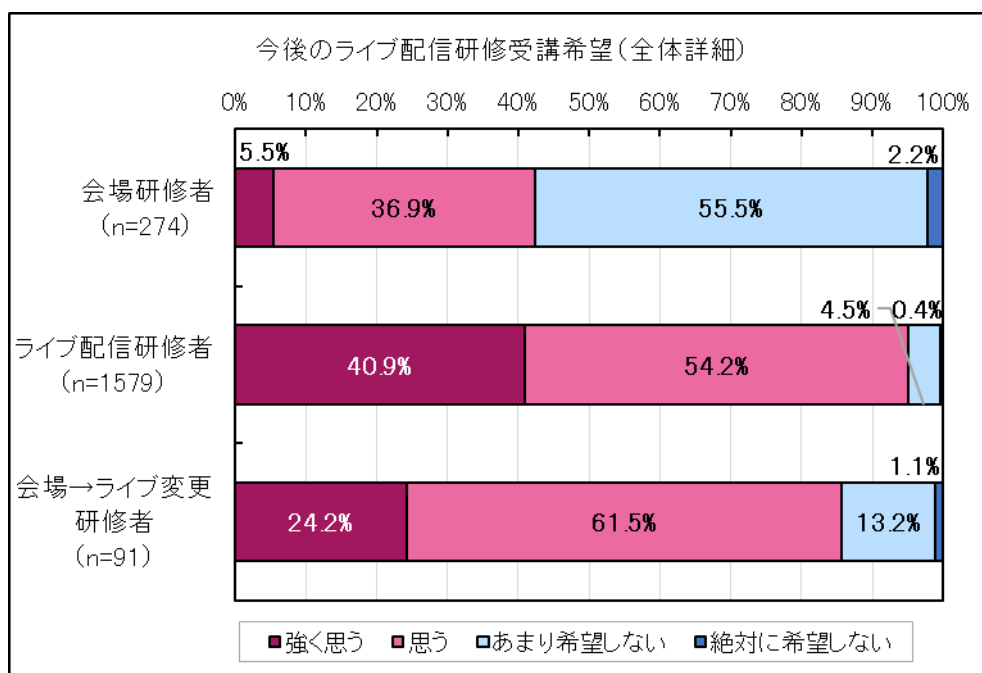
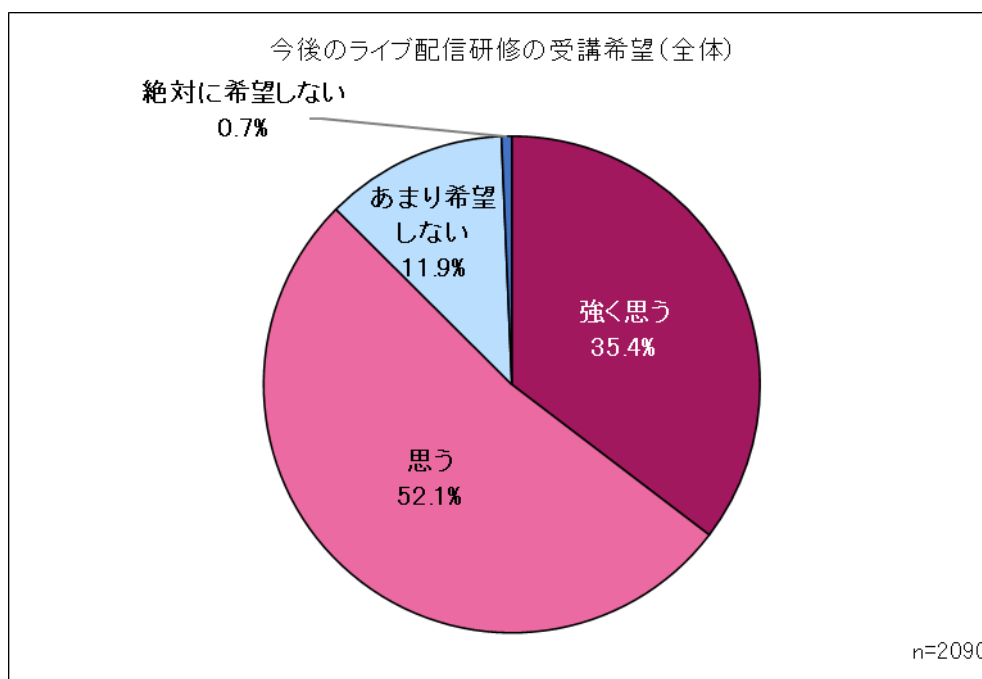
・チャットの使用

今年度は、受講者のチャット利用は基本的には推奨せず、先生が発言された大事なお知らせ（秘密の番号等）に関して事務局（ミーティングホスト）から全体へチャットするという使用方法をとりました。しかし、一部の受講者は、チャットが気になってお話を聞き逃してしまうという方がいる一方で、音声の不具合についての事務局への相談をチャットですることによって迅速に解決される受講者もいらっしゃいました。

そこで改善案としては、質問や相談先としての「チャット宛先」というアカウントを持つことで、受講者とのコミュニケーション窓口を常設しておき、また事前に zoom の基本的な使用方法を配布する等で不慣れな方にも使用を促すようにするのがよいと思われます。またチャットはその時に読めなくても後から読めること等をアナウンスすることで、チャットへのわずらわしさを軽減できるものと考えられます。

4.2 希望する研修形式について（事後課題の解析）

4.2.1 今後もし機会があったら、ライブ配信研修を受講しようと思いませんか？



ライブ配信研修を希望する割合は、全体の 87.5%でした。そして、今回の受講方法別でみると、会場研修受講者は 42.4%、ライブ配信研修受講者は 95.1%、1 月実施の研修受講者のうち、もともと会場研修を希望しながらライブ配信研修へと変更した受講者では 85.7%が、次回はライブ配信研修を希望すると回答しました。

以上から、会場研修とライブ配信研修の受講者層間に意識の乖離が表れましたが、会場研修を希望する受講者であっても、一度ライブ配信での研修を体験すると次回もライブ配信での受講を希望する割合が大きく増加するということが示されました。

4.3 今後希望する研修内容

	保育実技	救命救急	安全管理	衛生管理	発達心理学	保育所保育指針	食育・食物アレルギー対応	特別な支援を必要とする子どもへの接し方	幼稚園教諭免許取得のための学習	地域の子育て支援	保護者対応の仕方	同僚とのコミュニケーション	パソコンやタブレット端末の操作	その他	特に希望はない
保育士・保育教諭 (n=105)	56.2%	36.2%	53.3%	35.2%	57.1%	36.2%	40.0%	62.9%	2.9%	27.6%	54.3%	29.5%	27.6%	3.8%	2.9%
リーダー保育士・リーダー保育教諭 (n=37)	56.8%	45.9%	48.6%	48.6%	62.2%	48.6%	59.5%	62.2%	5.4%	51.4%	64.9%	35.1%	21.6%	5.4%	2.7%
副主任保育士・副主任保育教諭 (n=83)	44.6%	30.1%	43.4%	25.3%	47.0%	39.8%	27.7%	68.7%	3.6%	42.2%	71.1%	43.4%	22.9%	3.6%	0.0%
主任保育士・主幹保育教諭 (n=717)	42.5%	34.4%	56.1%	40.9%	52.4%	42.4%	37.9%	65.0%	3.2%	38.8%	69.2%	45.9%	24.5%	3.5%	1.1%
副所長・副園長・副施設長 (n=153)	29.4%	30.1%	66.7%	47.7%	42.5%	50.3%	32.7%	53.6%	5.2%	45.8%	73.2%	36.6%	13.7%	2.6%	0.0%
所長・園長・施設長 (n=800)	33.3%	41.6%	65.9%	46.6%	46.1%	52.5%	43.5%	54.8%	3.0%	44.3%	63.6%	34.3%	19.3%	4.8%	2.5%
看護師・保健士 (n=5)	40.0%	0.0%	80.0%	80.0%	40.0%	40.0%	80.0%	40.0%	0.0%	40.0%	80.0%	20.0%	0.0%	0.0%	0.0%
栄養士 (n=1)	100.0%	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%	100.0%	100.0%	100.0%	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
事務職員 (n=84)	36.9%	51.2%	83.3%	71.4%	44.0%	77.4%	46.4%	38.1%	10.7%	52.4%	72.6%	39.3%	7.1%	7.1%	3.6%
役員 (n=48)	22.9%	33.3%	66.7%	54.2%	39.6%	58.3%	41.7%	25.0%	6.3%	43.8%	62.5%	14.6%	25.0%	10.4%	4.2%
その他 (n=101)	30.7%	39.6%	60.4%	45.5%	50.5%	48.5%	39.6%	42.6%	5.9%	46.5%	55.4%	27.7%	16.8%	3.0%	12.9%
全体 (n=2134)	37.9%	37.7%	61.3%	44.6%	48.8%	48.5%	40.3%	57.3%	3.8%	42.1%	66.0%	37.9%	20.7%	4.2%	2.3%

全ての研修会において、今後受講を希望する内容について、現在の職種ごとの希望する割合を示しました。

所長は「安全管理」に関心が高く、一方で保育士は「保育実技」「発達心理学」「特別な支援を必要とする子どもへの接し方」といった日常の保育現場に実際に役立つ内容を探求していることが明らかとなりました。「保護者対応の仕方」は保育士、主任、所長いずれにも関心が高いことがわかりました。他にも、事務職員は「衛生管理」「保育所保育指針」「保護者対応」に関心があるといったように、それぞれの立場から求められている内容が異なっていることが確認できました。

4.4 研修全体のまとめ

本年度の研修実施期間は、新型コロナウイルス感染症の感染拡大が起こっていた時期であり、従来の会場参集型の研修と同時に、初めてのライブ配信研修を実施するハイブリッド型で実施した。ライブ配信研修としての適切な方法を模索しながらの実施であり、受講者の事後アンケートや講師からのフィードバックをもとに常に改善に努め運営を継続した。

その結果、次回もライブ配信での受講を希望するとした受講者が 87.5%を占め、また会場研修を希望する受講者も、一度ライブ配信研修を経験すると、ライブ配信研修を希望する傾向があるという結果を得られた。宿泊費・交通費のコストカット、また施設を 3 日間留守にしなくてよいという仕事面からの利便性・安心感、またご自身の時間的なメリットも感じている受講者が多いことが確認できた。

ZOOM 研修の選択者では、特に所長等研修（就任予定者）の参加者からのパソコン自体の仕様方法や学習システムへの入り方等、難易度が高いと感じられた受講者が多く、一時期、事務局への問合せが増える傾向にあった。一方で主任保育士研修では、そのような問合せがほぼなかった。使用方法等は、毎回丁寧な教示を心掛け、全員が学習システムから顔認証を経て、事前事後課題を提出し、参集研修・ZOOM 研修共に受講を修了している。

以上のことから、今後の研修の実施形態は、従来型の会場参集型のコミュニケーションの取りやすさという良い面と、ライブ配信研修の新しい形の良さを十分に分析し、それぞれのメリットが十分に生かされ、各研修内容に最適な研修形態を構築することが望ましいと考える。受講者にそれぞれのメリットデメリットを丁寧に説明した上で、受講者本人が選択できるよう運営することが、これからの新しい研修の形となると考えられる。

主催者、講師陣には多大なるご協力をいただき、本研修を実施することが可能となったことを、この場を借りて、厚く御礼申し上げます。

以上